

千歳市民まちづくりアンケート

調査報告書

平成21年2月

千 歳 市

は じ め に

千歳市では、平成 13 年度から平成 22 年度までの 10 か年を計画期間とする『千歳市新長期総合計画（21・千歳きらめきプラン）』を策定し、めざすべき将来都市像を「ひと・まち きらり 地球の笑顔が見えるまち 千歳」と定め、人とまちが生き生きと輝き、地球環境に対するやさしさや幸福感に満ちた市民の笑顔が行き交うまちづくりを進めてきたところであります。

このたびのアンケート調査は、平成 23 年度を始期として、今後 10 年間のまちづくりの基本的な指針となる新たな総合計画「(仮称)千歳市第 6 期総合計画」の策定に向けて、市民の皆さまがこれまでの施策をどのように評価されているのかを伺い、また、市政に対しての意見や提言を頂き、将来のまちづくりに反映させていくことを目的に実施いたしました。

ここに調査報告書をまとめましたので、これからの新たな総合計画の策定や行政運営全般にわたって十分活用してまいります。

最後になりましたが、このアンケート調査にご協力いただきました市民の皆さまに対し、厚くお礼申し上げます。

平成 21 年 2 月

千歳市長 山口 幸太郎

調査の概要

1	調査のあらまし	2
	(1) 調査の目的	2
	(2) 調査の方法	2
	(3) 回収状況	2
	(4) 集計・表記方法	4
	(5) 他のアンケートとの比較について	4
	(6) 調査の実施機関	4
2	回答者の属性	5
3	調査結果の概要	9
	(1) 生活環境の評価と定住意向	9
	(2) 10年間のまちづくり評価とこれからの意向	10
	(3) 市民参加・行政運営	11

設問別調査結果

1	生活環境の評価と定住意向	14
	(1) 日常生活の満足度と重要度(項目別評価)	14
	(2) 今後のまちづくりで特に重要なもの	21
	(3) 住みごころ	26
	中高生アンケートとの比較(住みごころ)	27
	これまでのアンケートとの比較(住みごころ)	27
	(4) 定住意向	28
	中高生アンケートとの比較(定住意向)	30
	これまでのアンケートとの比較(定住意向)	30
	(5) 市外に移りたい主な理由	31
	中高生アンケートとの比較(市外に移りたい主な理由)	33
2	10年間のまちづくり評価とこれからの意向	34
	(1) 今後のまちづくりのキーワード	34
	(2) 10年間の取り組みの評価	37
	(3) 人口と都市整備の方向	43
	(4) 今後めざすまちづくり	46
3	市民参加・行政運営	49
	(1) 行政運営や市民参加の評価・意向	49
	中高生アンケートとの比較(まちづくりへの関心)	51
	これまでのアンケートとの比較(市民の意向の反映)	51

(2) 「市民協働によるまちづくり」で重要なこと.....	57
(3) 参加したいまちづくり活動.....	60
中高生アンケートとの比較(参加したいまちづくり活動)	62
これまでのアンケートとの比較(参加したいまちづくり活動)	63
(4) これからの行政サービスのあり方.....	64
これまでのアンケートとの比較(これからの行政サービスのあり方)	66

地区別分析結果

1 回答者の地区別属性	68
2 設問別調査結果	73
(1) 日常生活の満足度と重要度(項目別評価)	73
(2) 今後のまちづくりで特に重要なもの	83
(3) 住みごころ.....	84
(4) 定住意向	85
(5) 参加したいまちづくり活動.....	86

資料

1 自由記載	88
(1) 保健・医療・福祉について.....	88
(2) 生活環境や安全・安心について	90
(3) 環境保全について.....	91
(4) 教育・スポーツ・文化・国際交流について	92
(5) 都市環境や都市基盤の整備について	94
(6) 産業の振興について	97
(7) 市民参加や市民協働について	100
(8) その他の分野について.....	103
2 アンケート調査票	106

調査の概要

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

「(仮称)千歳市第6期総合計画(平成23年度~)」の策定にあたり、生活環境をはじめとするまちづくり全般、市政運営等に関する評価や意向を把握し、計画に反映するために実施しました。

(2) 調査の方法

実施地域：千歳市全域

対象：千歳市に住所を有する18歳以上の男女

サンプル数：3,000名

抽出方法：住民基本台帳から地区別に等間隔で無作為抽出

(地区別集計の分析に配慮し、母集団の少ない地区については分析に必要なサンプル数を確保するため、抽出間隔を小さく設定しました。)

詳細については、次頁を参照してください。

調査方法：個人宛の書面で、郵送にて配布・回収(回答は無記名)

実施時期：平成20年9月

(3) 回収状況

配布数：3,000票

回収数：1,228票

回収率：40.9%

参考

平成17年実施調査

配布数：2,000票

回収数：1,049票

回収率：52.5%

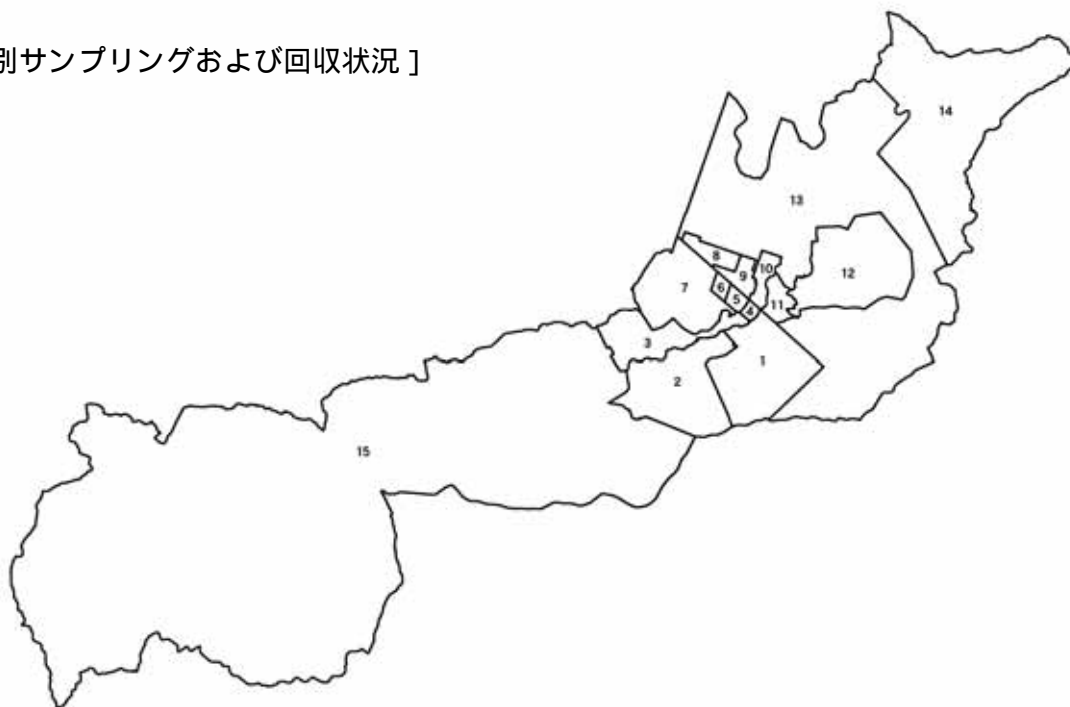
平成10年実施調査

配布数：2,000票

回収数：1,105票

回収率：55.3%

[地区別サンプリングおよび回収状況]



地区 NO.	該当する地名	母集団数	抽出間隔	配布数	回収数	回収率 (%)
1	東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、 2空団、真町	4,059	26	156	54	34.6
2	若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住	8,322	26	318	142	44.7
3	錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星	5,245	26	201	71	35.3
4	清水町、幸町、千代田町、栄町	2,557	26	98	33	33.7
5	北栄、新富	4,469	26	171	63	36.8
6	信濃、富士	4,216	26	162	65	40.1
7	北斗、自由ヶ丘、桜木、 北信濃（無番地、770、776～783、799、849 ～867、870～873、884、885、964）、北部隊、 上長都（1、3、382、1036、1039、1057、1058、 1112、1115、1119、1121、1122、1126、1160）	7,008	26	268	126	47.0
8	北陽、長都駅前、勇舞、北信濃（675～683）、 上長都（13、14、923、924、928～935、942、 943、1018～1024、1029、1102、1103、1247、 1250、1255）、長都（81、165、1017）	5,977	26	229	101	44.1
9	高台、富丘、北光、あずさ、北信濃（446～449、 582～591、631～636）	8,019	26	306	131	42.8
10	未広、花園、稲穂、清流、幸福	8,744	26	334	126	37.7
11	青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東 郊、豊里	8,223	26	314	126	40.1
12	梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、 流通	7,268	26	278	121	43.5
13	都、長都（81、165、1017以外）、釜加、根志 越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南	1,128	19	59	26	44.1
14	幌加、協和、新川、東丘	442	8	55	16	29.1
15	支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤 の沢、美笛、支寒内、奥潭	154	3	51	22	43.1
	無回答	-	-	-	5	-
	総 数	75,831	-	3,000	1,228	40.9

(4) 集計・表記方法

- ・比較や順位づけは回答率（一部では加重平均値）で行っており、“高い”“低い”は回答率の高低を意味しています。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選び回答する設問では、構成比の和が100.0%にならないことがあります。
- ・本文、グラフおよび表の選択肢の文言は、実際の調査の文言を省略している場合もあります。（実際の調査の文言については、巻末に掲載する調査票を参照してください）
- ・自由記述回答については、内容別に分類しています。

(5) 他のアンケートとの比較について

- ・本文中に引用し、比較分析している「中高生アンケート」および「これまでのアンケート」実施概要は次のとおりです。（いずれも総合計画の策定時に実施したものです）
- ・一部に選択肢や文言表現の変更があるため、対比するうえで留意が必要です。

本文中での名称		実施時期	対 象
中高生アンケート		平成 20 年 9 月	千歳市内にある中学校（9校）、 高校（2校）に在籍する中学2年 生および高校2年生 1,546名
これまでの アンケート	平成 17 年実施	平成 17 年 6 月	20 歳以上の市民 2,000 名
	平成 10 年実施	平成 10 年 9 月	20 歳以上の市民 2,000 名
	平成 7 年実施	平成 7 年 9 月	20 歳以上の市民 1,500 名
	昭和 63 年実施	昭和 63 年 9 月	20 歳以上の市民 2,000 名

(6) 調査の実施機関

企画・実施：千歳市 企画部 企画課

集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ 地域経営研究所

2 回答者の属性

(ア) 性別

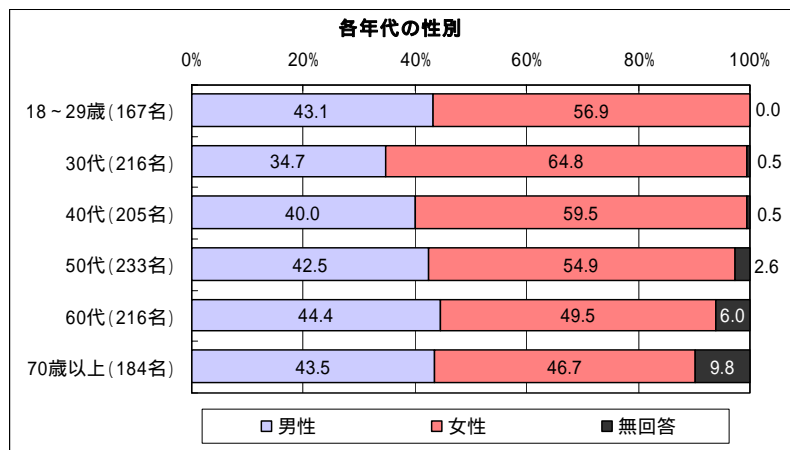
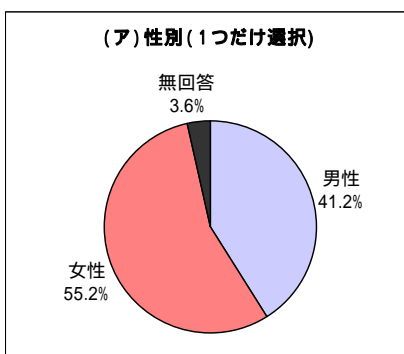
「男性」が41.2%、「女性」が55.2%で、女性の比率が高くなっています。

年代別にみると、各年代とも女性の比率が高く、最も女性の比率が高いのは30代です。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし・単身赴任」のみ男性の比率が高くなっています。

職業別にみると、「農林漁業」「製造業・建設業」「商業・サービス業・金融業など」「運輸業・通信業など」「公務・団体等勤務」「自衛隊等勤務」は男性の比率が高く、「自衛隊等勤務」は8割以上が男性です。

地区別にみると、地区9と地区12は男性の比率が高くなっています。



(イ) 年代

「50代」(19.0%)が最も多く、「60代」と「30代」が同率(17.6%)で続きます。最も少ないのは「18~29歳」(13.6%)です。

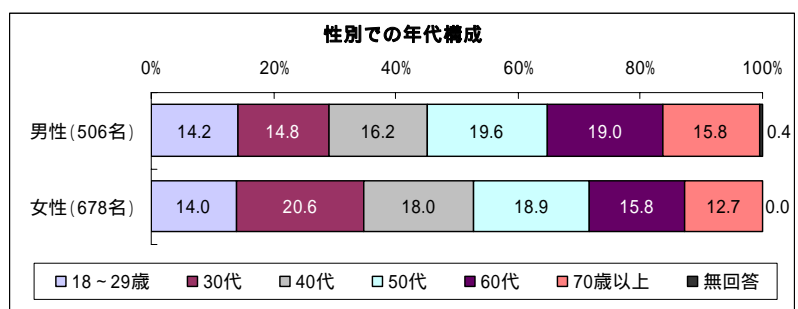
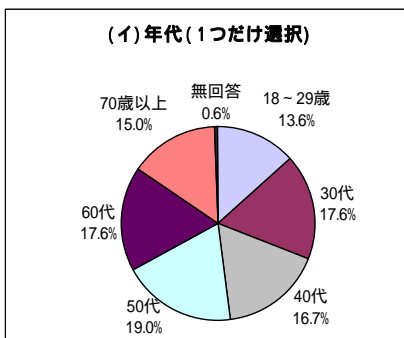
年代別にみると、男性は50代、女性は30代が最多です。

出生別にみると、「千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる」では30代、「千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる」では50代、「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」では60代が、それぞれ最多です。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし・単身赴任」「その他」は18~29歳、「夫婦のみ」は60代、「2世代」は40代、「3世代以上」は50代が、それぞれ最多です。

職業別にみると、「学生」は18~29歳、「自衛隊等勤務」は18~29歳と30代(同率)、「公務・団体等勤務」は30代、「運輸業・通信業など」「その他の職業」は40代、「製造業・建設業」「商業・サービス業・金融業など」は50代、「農林業」は50代、60代、70歳以上(同率)、「無職(専業主婦を含む)」は70歳以上が、それぞれ最多です。

地区別にみると、地区1と12は18~29歳、地区5・8・10は30代、地区2・3・9・11は50代、地区7と15は60代、地区6と13は70歳以上、地区4と14は50代と70歳以上が、それぞれ最多です。



(ウ) 出生

「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」(77.0%) が最も多く、「千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる」(15.7%)、「千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる」(6.4%) と続きます。

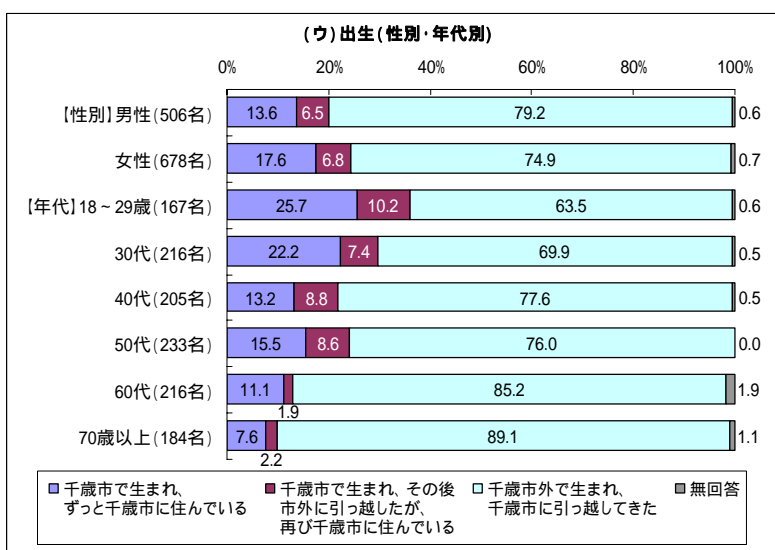
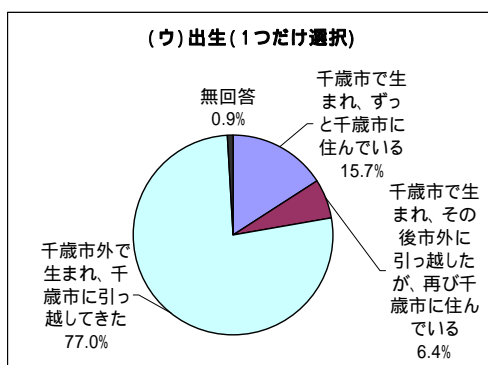
性別にみると、「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」のは男性の方が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」が高くなる傾向にあります。

家族構成別にみると「ひとり暮らし・単身赴任」は「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」が約9割を占めます。

職業別にみると、「学生」のみ「千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる」が最多です。

地区別にみると、地区13のみ「千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる」が最多です。また地区2では「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」が約9割を占めます。



(エ) 家族構成 (1つだけ選択)

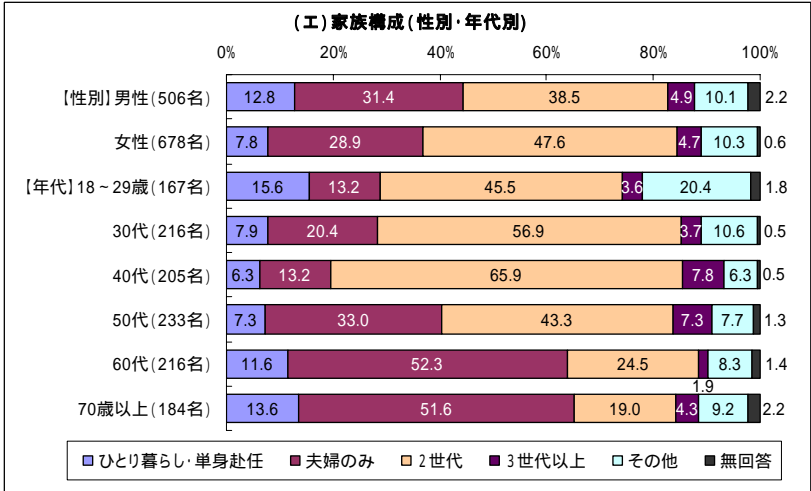
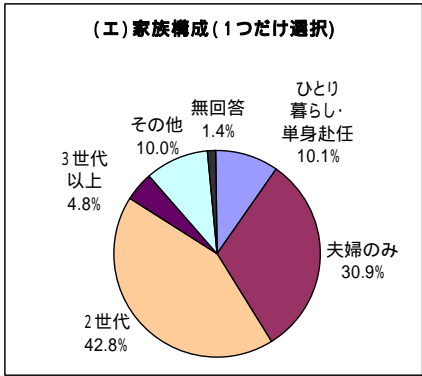
「2世代」(42.8%) が最も多く、「夫婦のみ」(30.9%)、「ひとり暮らし・単身赴任」(10.1%) が続きます。

性別にみると、「ひとり暮らし・単身赴任」「夫婦のみ」は男性、「2世代」は女性の比率が、それぞれ高いです。

年代別にみると、「2世代」が最も高いのは40代です。60代、70歳以上では「夫婦のみ」が過半数を占めます。

職業別にみると、「無職(専業主婦を含む)」のみ「夫婦のみ」が最多です。また、「3世代以上」は「農林漁業」で高くなっています。

地区別にみると、地区4は「ひとり暮らし・単身赴任」と「2世代」(同率)、地区14は「夫婦のみ」「2世代」「3世代以上」(同率)、地区15は「夫婦のみ」が、それぞれ最多です。



(オ) 職業 (1つだけ選択)

「無職(専業主婦を含む)」(39.8%)が最も多く、「商業・サービス業・金融業など」(14.7%)が続きます。

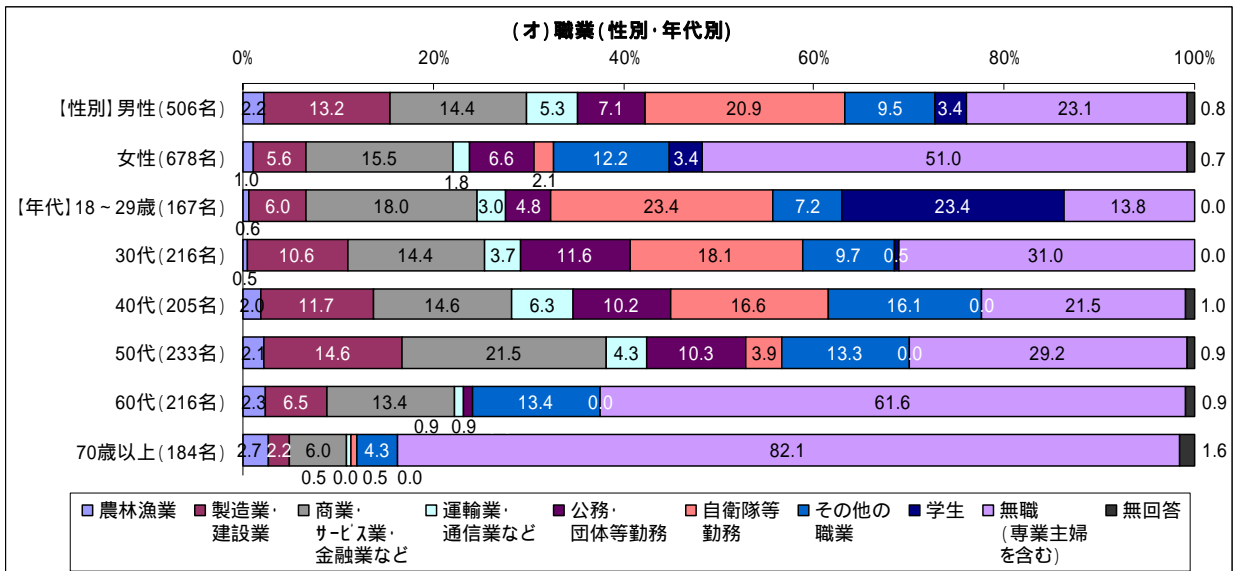
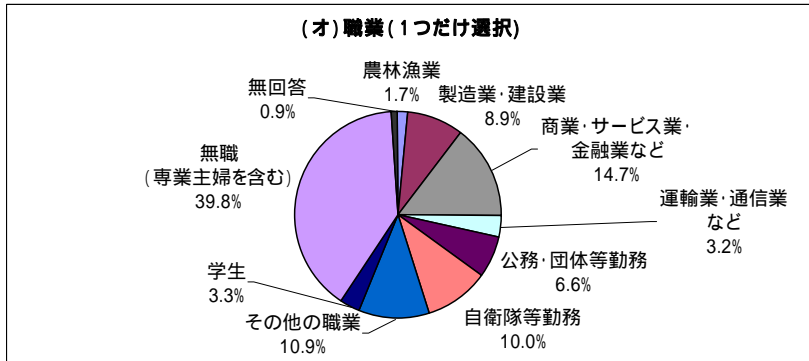
性別にみると、男女とも「無職」が最も高くなっていますが、特に女性は過半数を占めます。また、「製造業・建設業」「自衛隊等勤務」は男性の方が高くなっています。

年代別にみると、18～29歳は「自衛隊等勤務」と「学生」が同率で最も高くなっています。その他の年代は「無職」が最多ですが、70歳以上では8割をこえます。

出生別にみると、「商業・サービス業・金融業など」は「千歳市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び千歳市に住んでいる」で高くなっています。

家族構成別にみると、いずれも「無職」が最多ですが、「夫婦のみ」で過半数を占めます。

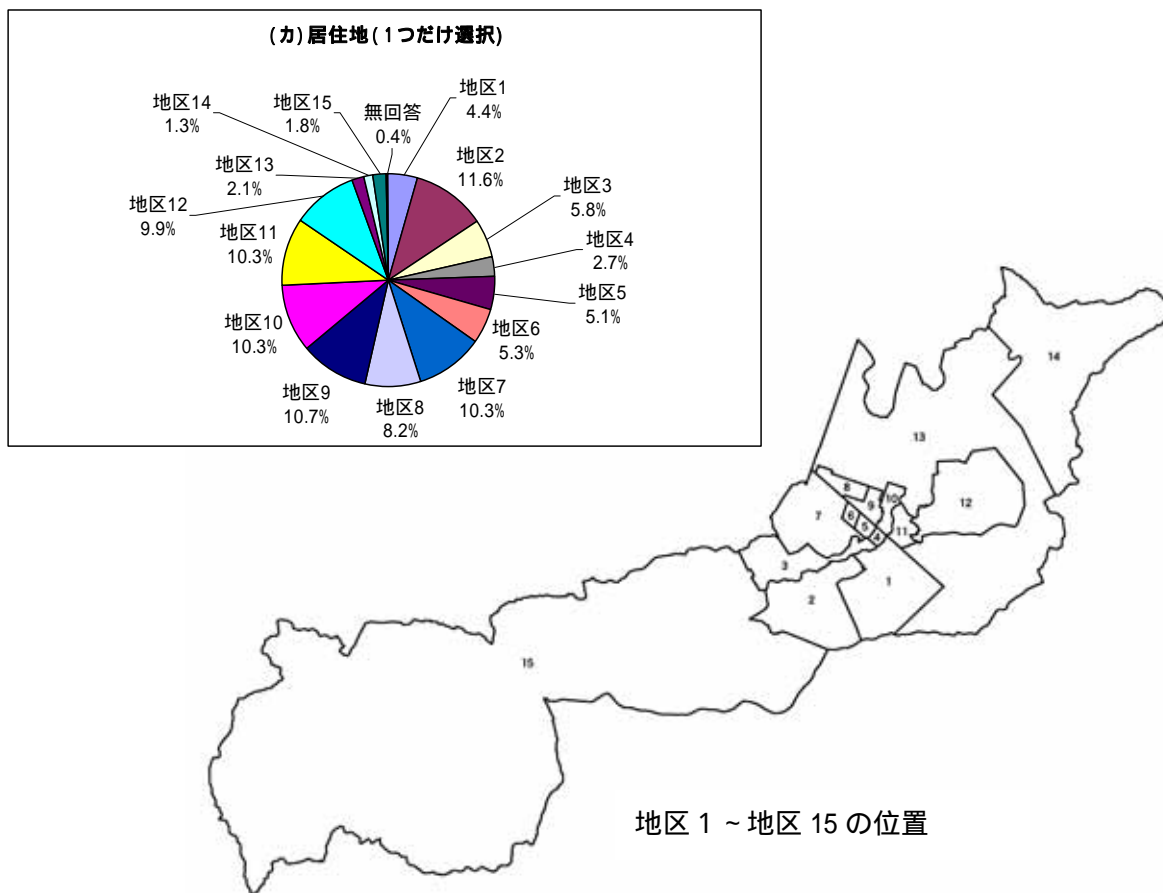
地区別にみると、地区13と14は「農林漁業」、地区15は「商業・サービス業・金融業など」が最多となっています。



(カ) 居住地区 (1つだけ選択)

「地区2」(11.6%)が最も多く、「地区9」(10.7%)、「地区7」,「地区10」,「地区11」(10.3%で同率)が続きます。

「地区別分析結果」の「回答者の地区別属性」を参照してください。



地区 NO.	該当する地名
地区 1	東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町
地区 2	若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住
地区 3	錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星
地区 4	清水町、幸町、千代田町、栄町
地区 5	北栄、新富
地区 6	信濃、富士
地区 7	北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃(無番地、770、776~783、799、849~867、870~873、884、885、964)、北部隊、上長都(1、3、382、1036、1039、1057、1058、1112、1115、1119、1121、1122、1126、1160)
地区 8	北陽、長都駅前、勇舞、北信濃(675~683)、上長都(13、14、923、924、928~935、942、943、1018~1024、1029、1102、1103、1247、1250、1255)、長都(81、165、1017)
地区 9	高台、富丘、北光、あずさ、北信濃(446~449、582~591、631~636)
地区 10	末広、花園、稲穂、清流、幸福
地区 11	青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里
地区 12	梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通
地区 13	都、長都(81、165、1017以外)、釜加、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南
地区 14	幌加、協和、新川、東丘
地区 15	支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭

3 調査結果の概要

(1) 生活環境の評価と定住意向

都市基盤については、上下水道や公園などの整備状況には比較的満足度が高い一方、冬期の除排雪やバスの利用面に対する不満が高くなっています。

産業面では、日常生活の買い物環境や企業誘致、光科学技術などには比較的満足度が高い一方、雇用の場や中心市街地のにぎわいづくり、観光に対する不満が高くなっています。

保健福祉や安心・安全に関わる項目については、消防・救急体制や交通安全の取り組みについては比較的満足度が高い一方、医療環境や騒音・振動などの公害防止については不満が高くなっています。

医療環境や子育て環境、除排雪および雇用については、重要度が高くなっており、今後の取り組みが期待されています。

住みごちについては、程度の差はあるものの7割以上が肯定的に評価しています。

詳しい内容は14～33ページをご覧ください。

日常生活の満足度と重要度（項目別評価）については、

- 満足度が高かったのは、「28.上下水道の整備」をはじめ、「40.広報誌やホームページなどの情報提供」「26.公園や緑地の整備」「17.ごみの収集・リサイクル」などです。（20項目がプラス評価）
- 一方、満足度が低かったのは「3.病院・診療所などの医療環境」をはじめ、「29.道路や歩道の除排雪」「34.中心市街地のにぎわいづくり」などです。（21項目がマイナス評価）
- 重要度が高かったのは「3.病院・診療所などの医療環境」をはじめ「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」「1.子育ての環境や支援」などです。「21.芸術文化活動の促進」「25.国際交流・都市間交流」「9.町内会活動などのコミュニティ活動」などについては、重要度は低い状況です。

千歳市の住みごちについては、

- 2割の回答者は「住み良い」と感じ、半数は「どちらかといえば住み良い」と感じています。これまでのアンケートと比較すると肯定的な回答の割合は微増していますが、「住み良い」は減り、「どちらかといえば住み良い」が増えています。

定住意向については、

- 6割の回答者は「今の場所に住み続けたい」と感じ、「市内の別の場所に移りたい」も合わせると約8割が、千歳市への定住意向を持っています。
- これまでのアンケートと比較すると、「市内の別の場所に移りたい」が増えているものの、「今の場所に住み続けたい」と合わせた定住意向は減少しています。
- 市外への移動を希望している回答者からは、「医療や福祉面が不安だから」「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」などの理由があげられています。

(2) 10年間のまちづくり評価とこれからの意向

保健・福祉・医療や都市整備への評価は比較的高くなっています。一方、安全・安心に関わる分野や産業振興への評価は低い状況です。

今後のまちづくりのキーワードとしては、「安心・安全(安らぎ)」「自然の豊かさ」などの言葉が多くあげられています。

今後の人口に対する考え方は、現状維持と増加が拮抗しています。今後の都市整備(開発)については、半数が今の域内で全体的に整備することを希望しています。

今後は、ハード事業よりソフト事業を重視した都市づくりや、自然保護や環境保全に取り組む都市づくりが望まれています。

詳しい内容は34～48ページをご覧ください。

10年間の取り組みの評価

- 「1.健康、福祉、子育て支援」や「7.道路、公園などの都市整備」に対する評価は高い一方、「4.安全・安心(防災、防犯、住環境)」や「8.産業振興」への評価は低い状況です。
- また、「1.健康、福祉、子育て支援」や「7.道路、公園などの都市整備」については「変わらない」が少なく、否定的な評価も他と同様にあるなど、賛否の評価がはっきりしています。

今後のまちづくりのキーワードについては、

- 「安心・安全(安らぎ)」「自然の豊かさ」の言葉が多くあげられており、次に「活力・賑わい」「便利さ」「やさしさ・思いやり」「快適さ(気持ちよさ)」「経済的な豊かさ」などの言葉が続いています。

人口と都市整備(開発)の方向については、

- 人口については「現状程度の人口を維持していくべき」と「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」という意見がそれぞれ4割を占め、拮抗しています。「減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない」は2割です。
- 都市整備(開発)については、「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」が半数を占め、「まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき」と「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」が残り二分しています。

今後めざすまちづくりについては、

- 「道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市づくりを望む声が高く、「豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市づくりがそれに続きます。

(3) 市民参加・行政運営

千歳市の行政活動に関する広報広聴や市民意向の反映については、半数以上がもの足りなさを感じています。その一方で、7割が行政活動に関心を持つものの、意見提案などで参加する意向は低くなっています。

リサイクル・省資源活動や福祉ボランティア活動、交通安全・防災・防犯活動、花いっぱい・清掃活動などへの参加を希望する声が高く、中でも交通安全・防災・防犯活動は、以前に比べて参加意向が高まっています。

サービスの種類と水準については、見直して重点化することを希望する声が半数を占めます。

詳しい内容は 49～67 ページをご覧ください。

行政運営や市民参加の評価・意向については、

- 千歳市の行政活動に関する「市民意向の反映」「市民の意見を聞く機会」「情報公開」「情報提供」については、いずれも約半数が「あまり思わない」と回答しており、「そう思わない」と合わせた否定的な意見が過半数をこえます。
- 千歳市の行政活動(まちづくり)に、7割が関心を持っているものの、市長への手紙やパブリックコメント(意見募集)などを通じて意見を述べたい人や、審議会や市民会議などを通じて意見提言に参加したい人は、それぞれ半数以下にとどまっています。

「市民協働によるまちづくり」で重要なことについては

- 「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会をふやす」「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」「まちづくりに関する情報(行政からの情報・市民が持つ情報)を共有する」などが多くあげられています。

参加したいまちづくり活動については

- 「リサイクル活動や省資源活動」「福祉ボランティア活動」「交通安全・防災・防犯活動」「花いっぱい活動や清掃活動」などが多く希望されています。
- 市民では「リサイクル活動や省資源活動」、中高生では「花いっぱい活動や清掃活動」がそれぞれ最も高く、差がみられます。
- これまでのアンケートと比べると、「交通安全・防災・防犯活動」「イベント活動」「児童・青少年の育成活動」への参加意向が高まっています。

これからの行政サービスのあり方については、

- 「サービスの種類と水準を見直して、サービスの重点化を図るべき」が半数を占め、「サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保するべき」「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべき」が続きます。

設問別調査結果

1 生活環境の評価と定住意向

(1) 日常生活の満足度と重要度(項目別評価)

【問1】千歳市での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。下の「満足度」と「重要度」の各選択肢(A~E)から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

加重平均値を算出すると、「満足度」で最も値が高かったのは「28.上下水道の整備」(0.47)で、最も低かったのは「3.病院・診療所などの医療環境」(-0.60)です。

「重要度」で最も値が高かったのは「3.病院・診療所などの医療環境」(1.57)で、最も低かったのは「21.芸術文化活動の促進」(0.37)です。

		~ は高い順、 満足度	~ 孺は低い順 重要度
保健・医療・福祉 について	1. 子育ての環境や支援	-0.01	1.31
	2. 健康づくりや病気の予防	0.02	1.13
	3. 病院・診療所などの医療環境	-0.60	1.57
	4. 高齢者の自立支援	-0.28	1.12
	5. 障がい者(児)の生活支援	-0.21	1.10
生活環境や安全・ 安心について	6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	0.03	0.47
	7. 市民ボランティア活動の育成・支援	0.06	0.48
	8. 消費生活に関する情報提供や相談体制	-0.13	孺 0.61
	9. 町内会活動などのコミュニティ活動	0.11	0.39
	10. 交通安全への取り組み	0.09	0.83
	11. 地域での防犯対策	孺 -0.11	1.07
	12. 消防・救急体制	0.11	1.24
	13. 自然災害などに対する防災体制	-0.05	1.17
環境保全 について	14. 自然環境の保全	0.18	0.98
	15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	-0.39	1.13
	16. 地球環境の保全に対する取り組み	-0.05	0.99
	17. ごみの収集・リサイクル	0.22	1.20
教育・スポーツ・ 文化・国際交流 について	18. 生涯学習の情報や機会の提供	0.06	0.50
	19. 小・中学校の教育環境	-0.08	1.06
	20. 障がいのある児童などの教育環境	-0.13	0.95
	21. 芸術文化活動の促進	-0.01	0.37
	22. 文化財や史跡の伝承保存	0.03	0.41
	23. スポーツ活動の推進	0.09	0.45
	24. 青少年の健全育成	-0.01	0.77
	25. 国際交流・都市間交流	0.11	0.38
都市環境や都市 基盤の整備 について	26. 公園や緑地の整備	0.33	0.77
	27. 公営住宅環境の整備	0.08	0.45
	28. 上下水道の整備	0.47	0.80
	29. 道路や歩道の除排雪	-0.59	1.39
	30. 道路の整備	-0.08	0.80
	31. バスの利用のしやすさ	-0.53	0.89
	32. 市街地の整備やまちの景観の向上	-0.09	0.60
産業の振興 について	33. 日常の買い物環境	0.07	0.85
	34. 中心市街地のにぎわいづくり	-0.58	0.68
	35. 農業の振興	-0.06	0.78
	36. 企業誘致や企業活動の支援	0.04	0.74
	37. 光科学技術などの高度技術産業の振興	0.09	0.45
	38. 観光都市としての魅力づくり	-0.39	0.80
	39. 働く場の確保	-0.54	1.31
市民参加や市民 協働について	40. 広報誌やホームページなどの情報提供	0.33	0.65
	41. 市民と行政の協働によるまちづくり体制	0.00	0.68
	42. 窓口対応や窓口サービスの提供	0.02	0.99

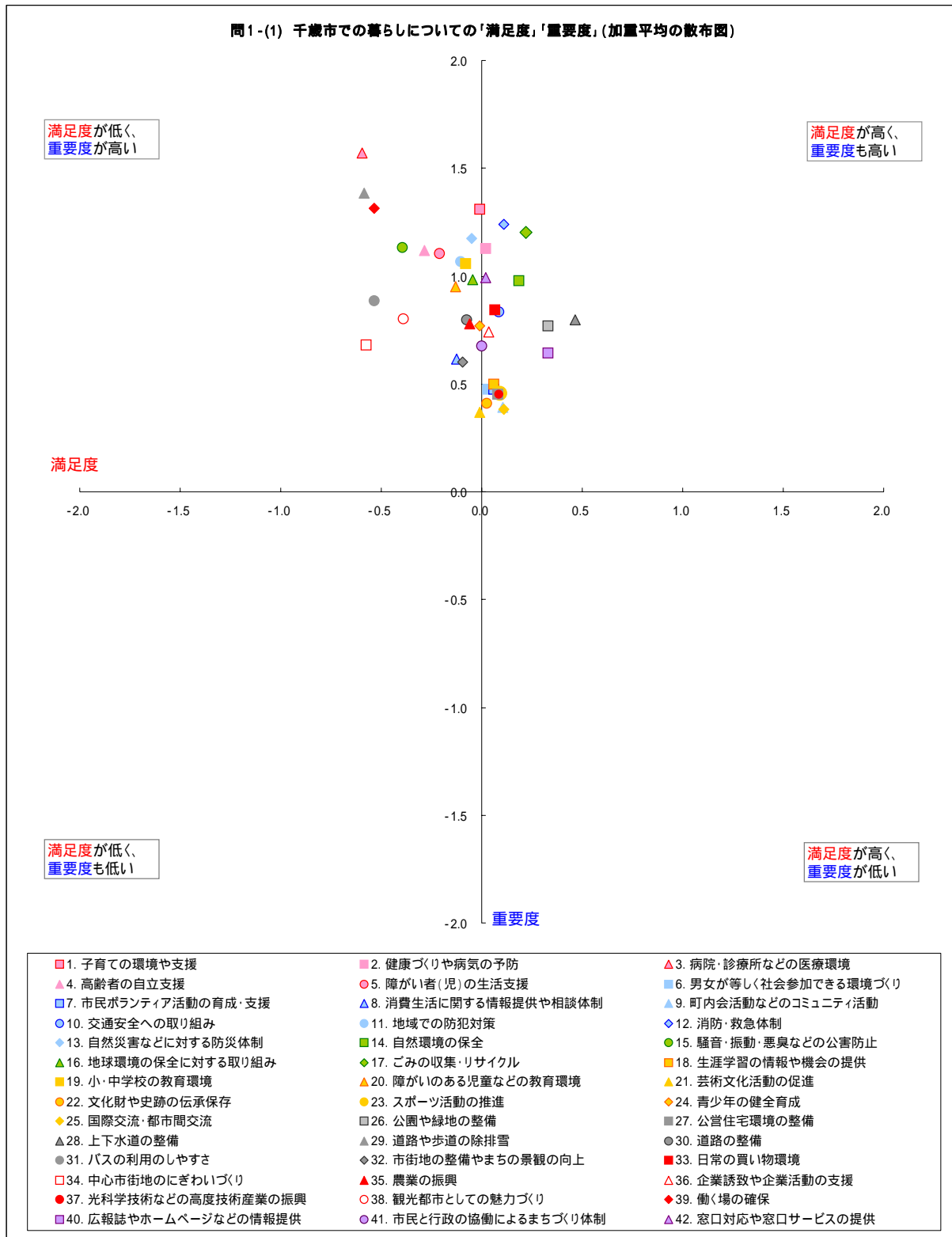
回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」といいます。

満足度の算出：(満足×2+やや満足×1+やや不満×-1+不満×-2)÷回答者数

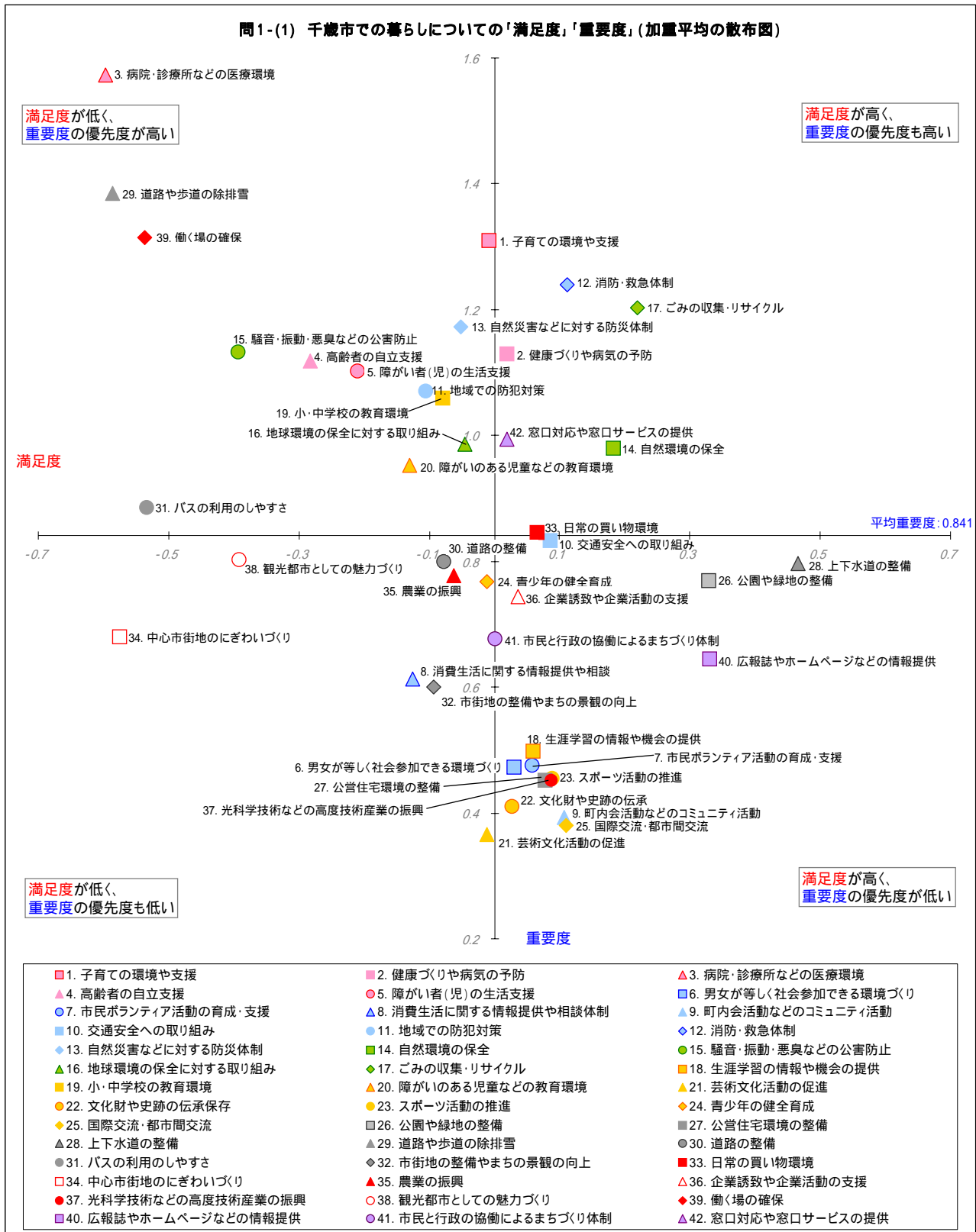
重要度の算出：(重要×2+やや重要×1+あまり重要ではない×-1+重要ではない×-2)÷回答者数

数値の範囲は-2から+2の間で、-2に近いほど評価は低く、+2に近いほど評価は高い、とみます。

「満足度」「重要度」の加重平均値を散布図に示すと、次のようになります。
 満足度については、満足および不満に分かれています。重要度については、全ての項目が高くなっています。



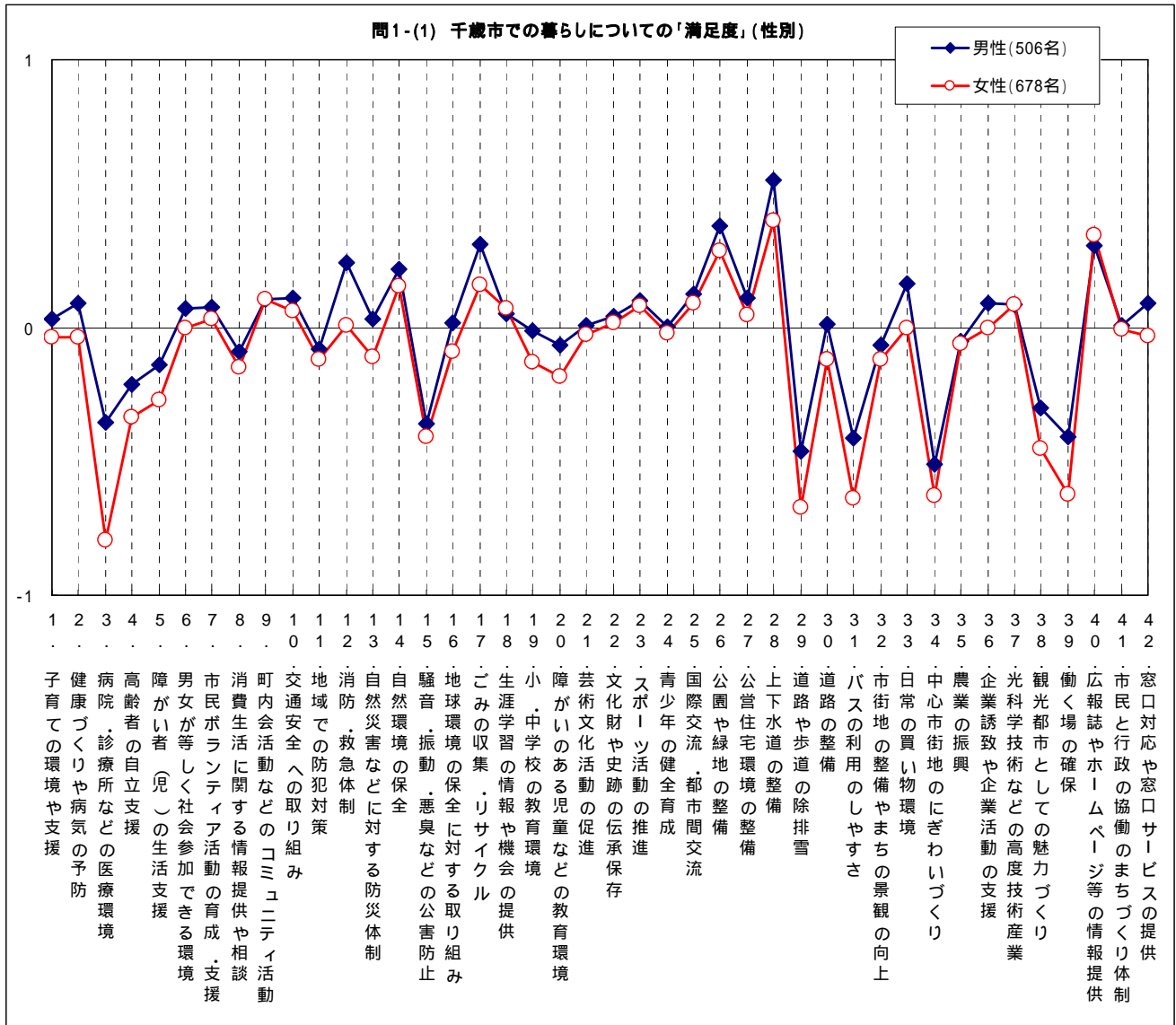
前のページの散布図の縦軸（重要度）について、重要度の平均値を基準にして散布図に示すと、次のようになります。



性別での「満足度」の比較<加重平均値>

「18.生涯学習の情報や機会の提供」と「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の2項目は男性の方が低いものの、その他は女性の方が低くなっています。(「37.光科学技術などの高度技術産業」は同値)

特に、「3.病院・診療所などの医療環境」で女性の評価の低さがめだちます。また、「29.道路や歩道の除排雪」「31.バスの利用のしやすさ」「39.働く場の確保」などでも女性の低さがめだちます。

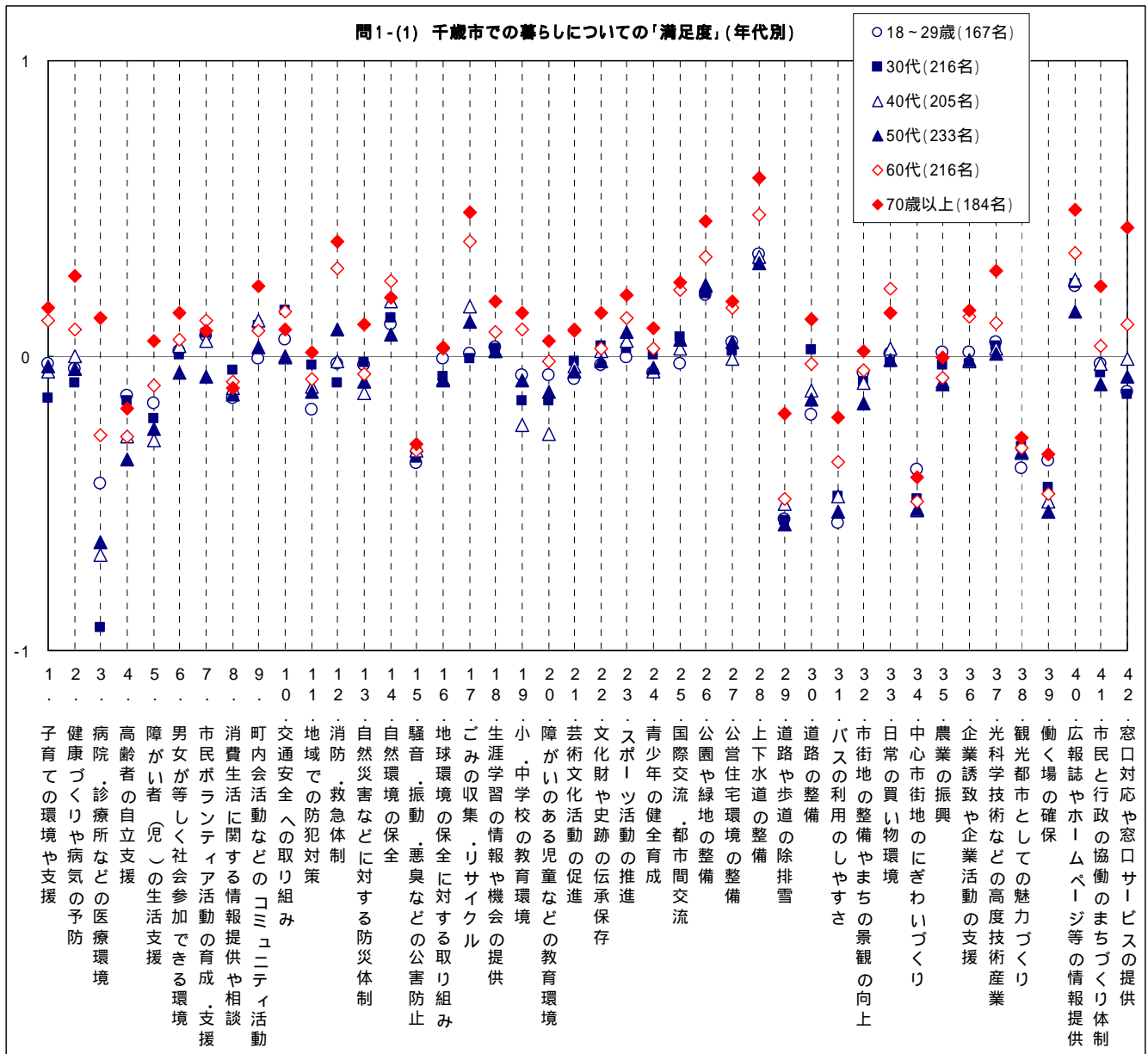


年代別での「満足度」の比較<加重平均値>

全体的に、60代と70歳以上は高く、特に70歳以上は42項目中34項目で最も高くなっています。

一方、30～50代は全体的に低く、「3.病院・診療所などの医療環境」は30代の低さが特にめだちます。

そのほか、「11.地域での防犯対策」「25.国際交流・都市間交流」「30.道路の整備」「31.バスの利用のしやすさ」は18～29歳、「1.子育ての環境や支援」「12.消防・救急体制」は30代、「19.小・中学校の教育環境」「20.障がいのある児童などの教育環境」は40代、「4.高齢者の自立支援」「6.男女が等しく社会参加できる環境」「7.市民ボランティア活動の育成・支援」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」は50代がそれぞれ最も低く、他の年代との差がめだちます。



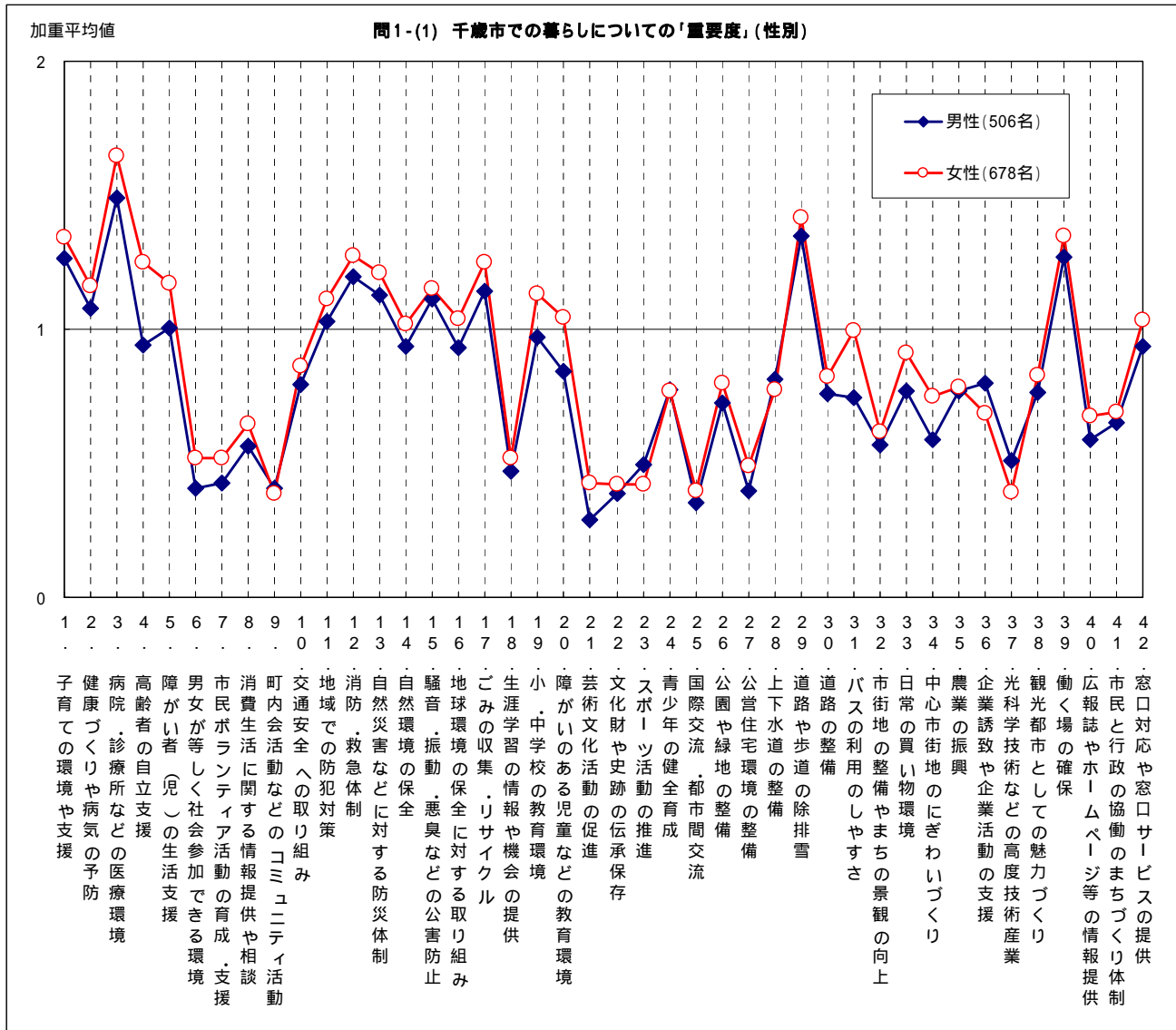
その他の属性での「満足度」の比較<加重平均値>

「3.病院・診療所などの医療環境」は、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び千歳市に住んでいる”、家族構成別では2世代が他に比べて低く、差がめだちます。

性別での「重要度」の比較 <加重平均値>

「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「23.スポーツ活動の推進」「28.上下水道の整備」「36.企業誘致や企業活動の支援」「37.光科学技術などの高度技術産業」の5項目は男性の方が高いものの、その他は女性の方が高くなっています。

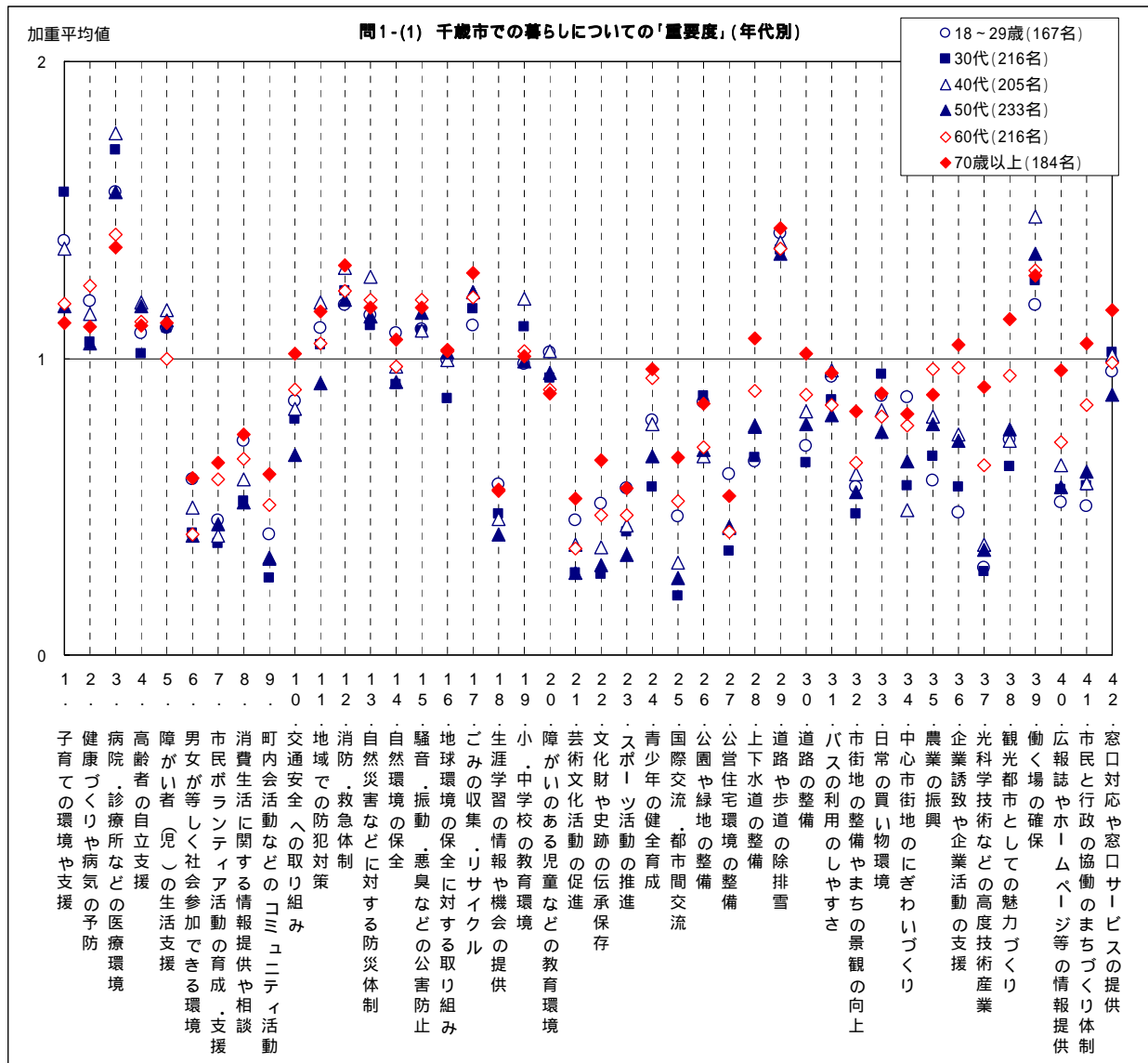
特に、「3.病院・診療所などの医療環境」「4.高齢者の自立支援」「19.小・中学校の教育環境」「31.バスの利用のしやすさ」で女性の高さがめだちます。



年代別での「重要度」の比較<加重平均値>

全体的に、60代と70歳以上は高く、特に70歳以上は42項目中23項目で最も高くなっています。(うち「6.男女が等しく社会参加できる環境」「23.スポーツ活動の推進」は18~29歳と同率で最高)

一方、「27.公営住宅環境の整備」「34.中心市街地のにぎわいづくり」は18~29歳、「1.子育ての環境や支援」「33.日常の買い物環境」は30代、「3.病院・診療所などの医療環境」「13.自然災害などに対する防災体制」「19.小・中学校の教育環境」「39.働く場の確保」は40代が最も高く、他の年代との差がめだちます。



その他の属性での「重要度」の比較<加重平均値>

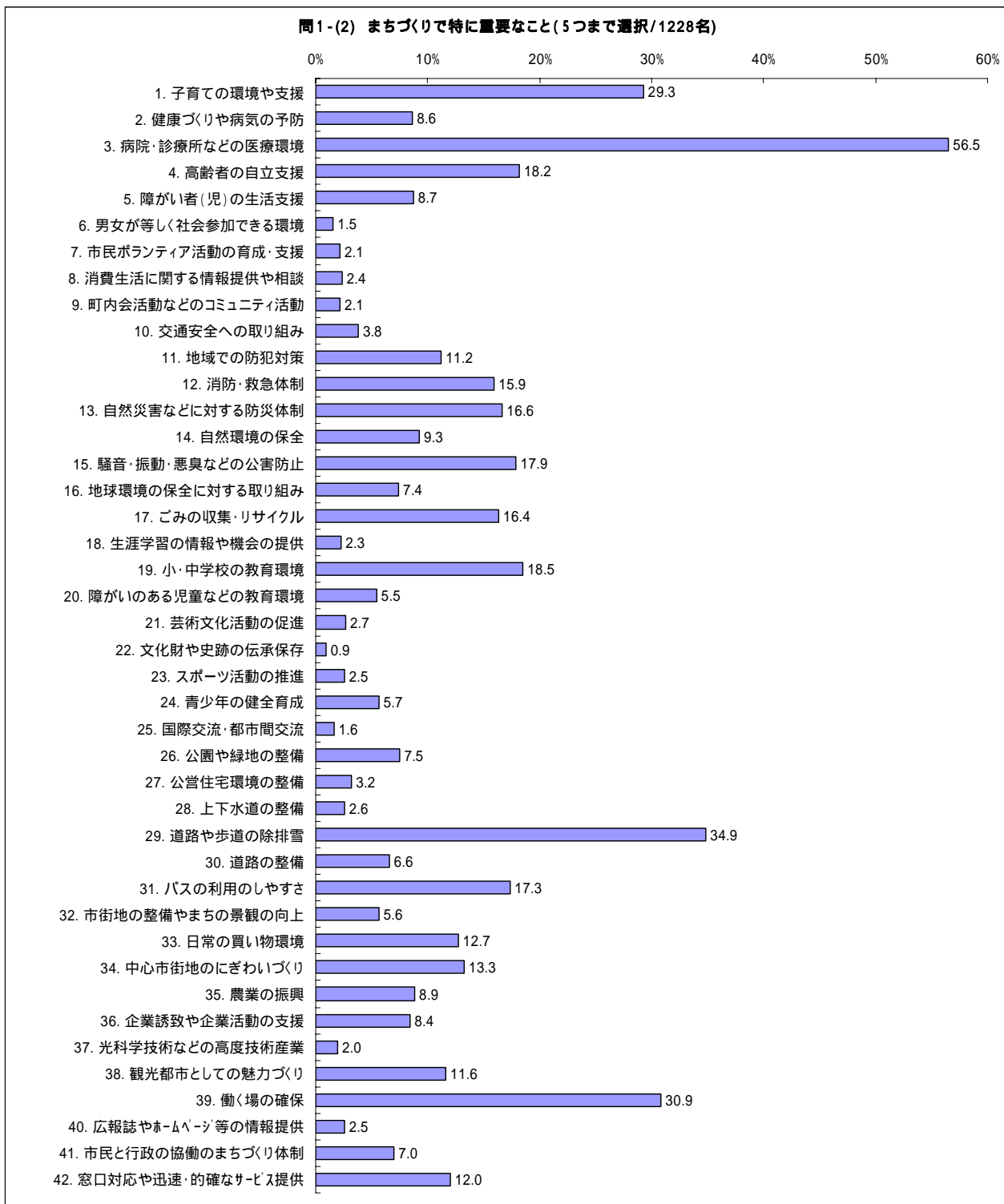
出生別にみると、全体的に“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”が他に比べて高くなっています。

職業別にみると、「12.消防・救急体制」「13.自然災害などに対する防災体制」は運輸業・通信業など、「35.農業の振興」は農林漁業、「14.自然環境の保全」「21.芸術文化活動の促進」「22.文化財や史跡の伝承保存」は学生が、それぞれ他に比べて高く、差がめだちます。

(2) 今後のまちづくりで特に重要なもの

【問1-(2)】また、上の全項目(42項目)の中で、今後、千歳市のまちづくりにおいて、特に重要だと思う項目を5つまで選んでください。

「3. 病院・診療所などの医療環境(56.5%)が最も高く、「29. 道路や歩道の除排雪(34.9%)」「39. 働く場の確保(30.9%)」「1. 子育ての環境や支援(29.3%)」が続きます。



性別での比較

男女とも1位は「3.病院・診療所などの医療環境」ですが、女性の回答率が高く、差がみられます。2位から4位、および6位を構成する項目は同じですが、5位については、男性は「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」、女性は「31.バスの利用のしやすさ」をあげています。

(順位)	男性	%	女性	%
1	3.病院・診療所などの医療環境	51.8	3.病院・診療所などの医療環境	61.2
2	29.道路や歩道の除排雪	35.4	29.道路や歩道の除排雪	34.7
3	39.働く場の確保	31.4	1.子育ての環境や支援	31.7
4	1.子育ての環境や支援	27.5	39.働く場の確保	29.6
5	15.騒音・振動・悪臭などの公害防止	18.6	31.バスの利用のしやすさ	20.4
6	19.小・中学校の教育環境	18.2	19.小・中学校の教育環境	19.3
7	4.高齢者の自立支援	18.0	17.ごみの収集・リサイクル	18.7
8	13.自然災害などに対する防災体制	17.2	4.高齢者の自立支援	17.8
9	12.消防・救急体制	16.8	15.騒音・振動・悪臭などの公害防止	17.6
10	31.バスの利用のしやすさ	14.4	13.自然災害などに対する防災体制	16.1
11	17.ごみの収集・リサイクル	13.6	12.消防・救急体制	15.3
12	34.中心市街地のにぎわいづくり	12.8	34.中心市街地のにぎわいづくり	13.9
13	11.地域での防犯対策	12.6	33.日常の買い物環境	13.3
14	42.窓口対応や窓口サービスの提供	12.5	38.観光都市としての魅力づくり	11.8
15	35.農業の振興	12.3	42.窓口対応や窓口サービスの提供	11.2
16	33.日常の買い物環境	11.9	11.地域での防犯対策	10.6
17	38.観光都市としての魅力づくり	11.9	5.障がい者(児)の生活支援	9.0
18	14.自然環境の保全	11.1	2.健康づくりや病気の予防	8.3
19	36.企業誘致や企業活動の支援	10.7	14.自然環境の保全	8.3
20	2.健康づくりや病気の予防	8.7	16.地球環境の保全に対する取り組み	8.3
21	5.障がい者(児)の生活支援	8.5	無回答	7.4
22	26.公園や緑地の整備	8.5	26.公園や緑地の整備	7.1
23	24.青少年の健全育成	8.1	36.企業誘致や企業活動の支援	6.6
24	30.道路の整備	8.1	35.農業の振興	6.2
25	41.市民と行政の協働によるまちづくり体制	7.9	41.市民と行政の協働によるまちづくり体制	5.9
26	32.市街地の整備やまちの景観の向上	7.3	20.障がいのある児童などの教育環境	5.3
27	16.地球環境の保全に対する取り組み	5.9	30.道路の整備	5.2
28	20.障がいのある児童などの教育環境	5.5	32.市街地の整備やまちの景観の向上	4.1
29	無回答	5.5	24.青少年の健全育成	3.8
30	23.スポーツ活動の推進	4.7	10.交通安全への取り組み	3.5
31	10.交通安全への取り組み	4.3	21.芸術文化活動の促進	3.4
32	8.消費生活に関する情報提供や相談体制	3.4	27.公営住宅環境の整備	3.1
33	40.広報誌やホームページなどの情報提供	3.2	28.上下水道の整備	2.7
34	9.町内会活動などのコミュニティ活動	3.0	18.生涯学習の情報や機会の提供	2.5
35	27.公営住宅環境の整備	2.8	7.市民ボランティア活動の育成・支援	2.1
36	37.光科学技術などの高度技術産業の振興	2.8	40.広報誌やホームページなどの情報提供	2.1
37	28.上下水道の整備	2.6	6.男女が等しく社会参加できる環境づくり	1.9
38	7.市民ボランティア活動の育成・支援	2.4	25.国際交流・都市間交流	1.8
39	18.生涯学習の情報や機会の提供	2.2	8.消費生活に関する情報提供や相談体制	1.5
40	21.芸術文化活動の促進	1.8	37.光科学技術などの高度技術産業の振興	1.5
41	25.国際交流・都市間交流	1.6	9.町内会活動などのコミュニティ活動	1.2
42	22.文化財や史跡の伝承保存	1.4	23.スポーツ活動の推進	0.7
43	6.男女が等しく社会参加できる環境づくり	0.8	2.文化財や史跡の伝承保存	0.6

年代別での比較

各年代とも1位は「3.病院・診療所などの医療環境」ですが、30代の回答率が特に高くなっています。2位は、18~29歳と30代は「1.子育ての環境や支援」、40・50代は「39.働く場の確保」、60代と70歳以上は「29.道路や歩道の除排雪」をあげています。

また、「1.子育ての環境や支援」は30代、「19.小・中学校の教育環境」は30・40代、「29.道路や歩道の除排雪」は60代、「31.バスの利用のしやすさ」は18~29歳、「39.働く場の確保」は40・50代、「41.市民と行政の協働によるまちづくり体制」は70歳以上の回答率がそれぞれ他の年代よりも高く、差がめだちます。

(順位)	18～29歳	%
1	3. 病院・診療所などの医療環境	45.5
2	1. 子育ての環境や支援	37.7
3	29. 道路や歩道の除排雪	33.5
4	39. 働く場の確保	29.3
5	31. バスの利用のしやすさ	26.3
6	15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	21.6
7	34. 中心市街地のにぎわいづくり	18.6
8	19. 小・中学校の教育環境	16.8
9	33. 日常の買い物環境	16.8
10	17. ごみの収集・リサイクル	15.6
11	26. 公園や緑地の整備	14.4
12	38. 観光都市としての魅力づくり	12.6
13	13. 自然災害などに対する防災体制	12.0
14	4. 高齢者の自立支援	10.8
15	14. 自然環境の保全	10.8
16	12. 消防・救急体制	9.6
17	2. 健康づくりや病気の予防	8.4
18	5. 障がい者(児)の生活支援	8.4
19	16. 地球環境の保全に対する取り組み	8.4
20	42. 窓口対応や窓口サービスの提供	8.4
21	23. スポーツ活動の推進	7.2
22	30. 道路の整備	7.2
23	無回答	7.2
24	11. 地域での防犯対策	6.6
25	32. 市街地の整備やまちの景観の向上	6.0
26	24. 青少年の健全育成	5.4
27	35. 農業の振興	5.4
28	21. 芸術文化活動の促進	4.8
29	6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	4.2
30	10. 交通安全への取り組み	4.2
31	20. 障がいのある児童などの教育環境	3.6
32	25. 国際交流・都市間交流	3.6
33	36. 企業誘致や企業活動の支援	3.6
34	40. 広報誌やホームページなどの情報提供	3.0
35	41. 市民と行政の協働によるまちづくり	3.0
36	7. 市民ボランティア活動の育成・支援	2.4
37	9. 町内会活動などのコミュニティ活動	2.4
38	18. 生涯学習の情報や機会の提供	2.4
39	37. 光科学技術などの高度技術産業の	1.8
40	8. 消費生活に関する情報提供や相談体	1.2
41	22. 文化財や史跡の伝承保存	1.2
42	27. 公営住宅環境の整備	1.2
43	28. 上下水道の整備	0.6

30代	%
3. 病院・診療所などの医療環境	71.3
1. 子育ての環境や支援	52.8
19. 小・中学校の教育環境	30.1
39. 働く場の確保	28.7
29. 道路や歩道の除排雪	27.8
17. ごみの収集・リサイクル	21.8
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	19.0
31. バスの利用のしやすさ	17.6
12. 消防・救急体制	16.7
33. 日常の買い物環境	14.8
13. 自然災害などに対する防災体制	13.9
11. 地域での防犯対策	12.0
34. 中心市街地のにぎわいづくり	11.6
26. 公園や緑地の整備	11.1
42. 窓口対応や窓口サービスの提供	10.2
4. 高齢者の自立支援	9.7
20. 障がいのある児童などの教育環境	9.7
14. 自然環境の保全	9.3
5. 障がい者(児)の生活支援	8.3
38. 観光都市としての魅力づくり	7.9
35. 農業の振興	7.4
2. 健康づくりや病気の予防	6.5
16. 地球環境の保全に対する取り組み	6.0
36. 企業誘致や企業活動の支援	4.6
10. 交通安全への取り組み	4.2
27. 公営住宅環境の整備	4.2
41. 市民と行政の協働によるまちづくり	4.2
無回答	3.7
18. 生涯学習の情報や機会の提供	2.8
30. 道路の整備	2.8
32. 市街地の整備やまちの景観の向上	2.8
40. 広報誌やホームページなどの情報提供	2.8
24. 青少年の健全育成	2.3
9. 町内会活動などのコミュニティ活動	1.9
8. 消費生活に関する情報提供や相談体	1.4
21. 芸術文化活動の促進	1.4
23. スポーツ活動の推進	1.4
28. 上下水道の整備	1.4
6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	0.5
22. 文化財や史跡の伝承保存	0.5
25. 国際交流・都市間交流	0.5
37. 光科学技術などの高度技術産業の	0.5
7. 市民ボランティア活動の育成・支援	0.0

40代	%
3. 病院・診療所などの医療環境	64.4
39. 働く場の確保	36.6
1. 子育ての環境や支援	36.1
29. 道路や歩道の除排雪	32.2
19. 小・中学校の教育環境	29.8
17. ごみの収集・リサイクル	21.5
12. 消防・救急体制	20.0
13. 自然災害などに対する防災体制	19.5
11. 地域での防犯対策	18.0
4. 高齢者の自立支援	14.6
31. バスの利用のしやすさ	14.6
34. 中心市街地のにぎわいづくり	13.7
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	12.7
33. 日常の買い物環境	11.7
16. 地球環境の保全に対する取り組み	10.7
38. 観光都市としての魅力づくり	10.7
42. 窓口対応や窓口サービスの提供	9.8
36. 企業誘致や企業活動の支援	9.3
5. 障がい者(児)の生活支援	8.8
30. 道路の整備	8.3
2. 健康づくりや病気の予防	7.8
10. 交通安全への取り組み	7.3
14. 自然環境の保全	7.3
20. 障がいのある児童などの教育環境	7.3
35. 農業の振興	7.3
26. 公園や緑地の整備	5.9
32. 市街地の整備やまちの景観の向上	5.4
24. 青少年の健全育成	4.9
41. 市民と行政の協働によるまちづくり	4.9
8. 消費生活に関する情報提供や相談体	2.4
23. スポーツ活動の推進	2.4
28. 上下水道の整備	2.4
無回答	2.4
25. 国際交流・都市間交流	2.0
27. 公営住宅環境の整備	2.0
40. 広報誌やホームページなどの情報提供	2.0
9. 町内会活動などのコミュニティ活動	1.5
37. 光科学技術などの高度技術産業の	1.5
6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	1.0
7. 市民ボランティア活動の育成・支援	1.0
21. 芸術文化活動の促進	1.0
18. 生涯学習の情報や機会の提供	0.5
22. 文化財や史跡の伝承保存	0.0

(順位)	50代	%
1	3. 病院・診療所などの医療環境	62.7
2	39. 働く場の確保	38.2
3	29. 道路や歩道の除排雪	36.1
4	13. 自然災害などに対する防災体制	21.5
5	4. 高齢者の自立支援	21.0
6	1. 子育ての環境や支援	20.2
7	12. 消防・救急体制	19.3
8	15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	17.2
9	31. バスの利用のしやすさ	14.2
10	14. 自然環境の保全	13.7
11	17. ごみの収集・リサイクル	13.7
12	33. 日常の買い物環境	12.9
13	36. 企業誘致や企業活動の支援	12.9
14	42. 窓口対応や窓口サービスの提供	12.4
15	34. 中心市街地のにぎわいづくり	12.0
16	38. 観光都市としての魅力づくり	12.0
17	19. 小・中学校の教育環境	11.2
18	5. 障がい者(児)の生活支援	10.7
19	11. 地域での防犯対策	10.3
20	35. 農業の振興	9.4
21	16. 地球環境の保全に対する取り組み	9.0
22	32. 市街地の整備やまちの景観の向上	9.0
23	24. 青少年の健全育成	7.7
24	2. 健康づくりや病気の予防	6.9
25	30. 道路の整備	6.0
26	無回答	6.0
27	26. 公園や緑地の整備	5.2
28	41. 市民と行政の協働によるまちづくり	4.7
29	20. 障がいのある児童などの教育環境	4.3
30	27. 公営住宅環境の整備	3.9
31	8. 消費生活に関する情報提供や相談体	3.4
32	18. 生涯学習の情報や機会の提供	3.4
33	21. 芸術文化活動の促進	2.6
34	28. 上下水道の整備	2.6
35	7. 市民ボランティア活動の育成・支援	2.1
36	23. スポーツ活動の推進	2.1
37	10. 交通安全への取り組み	1.7
38	22. 文化財や史跡の伝承保存	1.7
39	25. 国際交流・都市間交流	1.7
40	37. 光科学技術などの高度技術産業の	1.7
41	40. 広報誌やホームページなどの情報提供	1.3
42	6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	0.9
43	9. 町内会活動などのコミュニティ活動	0.9

60代	%
3. 病院・診療所などの医療環境	48.6
29. 道路や歩道の除排雪	43.1
39. 働く場の確保	26.9
4. 高齢者の自立支援	23.6
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	20.4
1. 子育ての環境や支援	17.1
13. 自然災害などに対する防災体制	16.2
42. 窓口対応や窓口サービスの提供	14.8
34. 中心市街地のにぎわいづくり	14.4
31. バスの利用のしやすさ	13.9
19. 小・中学校の教育環境	13.4
38. 観光都市としての魅力づくり	13.0
12. 消防・救急体制	12.0
無回答	12.0
2. 健康づくりや病気の予防	11.6
35. 農業の振興	11.6
11. 地域での防犯対策	11.1
36. 企業誘致や企業活動の支援	10.6
14. 自然環境の保全	10.2
17. ごみの収集・リサイクル	10.2
30. 道路の整備	9.7
41. 市民と行政の協働によるまちづくり	9.7
33. 日常の買い物環境	8.8
5. 障がい者(児)の生活支援	7.9
26. 公園や緑地の整備	5.1
28. 上下水道の整備	5.1
32. 市街地の整備やまちの景観の向上	5.1
24. 青少年の健全育成	4.6
16. 地球環境の保全に対する取り組み	4.2
20. 障がいのある児童などの教育環境	3.7
21. 芸術文化活動の促進	3.7
27. 公営住宅環境の整備	3.7
7. 市民ボランティア活動の育成・支援	3.2
9. 町内会活動などのコミュニティ活動	3.2
10. 交通安全への取り組み	3.2
8. 消費生活に関する情報提供や相談体	2.8
6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	1.9
18. 生涯学習の情報や機会の提供	1.9
37. 光科学技術などの高度技術産業の	1.9
25. 国際交流・都市間交流	1.4
40. 広報誌やホームページなどの情報提供	1.4
22. 文化財や史跡の伝承保存	0.9
23. スポーツ活動の推進	0.9

70歳以上	%
3. 病院・診療所などの医療環境	41.8
29. 道路や歩道の除排雪	37.0
4. 高齢者の自立支援	28.8
39. 働く場の確保	22.3
31. バスの利用のしやすさ	20.1
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	17.4
12. 消防・救急体制	16.8
17. ごみの収集・リサイクル	16.3
41. 市民と行政の協働によるまちづくり	16.3
13. 自然災害などに対する防災体制	15.8
42. 窓口対応や窓口サービスの提供	15.8
38. 観光都市としての魅力づくり	14.7
1. 子育ての環境や支援	12.5
33. 日常の買い物環境	12.5
2. 健康づくりや病気の予防	11.4
35. 農業の振興	11.4
34. 中心市街地のにぎわいづくり	10.9
24. 青少年の健全育成	9.8
無回答	9.8
19. 小・中学校の教育環境	8.7
11. 地域での防犯対策	8.2
36. 企業誘致や企業活動の支援	8.2
5. 障がい者(児)の生活支援	7.6
16. 地球環境の保全に対する取り組み	5.4
30. 道路の整備	5.4
32. 市街地の整備やまちの景観の向上	5.4
40. 広報誌やホームページなどの情報提供	5.4
26. 公園や緑地の整備	4.9
37. 光科学技術などの高度技術産業の	4.9
7. 市民ボランティア活動の育成・支援	4.3
14. 自然環境の保全	3.8
20. 障がいのある児童などの教育環境	3.8
9. 町内会活動などのコミュニティ活動	3.3
27. 公営住宅環境の整備	3.3
28. 上下水道の整備	3.3
8. 消費生活に関する情報提供や相談体	2.7
18. 生涯学習の情報や機会の提供	2.7
21. 芸術文化活動の促進	2.7
10. 交通安全への取り組み	2.2
6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	1.1
22. 文化財や史跡の伝承保存	1.1
23. スポーツ活動の推進	1.1
25. 国際交流・都市間交流	1.1

その他の属性での「重要度」の比較<加重平均値>

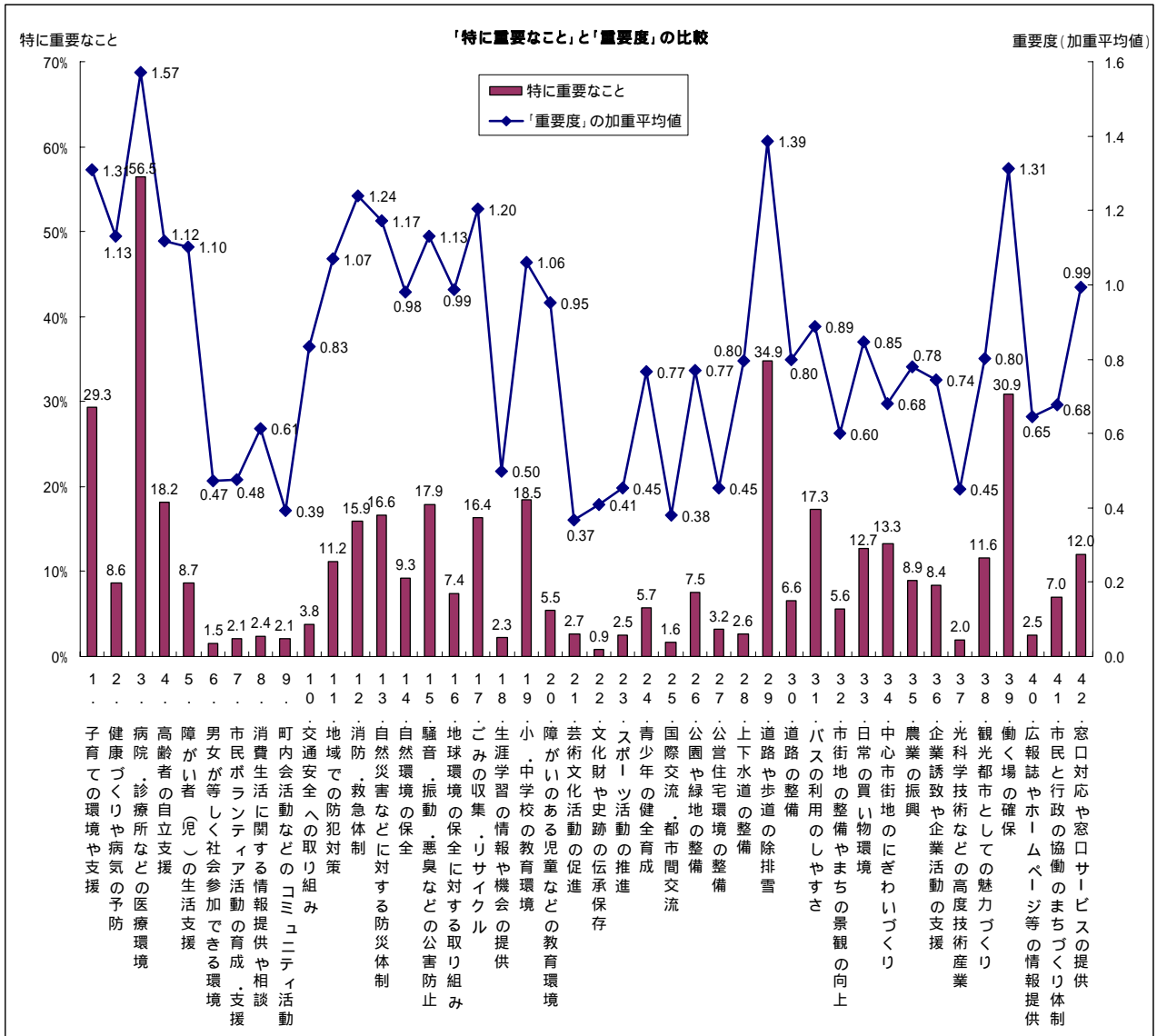
出生別にみると、「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」は“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”、「26.公園や緑地の整備」は、“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”の回答率が他に比べて高く、めだちます。

家族構成別にみると、「1.子育ての環境や支援」や「19.小・中学校の教育環境」は、2世代と3世代以上、「13.自然災害などに対する防災体制」は夫婦のみが、それぞれ回答率が他に比べて高く、めだちます。

職業別にみると、「1.子育ての環境や支援」は公務・団体等勤務、「13.自然災害などに対する防災体制」や「35.農業の振興」は農林漁業、「21.芸術文化活動の促進」「23.スポーツ活動の推進」「25.国際交流・都市間交流」「31.バスの利用のしやすさ」は学生が、それぞれ回答率が他に比べて高く、差がめだちます。

問1-(1)の「重要度」の加重平均値と比較すると、「1.子育ての環境や支援」「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」は、「特に重要なこと」と「重要度」ともに値が高くなっています。

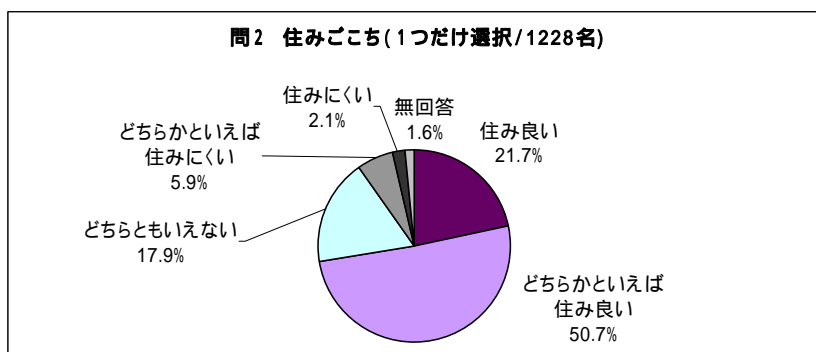
一方「12.消防・救急体制」「13.自然災害などに対する防災体制」「17.ごみの収集・リサイクル」などは、「特に重要なこと」としての回答率は「重要度」の高さと比較すると高くなく、評価に開きがみられます。



(3) 住みごころ

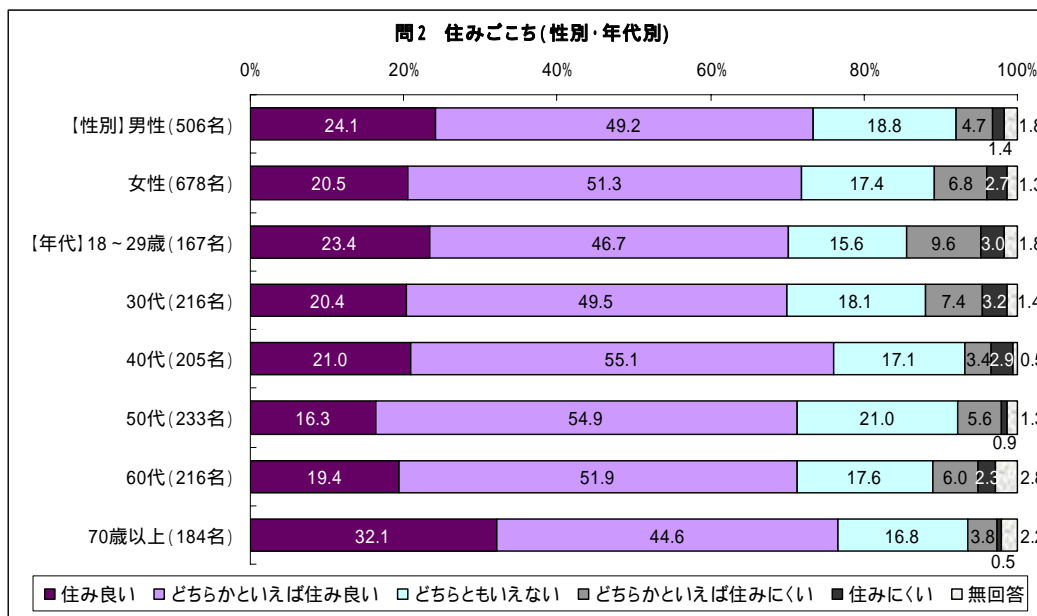
【問2】総合的にみて、現在の千歳市の住みごころはいかがですか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

「どちらかといえば住み良い」が50.7%と約半数を占め、「住み良い」(21.7%)、「どちらともいえない」(17.9%)が続きます。「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は72.4%で、程度の差はあれ、約7割は住み良さを評価しています。



性別にみると、「住み良い」は男性、「どちらかといえば住み良い」は女性の回答率がそれぞれ高くなっています。

年代別にみると、「住み良い」は70歳以上、「どちらかといえば住み良い」は40代の回答率がそれぞれ最も高く、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が最も高いのは70歳以上(76.7%)で、40代(76.1%)が続きます。

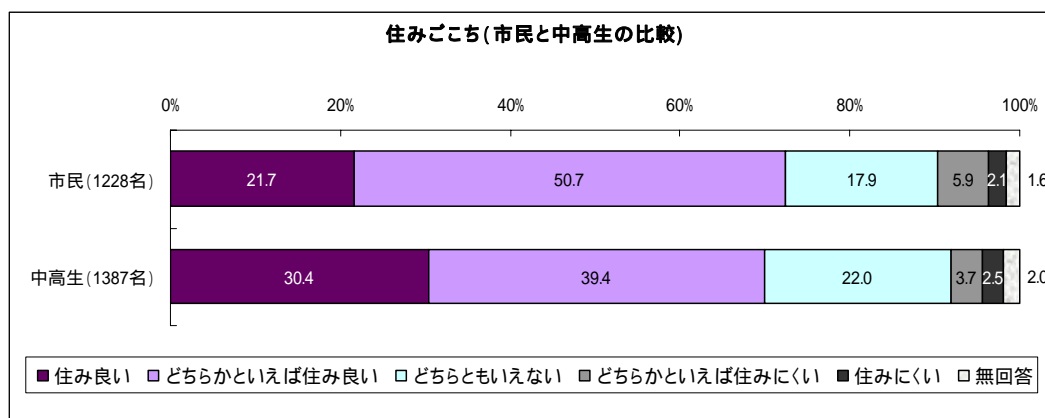


「住み良い」は、出生別にみると“千歳市生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”、家族構成別では3世代以上、職業別では運輸業・通信業などと学生の回答率がそれぞれ高く、差がみられます。

一方、「どちらかといえば住みにくい」は農林漁業の回答率が高く、「住みにくい」と合わせると2割をこえます。

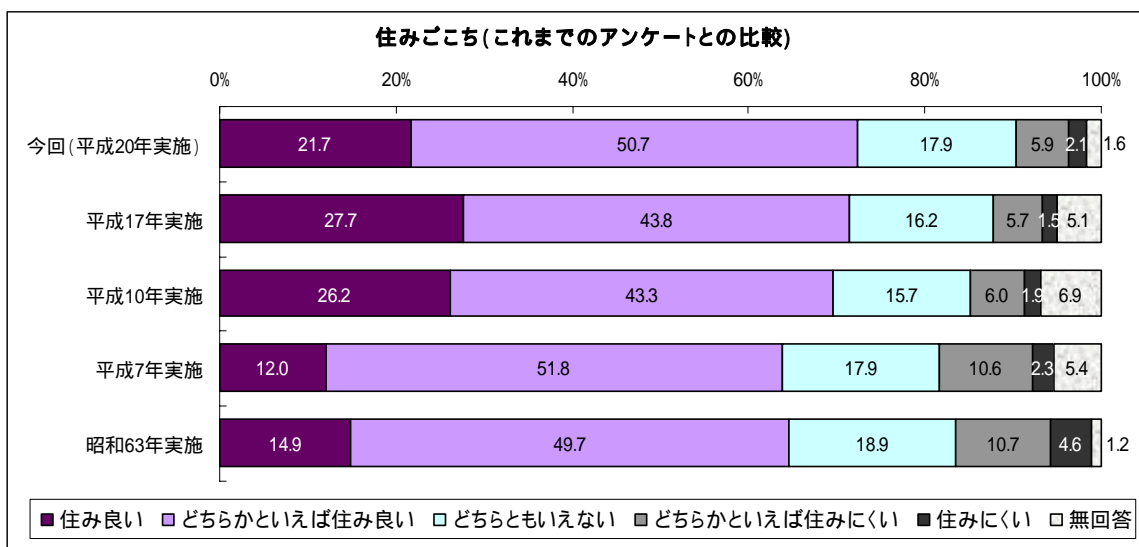
中高生アンケートとの比較（住みごち）

「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」の合計は市民と中高生にあまり差はみられませんが、「住み良い」は中高生、「どちらかといえば住み良い」は市民の方が高くなっています。



これまでのアンケートとの比較（住みごち）

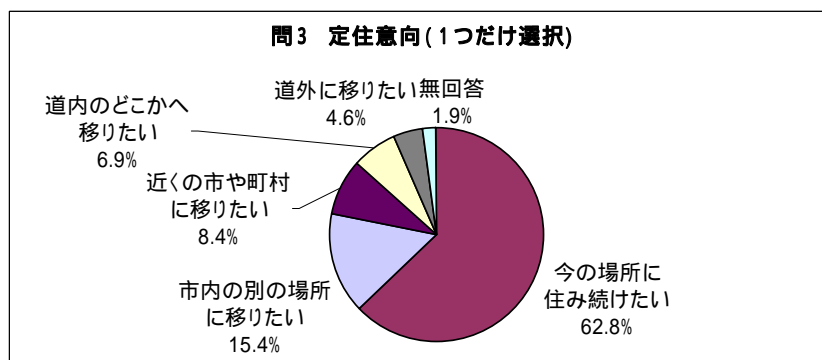
「住み良い」は平成10年、平成17年と同様2割をこえましたが、回答率は低くなっています。一方、「どちらかといえば住み良い」は高くなっており、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合計した肯定的な評価は、これまでのアンケートの中で最も高くなっています。



(4) 定住意向

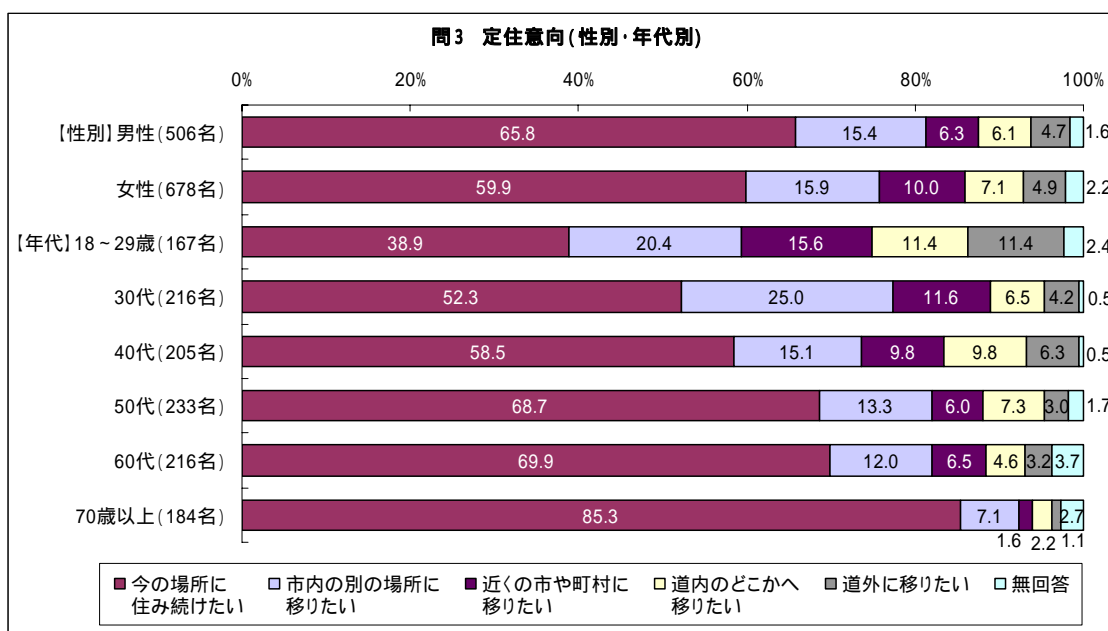
【問3】これからも、千歳市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に印をつけてください。

「今の場所に住み続けたい」が62.8%と最も高く、「市内の別の場所に移りたい」(15.4%)、「近くの市や町村に移りたい」(8.4%)が続きます。「今の場所」と「市内の別の場所」の合計は78.2%で、約8割は今後も市内に住む意向を持っています。



性別にみると、「今の場所に住み続けたい」は男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、年代が高まるにつれて回答率が高くなっています。一方、「近くの市や町村に移りたい」「道内のどこかへ移りたい」「道外に移りたい」はいずれも18~29歳の回答率が最も高く、それぞれ1割をこえています。



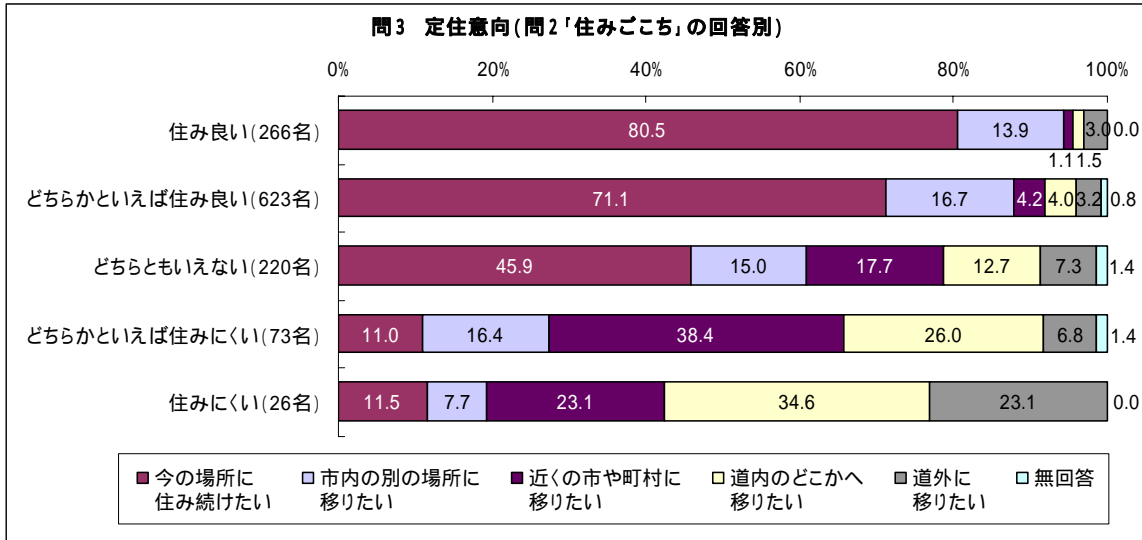
出生別にみると、“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”は「今の場所に住み続けたい」が、それ以外は「道内のどこかへ移りたい」と「道外に移りたい」がそれぞれ他に比べて高く、差がみられます。

職業別にみると、「市内の別の場所に移りたい」は、公務・団体等勤務の回答率が高く、差がみられます。

地区別にみると、地区3・4・7・8・13では「今の場所に住み続けたい」が7割以上を占めています。一方、地区5・11では「道内のどこかへ移りたい」、地区1・2・9では「道外に移りたい」が、それぞれ他の地区より回答率が高くなっています。

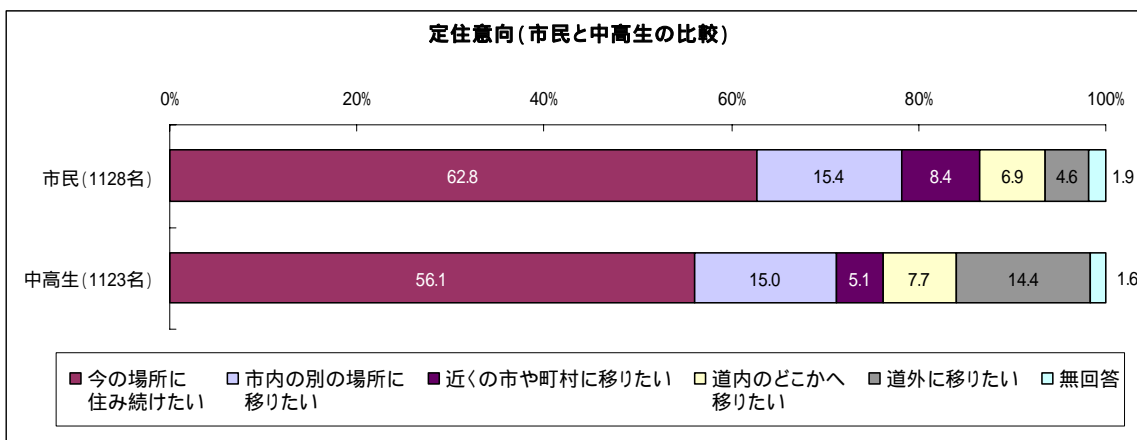
【問2】の「住みごち」の回答別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、“住み良い”で80.5%を占めますが、“どちらかといえば住み良い”では71.1%となり、“どちらかといえば住みにくい”“住みにくい”では11%台にとどまっています。

一方、「近くの市や町村に移りたい」は“どちらかといえば住みにくい”で38.4%を占め最も高く、「道内のどこかへ移りたい」「道外に移りたい」は、“住みにくい”でそれぞれ回答率が最も高くなっています。



中高生アンケートとの比較（定住意向）

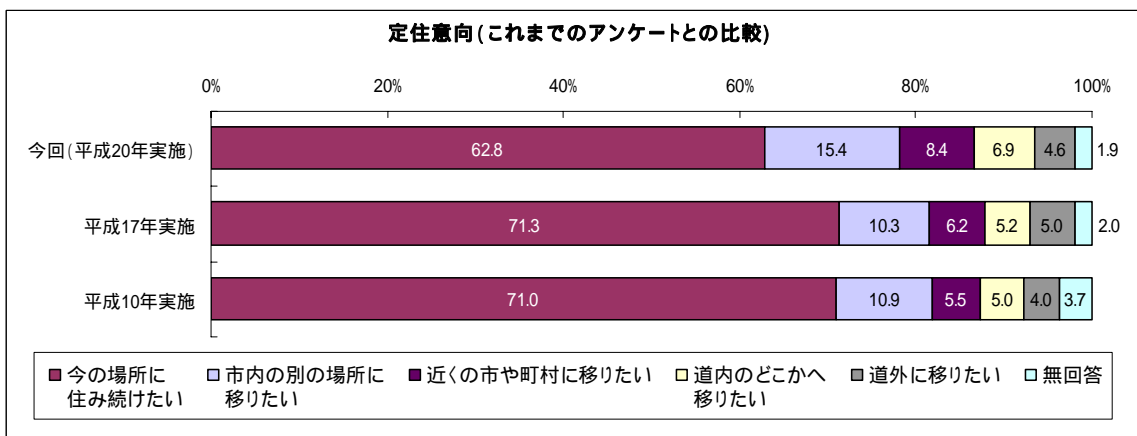
「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所に移りたい」ともに市民の方が高くなっています。中高生では「道外に移りたい」が市民よりも高くなっています。



これまでのアンケートとの比較（定住意向）

「今の場所に住み続けたい」が低くなる一方、「市内の別の場所に移りたい」が高くなっています。

「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所に移りたい」を合わせた定住意向を示す回答率は、これまでに比べて低くなっています。

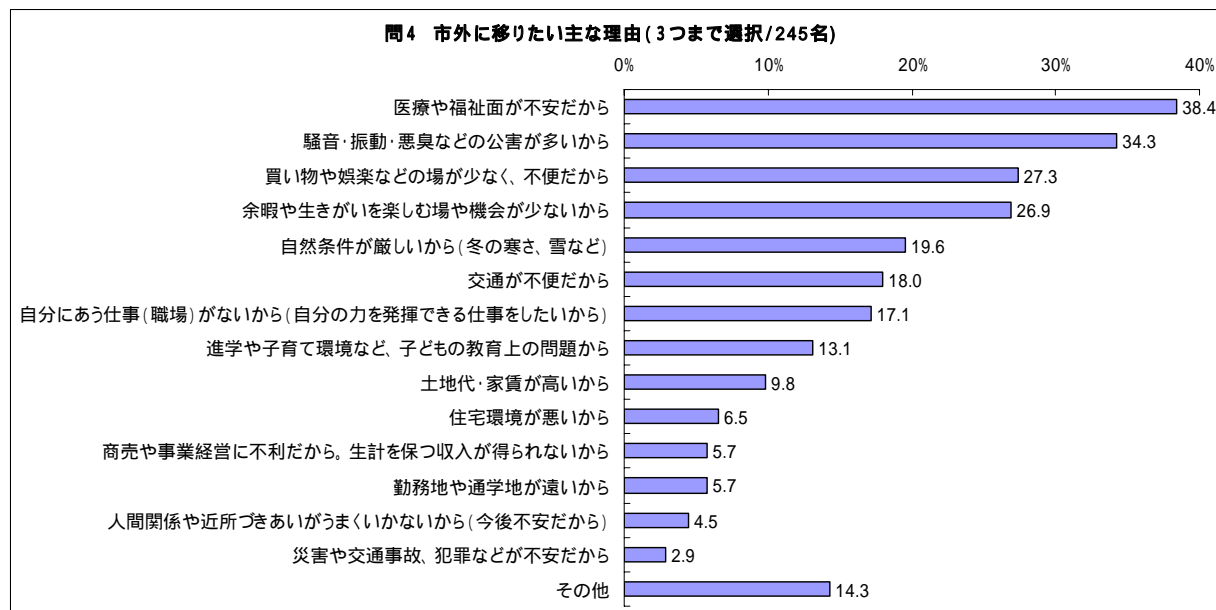


(5) 市外に移りたい主な理由

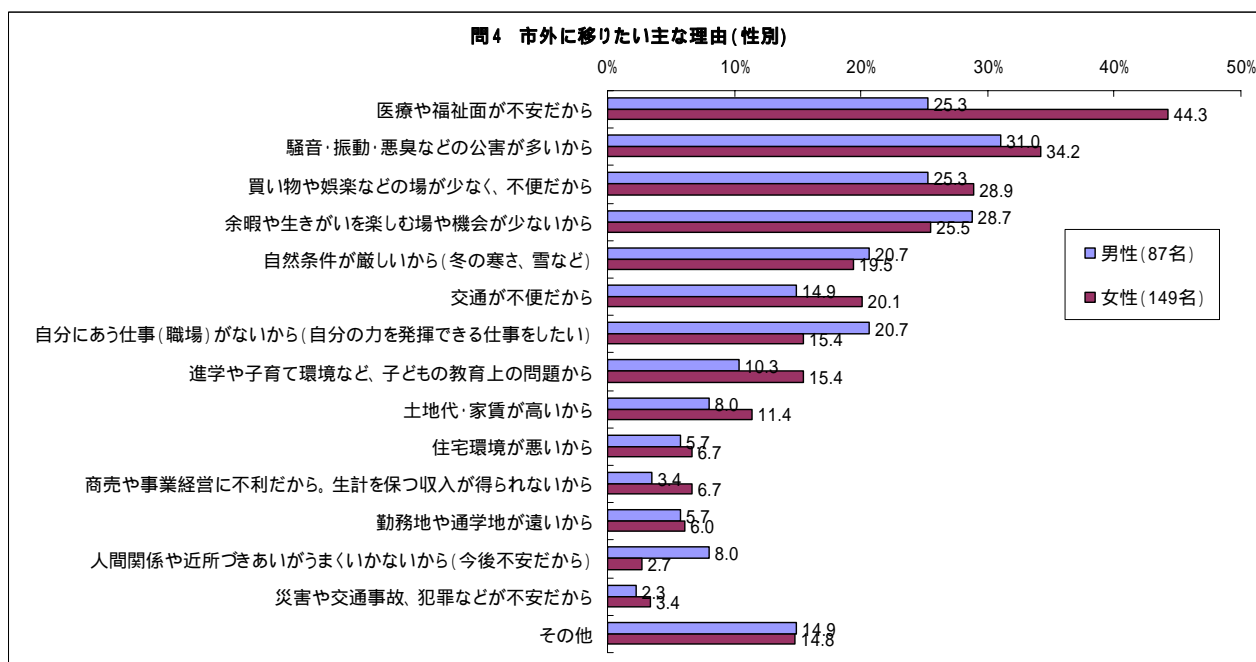
【問4】前問（問3）で、3～5に 印をつけられた方におたずねします。

市外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

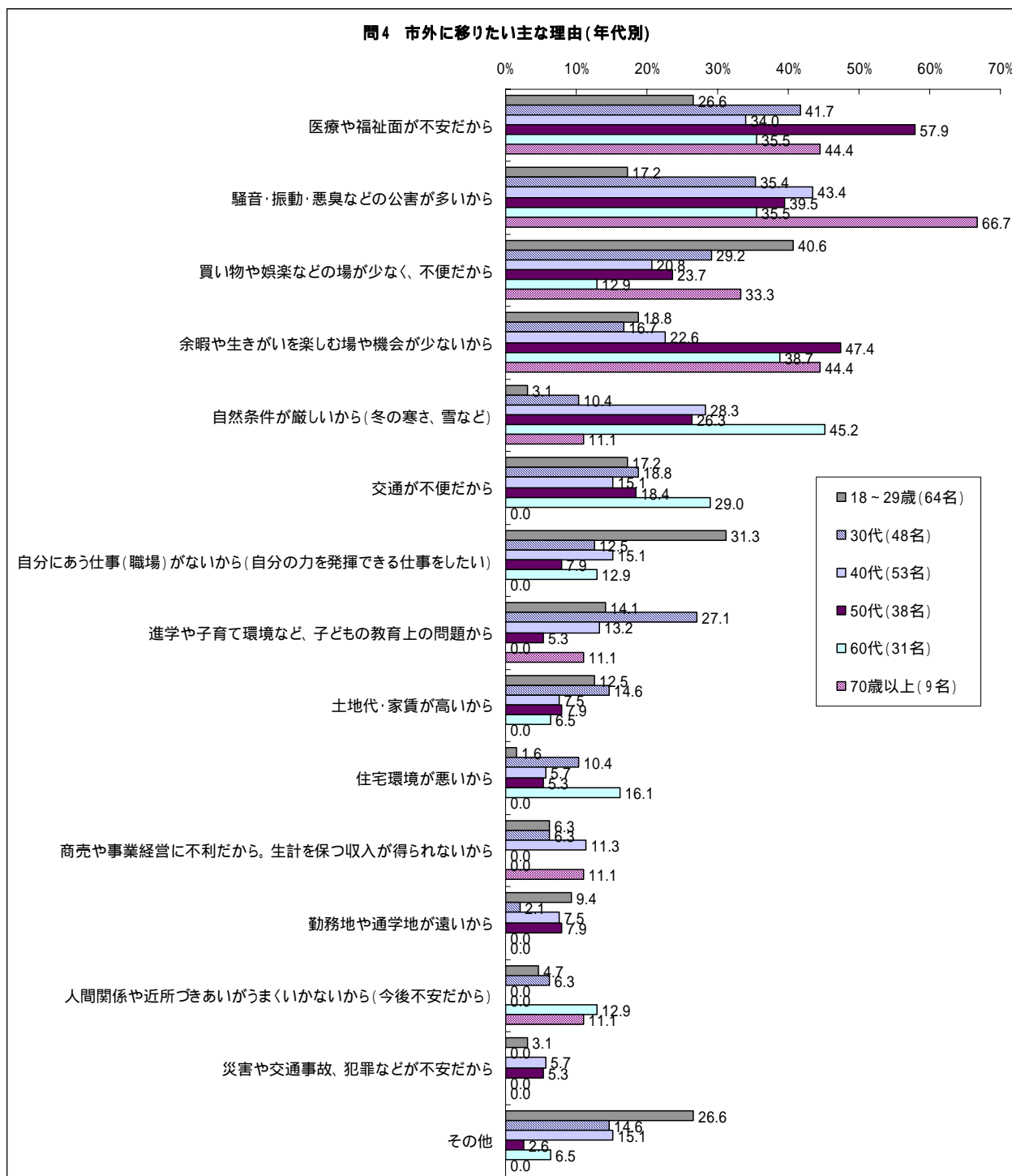
「医療や福祉面が不安だから」(38.4%)が最も高く、「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」(34.3%)、「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」(27.3%)「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」(26.9%)が続きます。



性別にみると、男性は「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」(31.0%)、女性は「医療や福祉面が不安だから」(44.3%)を1位にあげています。また、「自分にあう仕事(職場)がないから」「人間関係や近所づきあいがうまくいかないから(今後不安だから)」は男性、「医療や福祉面が不安だから」「交通が不便だから」「進学や子育て環境など、子どもの教育上の問題から」は女性の回答率が高く、差がめだちます。

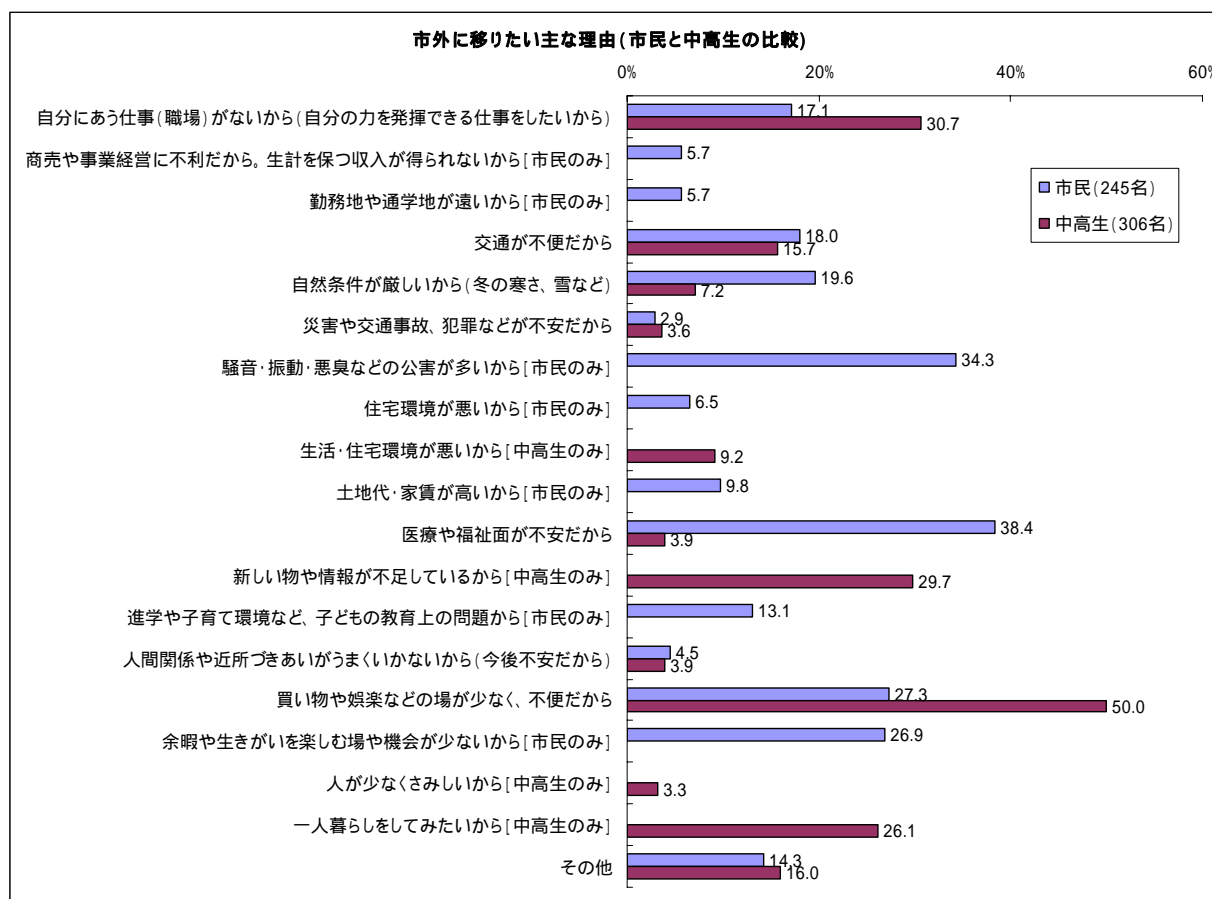


年代別にみると、18～29歳は「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」、30代と50代は「医療や福祉面が不安だから」、40代と70歳以上は「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」、50代は「自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)」をそれぞれ1位にあげています。



中学生アンケートとの比較（市外に移りたい主な理由）

市民と中学生の回答率に差がみられるのは、「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」「自分にあう仕事（職場）がないから（自分の力を発揮できる仕事をしたいから）」「医療や福祉面が不安だから」などで、「買い物」「仕事」では中学生、「医療や福祉」では市民の回答率がそれぞれ高くなっています。



【「その他」の記述内容】

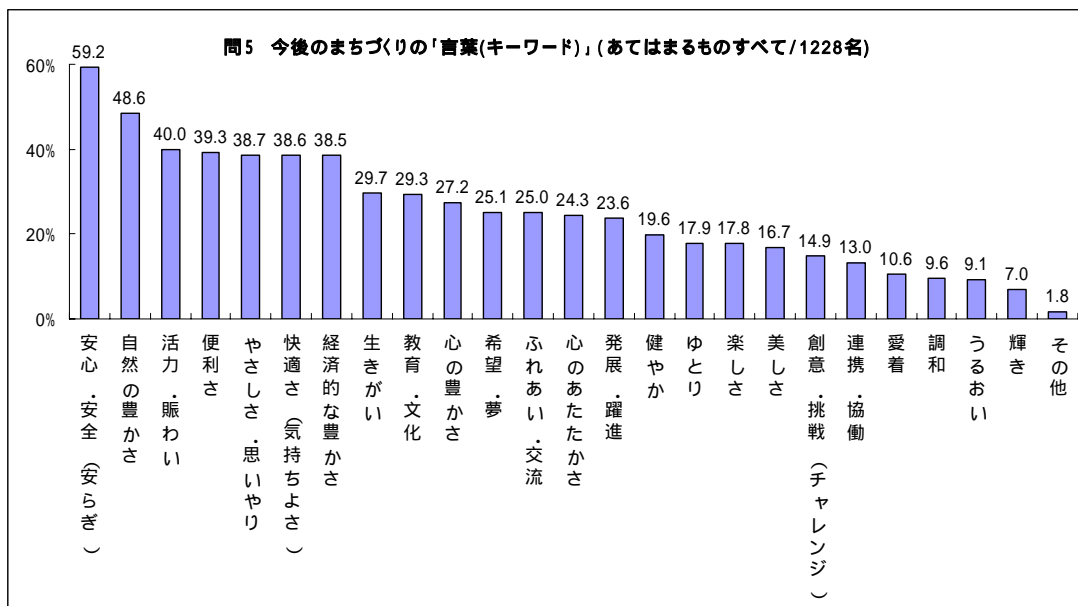
- 将来的に実家に戻りたいから / いずれは地元へ帰りたいから / 地元へ戻りたい為 / 親の近所に住みたいため / 地元ではないので地元に戻りたい / 両親の居住地(石狩市)に近くなるようにしたいから / 相方の親のめんどうを見なければならぬから
- 実家が千歳市外だから / 実家が道外だから / 実家が本州だから / 郷里近傍でない為
- 転勤があるので / 転勤で異動のため、自宅に戻る / 転勤族だから / 夫の転勤で道外へ行く事が決まっています、もう道内で暮らす事はないので
- 道外の学校に通いたいから / 道外で仕事をしてみたいから / さまざまな地域の特性にふれてみたい
- いなかに住みたいから / 郊外で自分で作物を作り楽しみたい
- 人が冷たい。コミュニティがない / 人間関係、付き合いが低迷
- 民間で行っている学習会場が遠い / 教養を得る施設が充実してない
- 以前より騒がしくなった気がするから / 航空機の音がうるさい
- (千歳の) 天気が悪い
- まわりの方へ迷惑をかけたので
- 自衛官がたくさんいて、迷彩服のまま歩いている。
- 小中学校の生徒の生活態度が低すぎる！
- 障害者でも働ける場所がない。とにかく仕事がない。母子家庭でも障がい年金をもらっているため母子加算がもらえない。
- 良い病院がない。市民病院も良くない。待ち時間ばかりが多い

2 10年間のまちづくり評価とこれからの意向

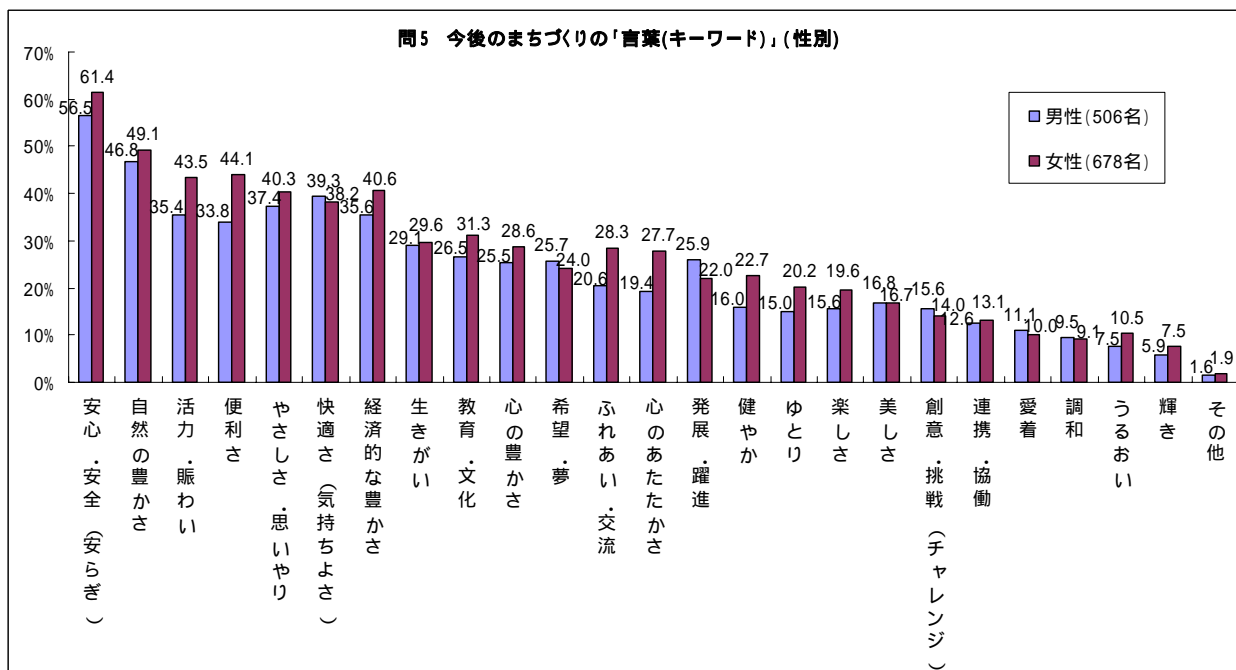
(1) 今後のまちづくりのキーワード

【問5】今後の千歳市の「まちづくり」を進めていく上で、どのような「言葉(キーワード)」を重視すべきだと思いますか。あてはまるものすべてに 印をつけてください。

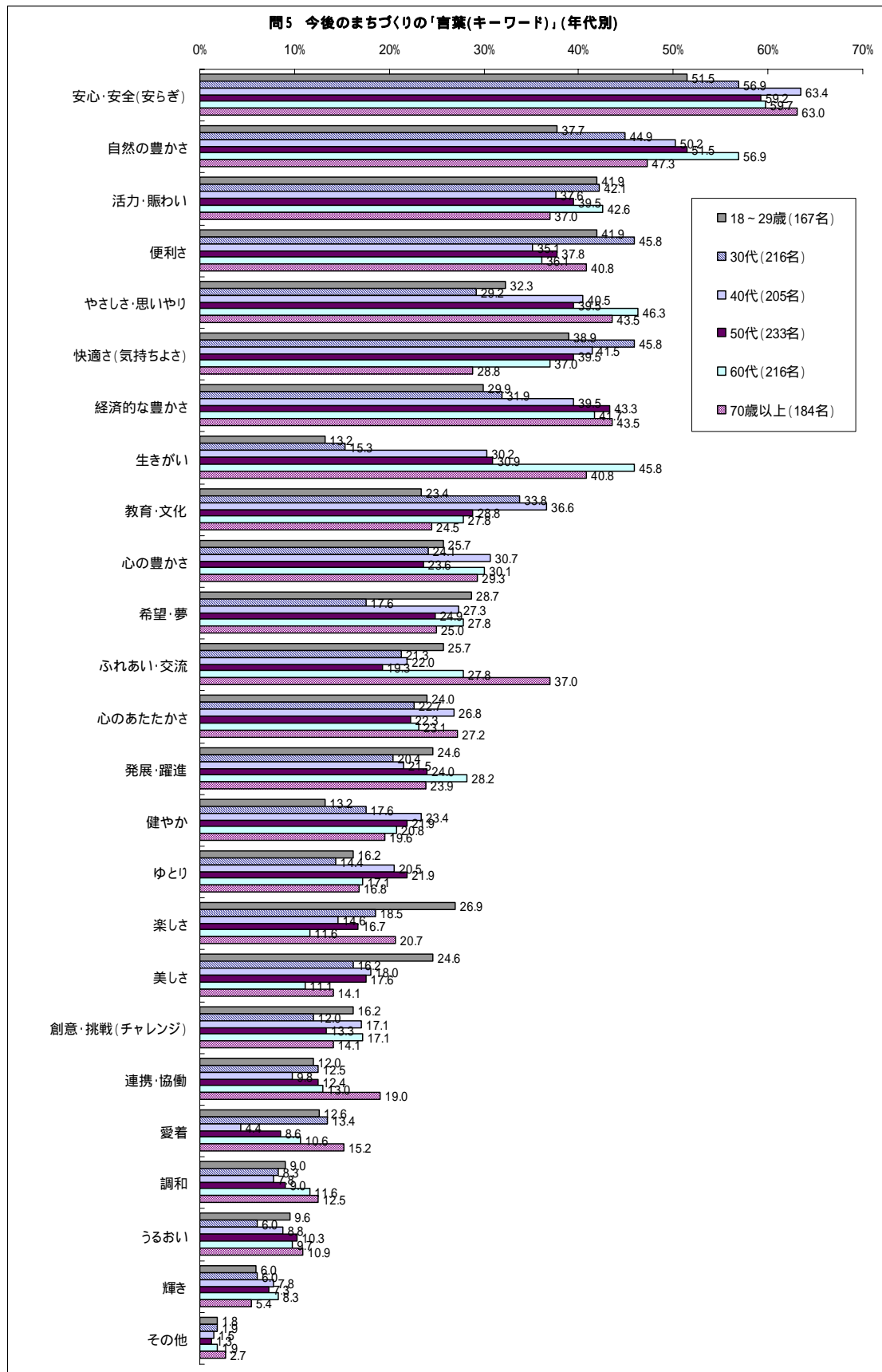
「安心・安全(安らぎ)」(59.2%)と最も高く、「自然の豊かさ」(48.6%)、「活力・賑わい」(40.0%)が続きます。



性別にみると、男女ともに「安心・安全(安らぎ)」が1位、「自然の豊かさ」が2位ですが、3位については、男性は「快適さ(気持ちよさ)」、女性は「便利さ」をあげています。



年代別にみると、1位は各年代ともに「安心・安全(安らぎ)」ですが、2位については、40代以上の年代は「自然の豊かさ」をあげているのに対して、18~29歳は「活力・賑わい」と「便利さ」、30代は「便利さ」と「快適さ(気持ちよさ)」を、それぞれ同率であげています。また、「楽しさ」「美しさ」は18~29歳、「生きがい」は60代や70歳以上、「ふれあい・交流」「連携・協働」は70歳以上の回答率が高く、他の年代との差がめだちます。



出生別にみると、1位・2位は同じですが、“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”は「便利さ」、「千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる」は「活力・賑わい」、「千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた」は「経済的な豊かさ」と「快適さ(気持ちよさ)」を同率で、それぞれ3位にあげています。

地区別にみると、地区14以外は「安心・安全(安らぎ)」が1位で、中も地区8の回答率が高くなっています。(地区15は「自然の豊かさ」と同率で1位)一方、地区14は「経済的な豊かさ」を1位にあげており、回答率も他の地区と比べて差がめだちます。

上位5位の内容

		1位	2位	3位	4位	5位
全体(1228名)		安心・安全(安らぎ) 59.2	自然の豊かさ 48.6	活力・賑わい 40.0	便利さ 39.3	やさしさ・思いやり 38.7
出生別	千歳市で生まれ、 ずっと千歳市(193名)	安心・安全(安らぎ) 61.1	自然の豊かさ 51.3	便利さ 43.5	活力・賑わい 42.5	やさしさ・思いやり 42.0
	千歳市で生まれ、 市外に引っこし、 再び千歳市(79名)	安心・安全(安らぎ) 57.0	自然の豊かさ 54.4	活力・賑わい 41.8	快適さ(気持ちよさ) 35.4	経済的な豊かさ 34.2
	千歳市外で生まれ、 千歳市に引っこし (945名)	安心・安全(安らぎ) 59.2	自然の豊かさ 48.1	経済的な豊かさ / 快適さ(気持ちよさ) 39.4		活力・賑わい 39.3
地区別	地区1(54名)	安心・安全(安らぎ) 59.3	自然の豊かさ 55.6	活力・賑わい / 快適さ(気持ちよさ) 37.0		やさしさ・思いやり 35.2
	地区2(142名)	安心・安全(安らぎ) 52.8	自然の豊かさ / 便利さ 48.6		快適さ(気持ちよさ) 44.4	活力・賑わい 40.8
	地区3(71名)	安心・安全(安らぎ) 57.7	自然の豊かさ 54.9	便利さ 52.1	活力・賑わい 50.7	経済的な豊かさ 43.7
	地区4(33名)	安心・安全(安らぎ) 57.6	自然の豊かさ 54.5	活力・賑わい / 快適さ(気持ちよさ) 42.4		便利さ 39.4
	地区5(63名)	安心・安全(安らぎ) 55.6	やさしさ・思いやり 47.6	活力・賑わい 44.4	自然の豊かさ 42.9	経済的な豊かさ 38.1
	地区6(65名)	安心・安全(安らぎ) 52.3	やさしさ・思いやり 44.6	活力・賑わい 40.0	自然の豊かさ 38.5	便利さ 35.4
	地区7(126名)	安心・安全(安らぎ) 60.3	自然の豊かさ 53.2	活力・賑わい / 便利さ 42.9		経済的な豊かさ / 生きがい 41.3
	地区8(101名)	安心・安全(安らぎ) 71.3	快適さ(気持ちよさ) 48.5	自然の豊かさ 45.5	活力・賑わい / 便利さ 41.6	
	地区9(131名)	安心・安全(安らぎ) 67.9	自然の豊かさ 44.3	活力・賑わい / やさしさ・思いやり 42.0		経済的な豊かさ / 便利さ 40.5
	地区10(126名)	安心・安全(安らぎ) 54.8	自然の豊かさ 47.6	活力・賑わい 38.1	経済的な豊かさ 36.5	便利さ 34.9
	地区11(126名)	安心・安全(安らぎ) 61.9	自然の豊かさ 50.8	快適さ(気持ちよさ) / やさしさ・思いやり 43.7		経済的な豊かさ 42.1
	地区12(121名)	安心・安全(安らぎ) 57.9	自然の豊かさ 49.6	やさしさ・思いやり 39.7	活力・賑わい / 経済的な豊かさ 38.8	
	地区13(26名)	安心・安全(安らぎ) 57.7	自然の豊かさ 53.8	経済的な豊かさ / 便利さ 46.2		活力・賑わい / やさしさ・思いやり 30.8
	地区14(16名)	経済的な豊かさ 68.8	自然の豊かさ / 便利さ 50.0		安心・安全(安らぎ) / 生きがい 43.8	
	地区15(22名)	安心・安全(安らぎ) / 自然の豊かさ 54.5		快適さ(気持ちよさ) 50.0	活力・賑わい 36.4	経済的な豊かさ / 便利さ 31.8

【「その他」の記述内容】

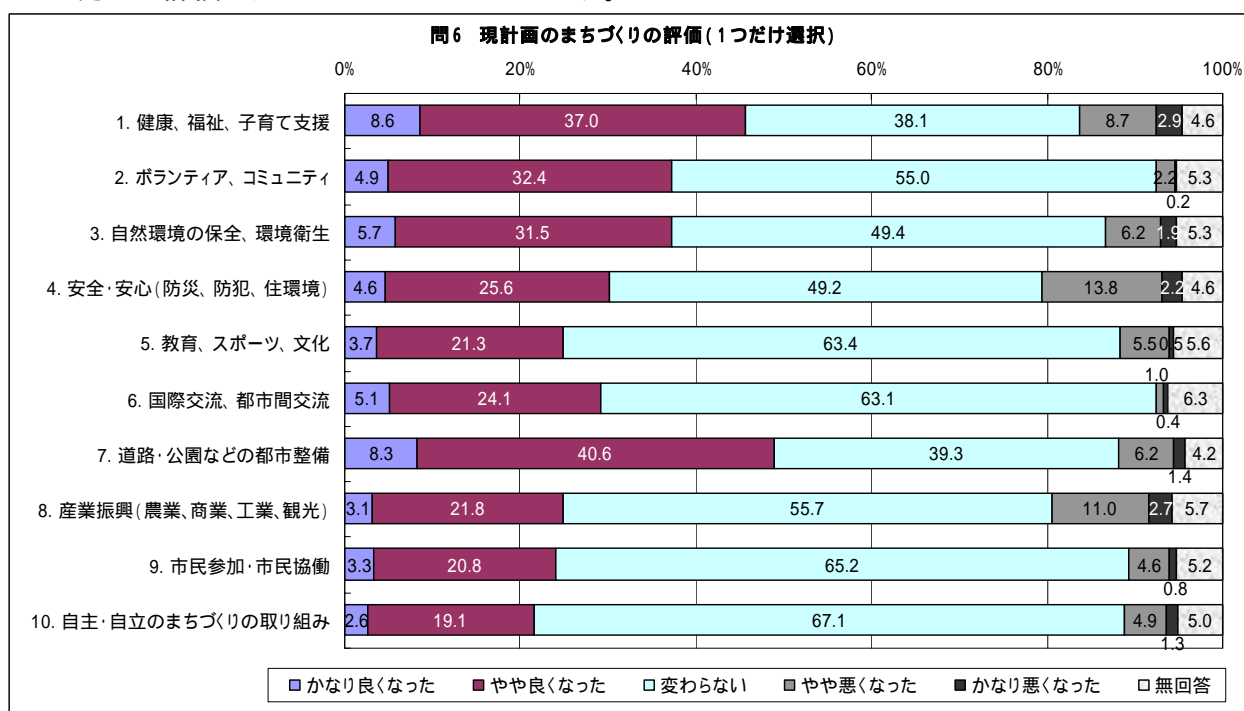
おもんばかり スポーツ 良心 マナー・モラル、芸術 医療面の安心(産婦人科が1つしかない)
活性化 空港との協調 笑顔 新生 大人のマナー 物価 緑色 和文化、しきたり
何に対しても感謝の心を持つことが大事 すべての項目を満足する千歳市を願う

(2) 10年間の取り組みの評価

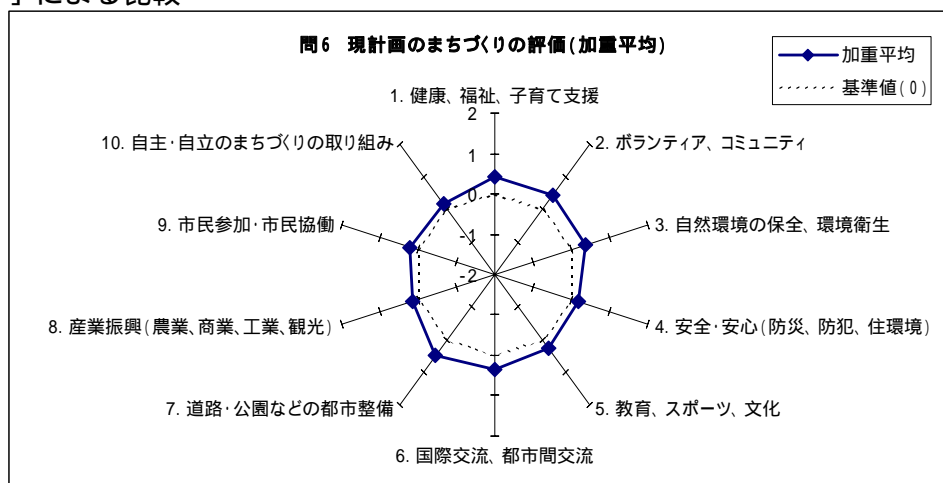
【問6】千歳市では、これまでまちづくりに関するさまざまな取り組みを進めてきました。あなたは、以下のようなまちづくりの各分野について、おおよそ10年前と比べてどのようにお考えですか。各選択肢（A～E）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。（居住期間が10年未満の方も、住みはじめてからの実感で評価してください）

「かなり良くなった」は「1.健康、福祉、子育て支援」が最も高く「7.道路、公園などの都市整備」が続きます。「やや良くなった」の回答率もこの2つが上位を占めています。一方、「やや悪くなった」では「4.安全・安心」が最も高く、「8.産業振興」が続きます。

「1.健康、福祉、子育て支援」は肯定的な回答が比較的高い一方、否定的な回答も高く、他に比べて評価の違いがはっきりしています。



「加重平均」による比較

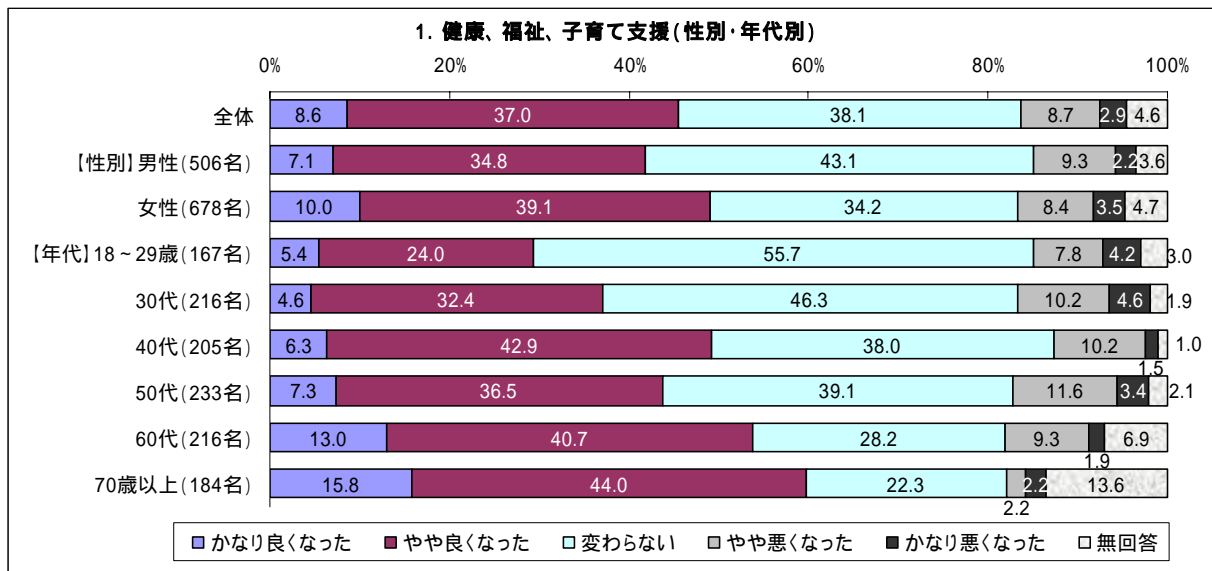


(かなり良くなった×2+やや良くなった×1+やや悪くなった×-1+かなり悪くなった×-2)÷回答者数

1. 健康、福祉、子育て支援

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに女性の回答率が高くなっています。一方、男性は「変わらない」の回答率が最も高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にありますが、50代は40代より「やや良くなった」の回答率が低くなっています。

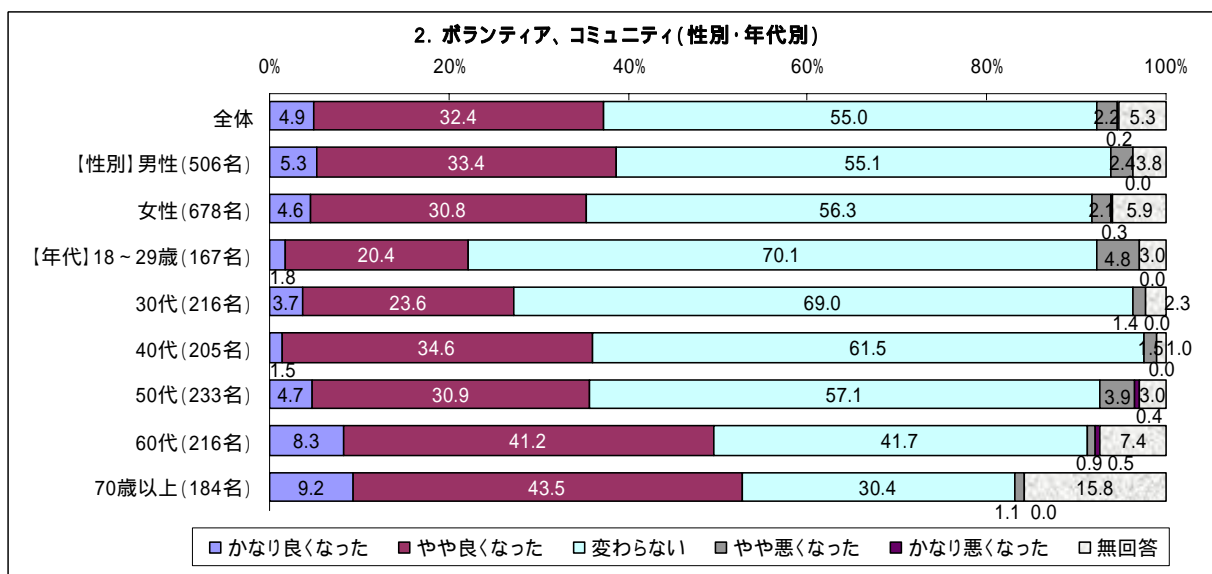


他の属性でみると、家族構成別ではひとり暮らし・単身赴任、職業別では製造業・建設業、自衛隊等勤務、学生、地区別では地区5で、「変わらない」の回答率がそれぞれ高くなっています。

2. ボランティア、コミュニティ

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にありますが、50代は40代より「やや良くなった」の回答率が低くなっています。

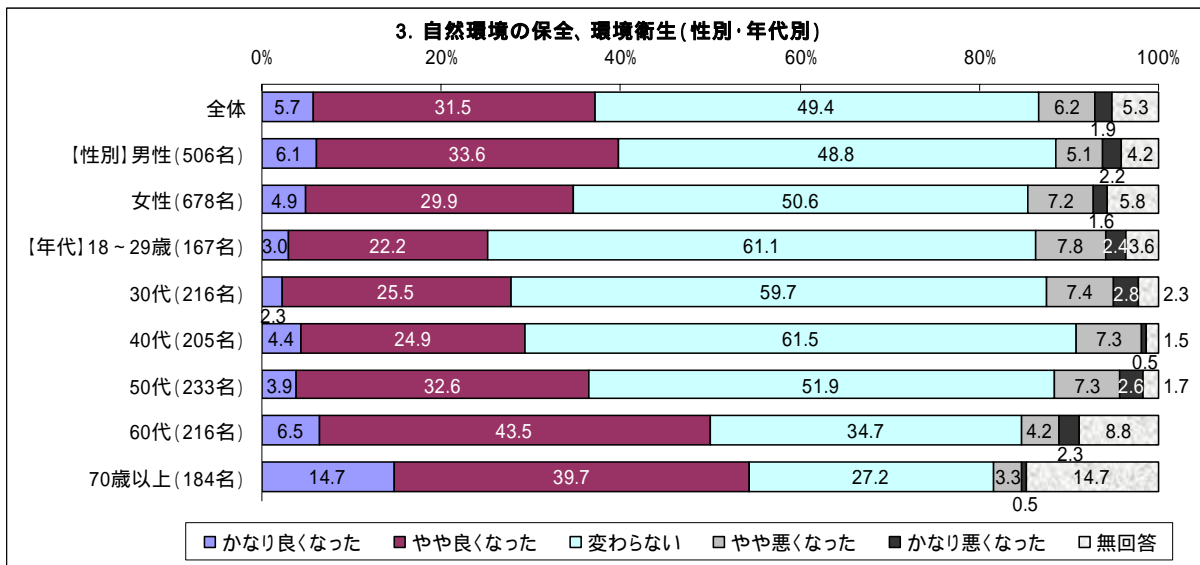


他の属性でみると、職業別では製造業・建設業と学生、地区別では地区5・8・13で、「変わらない」の回答率がそれぞれ高くなっています。

3. 自然環境の保全、環境衛生

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にあります。

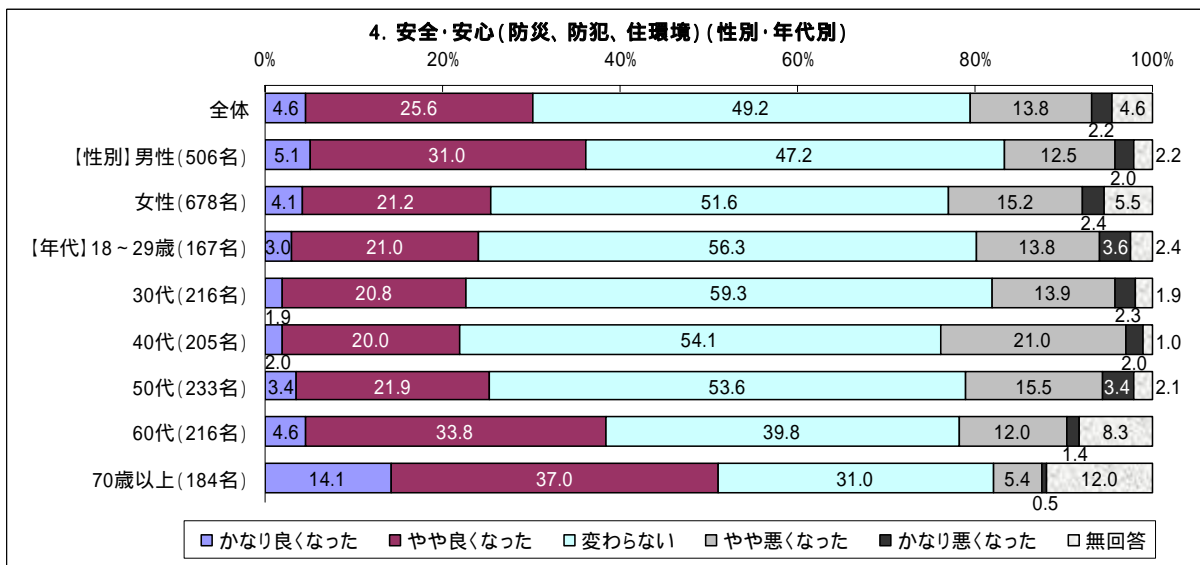


他の属性でみると、職業別では農林漁業と学生、地区別では地区 13 で「やや悪くなった」が1割をこえています。また、地区 13 は「かなり悪くなった」も1割をこえています。

4. 安全・安心 (防災、防犯、住環境)

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、50 代以上は、年代が高まるにつれて評価も高まりますが、40 代では「かなり良くなった」「やや良くなった」の合計が最も低く、「かなり悪くなった」が約2割を占めます。

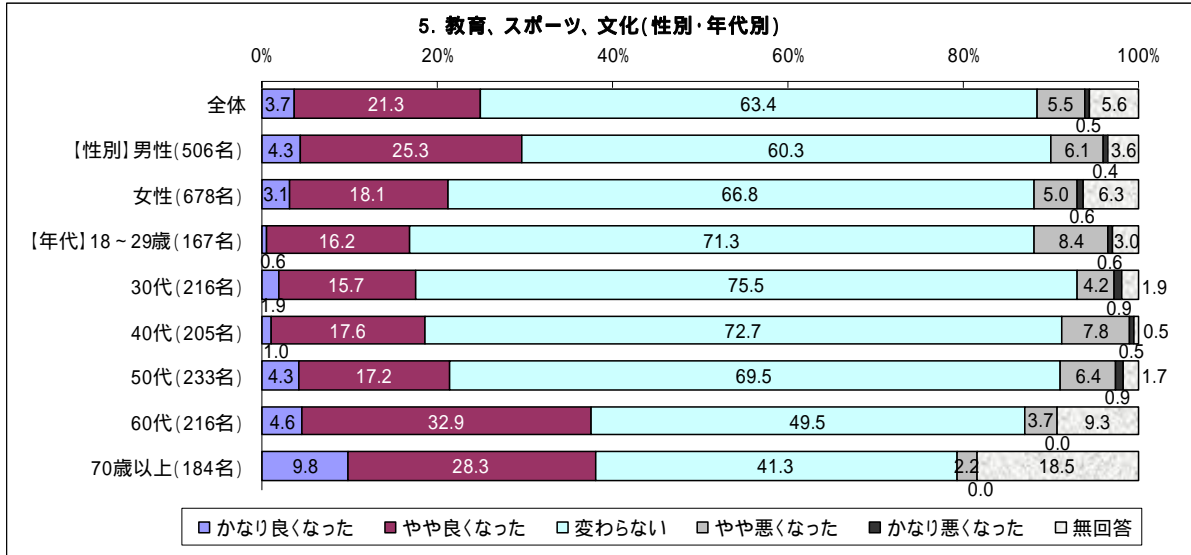


他の属性でみると、出生別では“千歳市生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”、職業別では農林漁業、地区別では地区 4・10・11 で、「やや悪くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。一方、地区 15 では「やや良くなった」が半数を占めています。

5. 教育、スポーツ、文化

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、60代と70歳以上で「やや良くなった」の回答率が高く、50代以下との差がみられます。

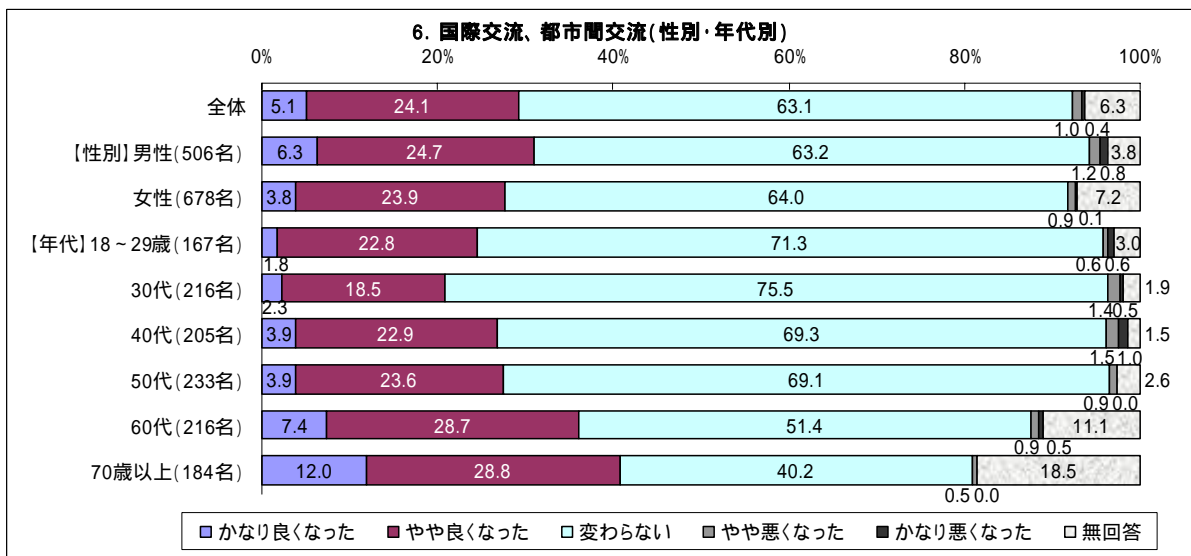


他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、同居・家族別では夫婦のみとその他、職業別では運輸業・通信業など、地区別では地区1と12で、「やや良くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。

6. 国際交流、都市間交流

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にありますが、18~29歳はでは30代より「やや良くなった」の回答率が高くなっています。

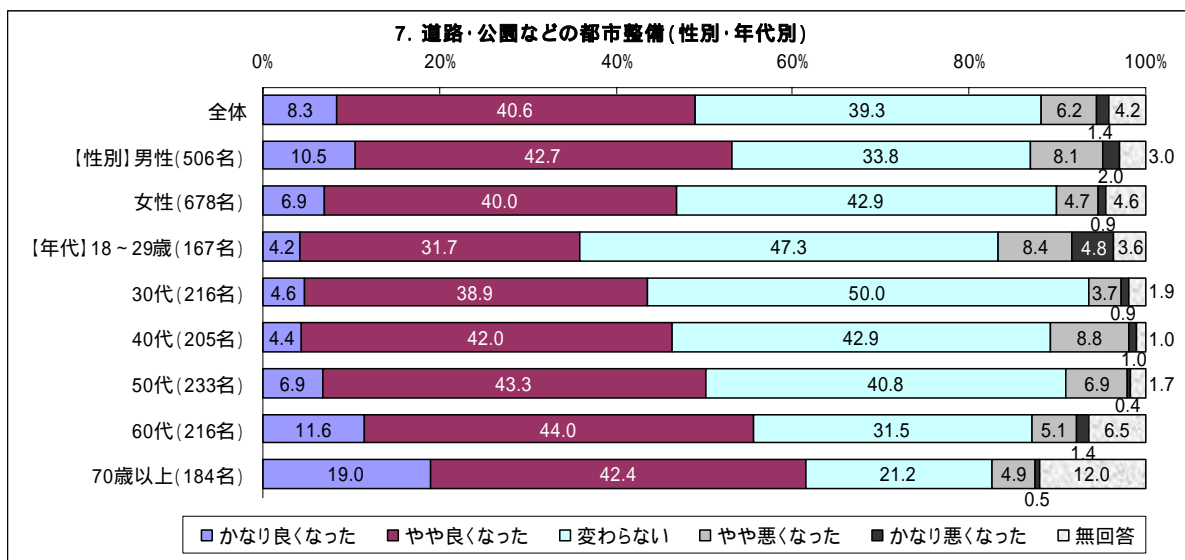


他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、地区別では地区1・13・14・15で、「やや良くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。

7. 道路・公園などの都市整備

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にあります。



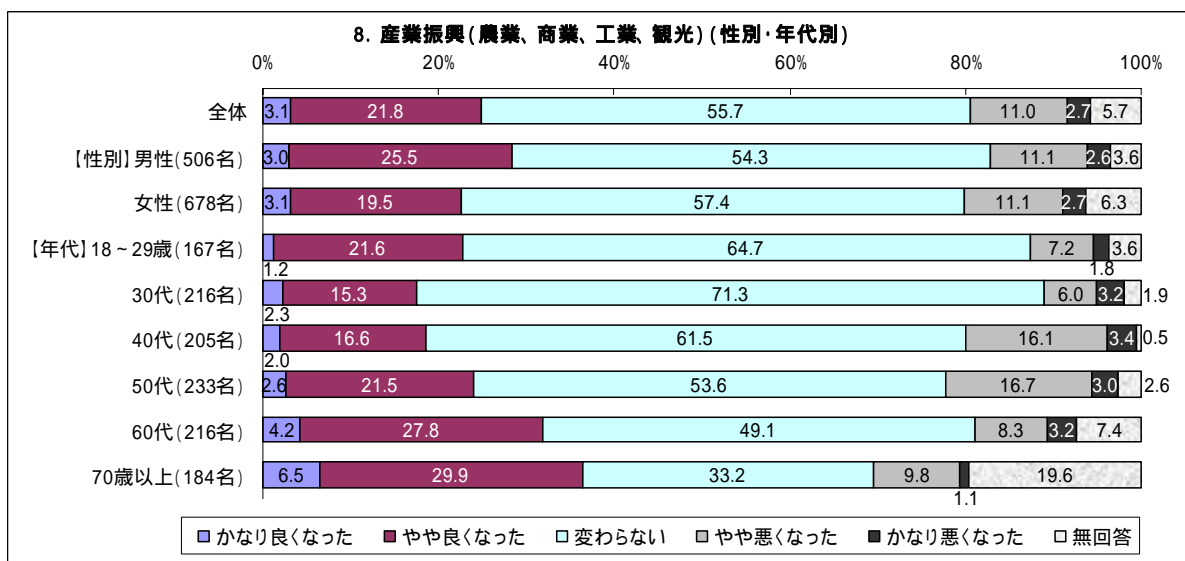
他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、職業別では運輸業・通信業などで、「やや良くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。

一方、地区別では、地区3で「やや悪くなった」が1割をこえています。

8. 産業振興(農業、商業、工業、観光)

性別にみると「やや良くなった」は男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、「かなり良くなった」「やや良くなった」の合計が最も低いのは30代で、40代以上は年代とともに高くなっています。一方、40代と50代では「やや悪くなった」の回答率が他の年代に比べて高くなっています。

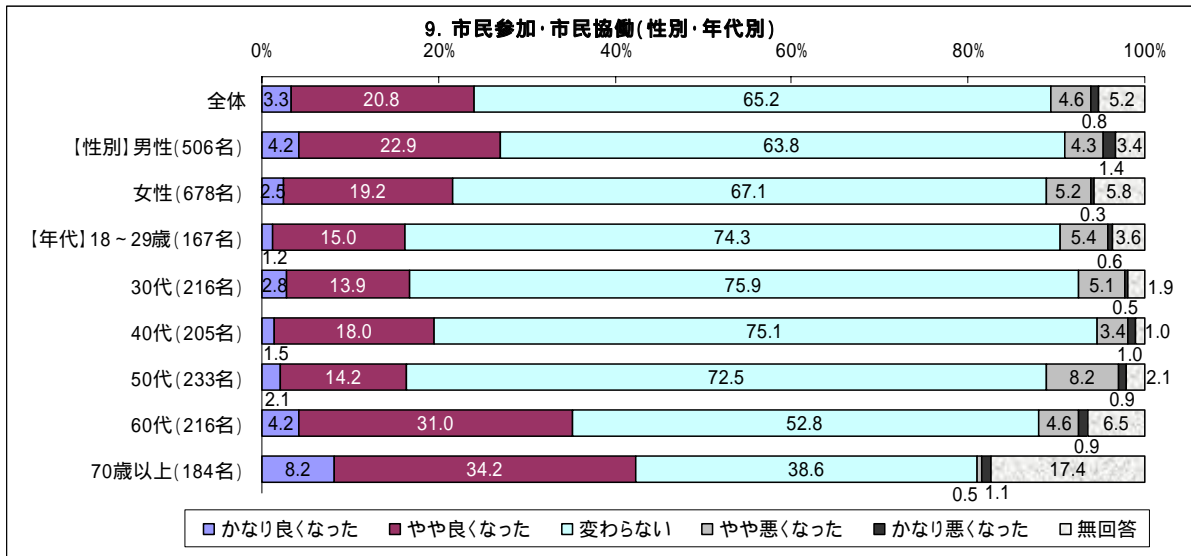


他の属性でみると、職業別では農林漁業、商業・サービス業・金融業など、運輸業・通信業など、地区別では地区13で、「やや悪くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。

9. 市民参加・市民協働

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて評価も高まる傾向にありますが、50代は40代より「やや良くなった」の回答率が低くなっています。

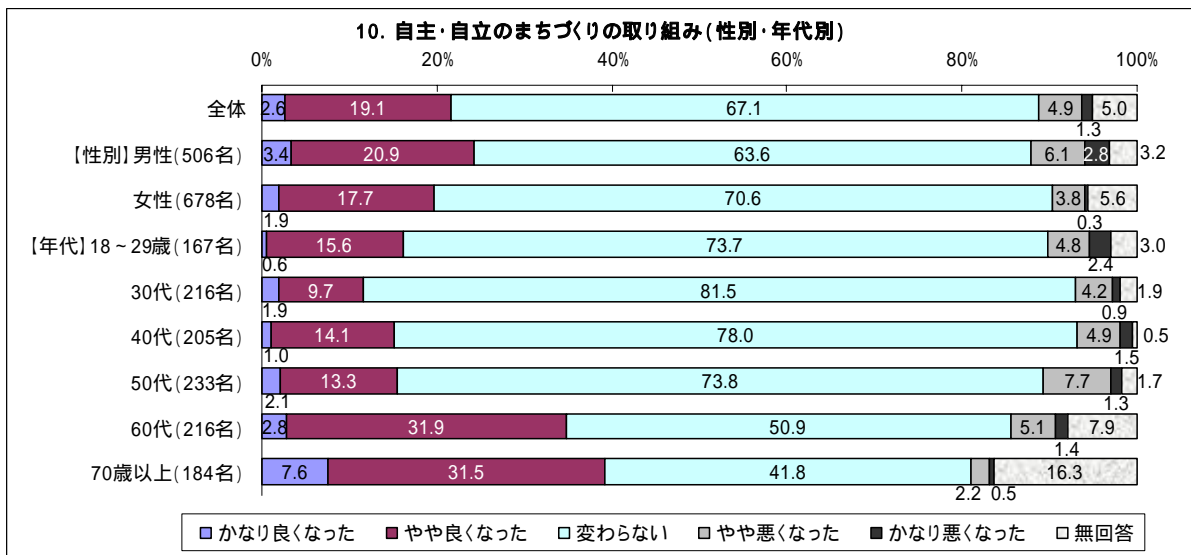


地区別でみると、地区4と15で、「かなり悪くなった」の回答率がそれぞれ高くなっています。

10. 自主・自立のまちづくりの取り組み

性別にみると「かなり良くなった」「やや良くなった」ともに男性の回答率が高くなっています。

年代別にみると、60代と70歳以上で「やや良くなった」の回答率が高く、50代以下との差がめだちます。



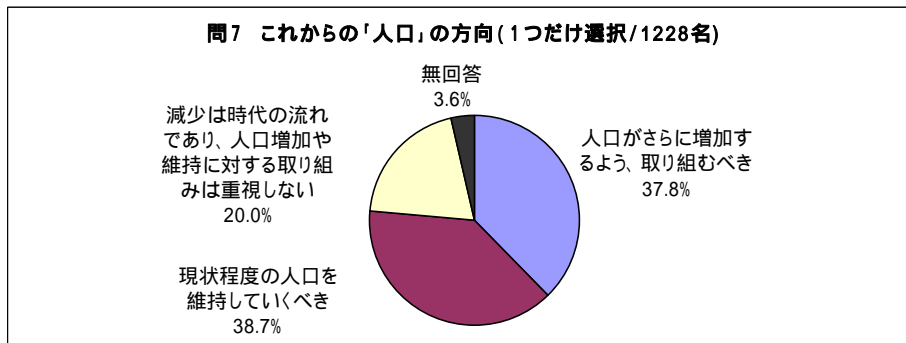
職業別にみると、運輸業・通信業などでは「やや良くなった」の回答率が高い一方、「やや悪くなった」も1割をこえています。

(3) 人口と都市整備の方向

【問7】近年、社会的に少子高齢化が進み、日本全体の人口は減少期をむかえ、まちづくりを支える財源も依然として厳しい中、千歳市のまちづくりは、どのような方向に進むべきだと思いますか。「人口」と「都市整備（開発）」について、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

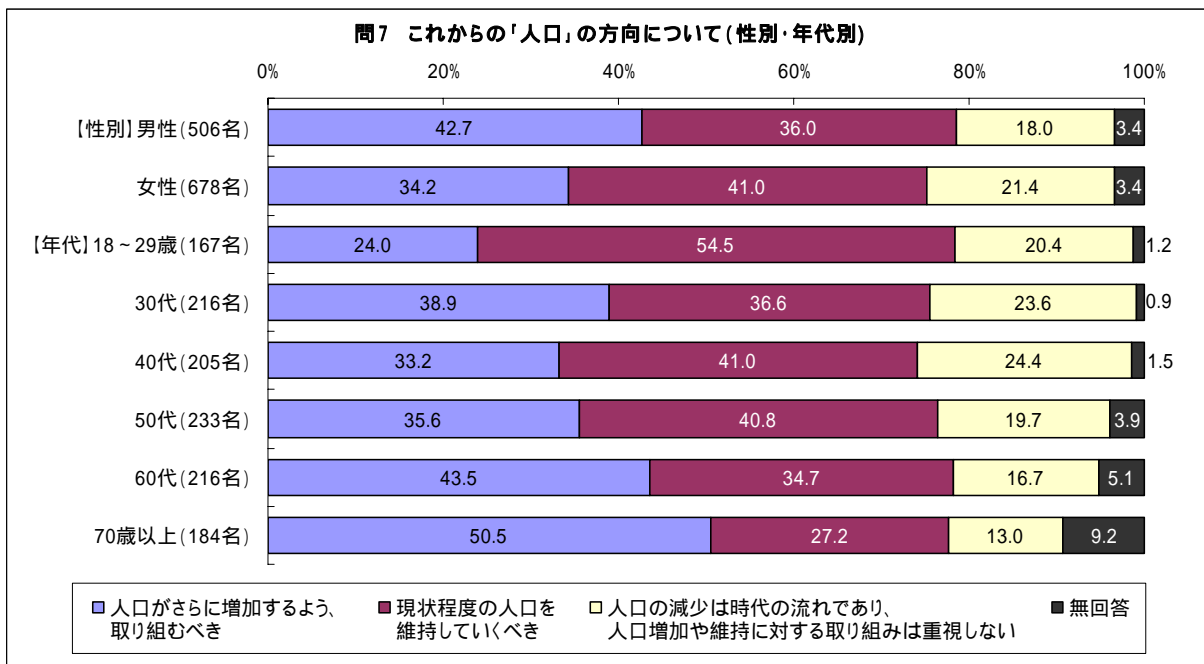
<人口について>

「現状程度の人口を維持していくべき」(38.7%)が最も高く、「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」(37.8%)が僅差で続きます。「減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない」は2割です。



性別にみると、男性は「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」、女性は「現状程度の人口を維持していくべき」が最も高く、差がみられます。

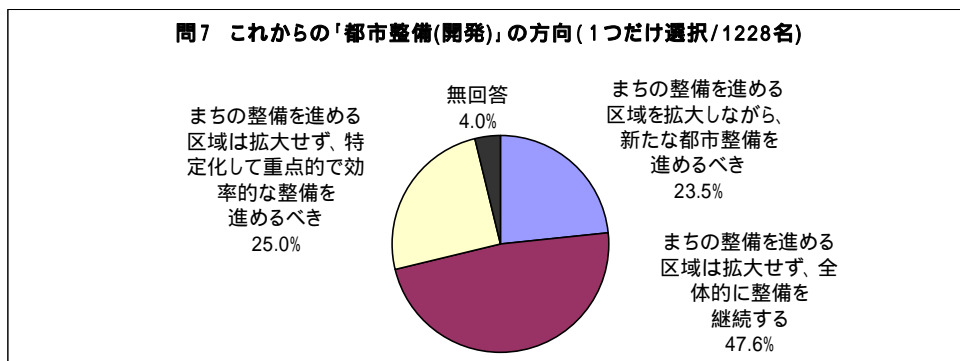
年代別にみると、「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」は年代が高まるにつれて高くなる傾向にあります。30代は18～29歳よりも高くなっています。また、18～29歳と40代、50代では「現状程度の人口を維持していくべき」、30代と60代、70歳以上では「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」の回答率が、それぞれ最も高くなっています。



他の属性でみると、同居・家族別では夫婦のみとその他、職業別では自衛隊等勤務、地区別では地区3と10で、「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」の回答率が高くなっています。

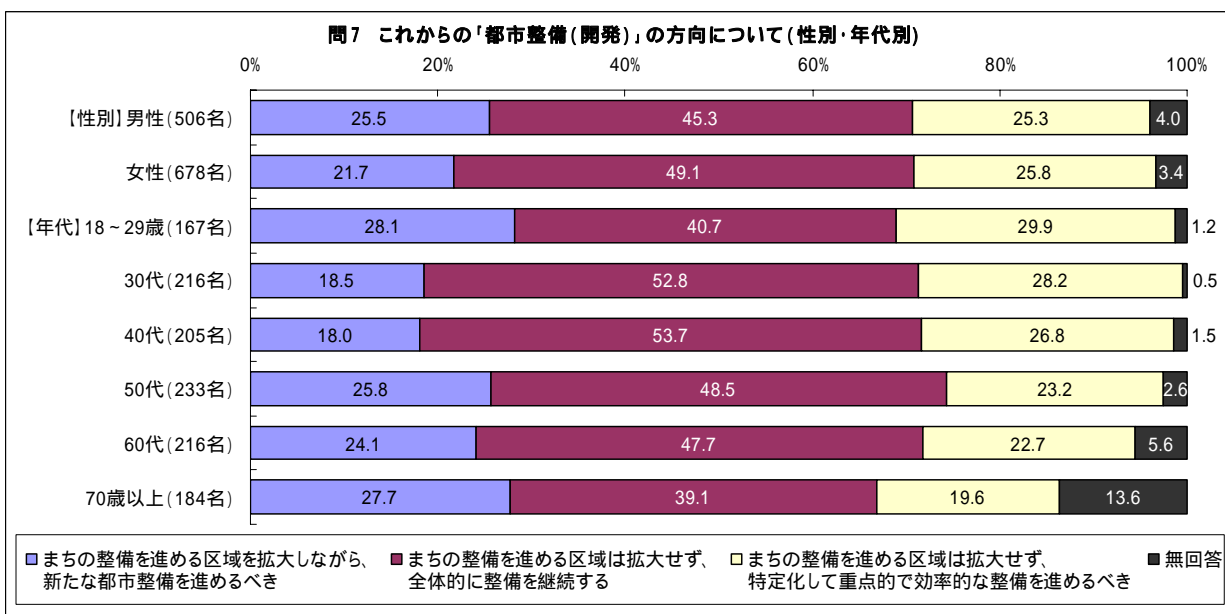
< 都市整備（開発）について >

「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」(47.6%)が最も高く、「まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき」(25.0%)、「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」(23.5%)と続きます。



性別にみると、「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」は男性、「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」は女性が、それぞれやや高くなっています。

年代別にみると、30代と40代では「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」が過半数をこえています。また、18～29歳では「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」の回答率が年代の中で最も高い一方、「まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき」も最も高く、意見が拮抗しています。



「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」は、地区別では地区14と地区15で回答率が高くなっています。

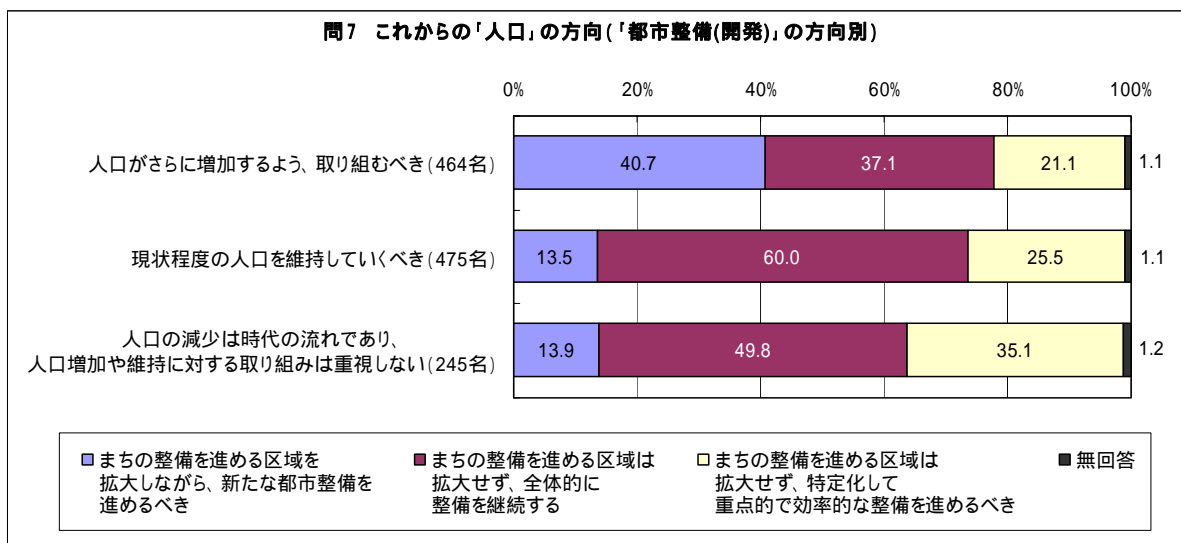
「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」は、家族構成別では3世代以上、職業別では運輸業・通信業など、地区別では地区1や地区9で、それぞれ回答率が高くなっています。

「まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき」は、職業別では公務・団体等勤務、地区別では地区5や地区15で、それぞれ回答率が高くなっています。

「人口」の方向に対する回答別に「都市整備（開発）」の方向に対する回答をみると、“人口がさらに増加するよう、取り組むべき”と回答した方においては、「まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき」が40.7%を占め、最も高くなっていますが、「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」も37.1%と拮抗しています。

“現状の人口を維持していくべき”と回答した方においては、「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」が60.0%を占め、最も高くなっています。

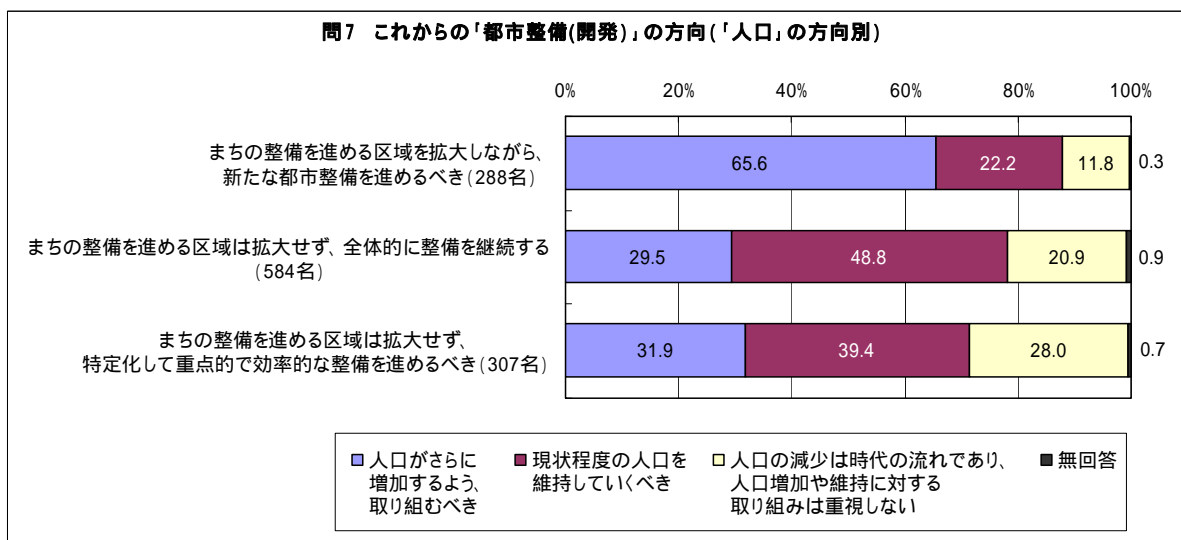
“人口の減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない”と回答した方においては、「まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する」が49.8%と高くなっており、「まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき」が35.1%と続きます。



「都市整備（開発）」の方向に対する回答別に「人口」の方向に対する回答をみると、“まちの整備を進める区域を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき”と回答した方においては、「人口がさらに増加するよう、取り組むべき」が65.6%を占め、最も高くなっています。

“まちの整備を進める区域は拡大せず、全体的に整備を継続する”と回答した方においては、「現状程度の人口を維持していくべき」が48.8%を占め、最も高くなっています。

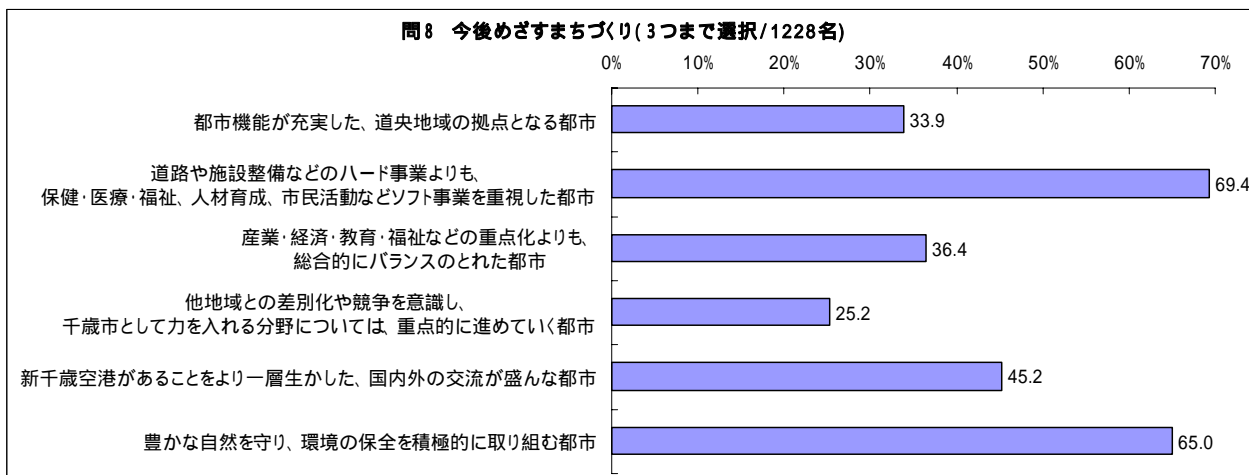
“まちの整備を進める区域は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき”と回答した方においては、「現状程度の人口を維持していくべき」が39.4%と最も多いですが、他の2つの項目もそれぞれ3割程度となっており、拮抗しています。



(4) 今後めざすまちづくり

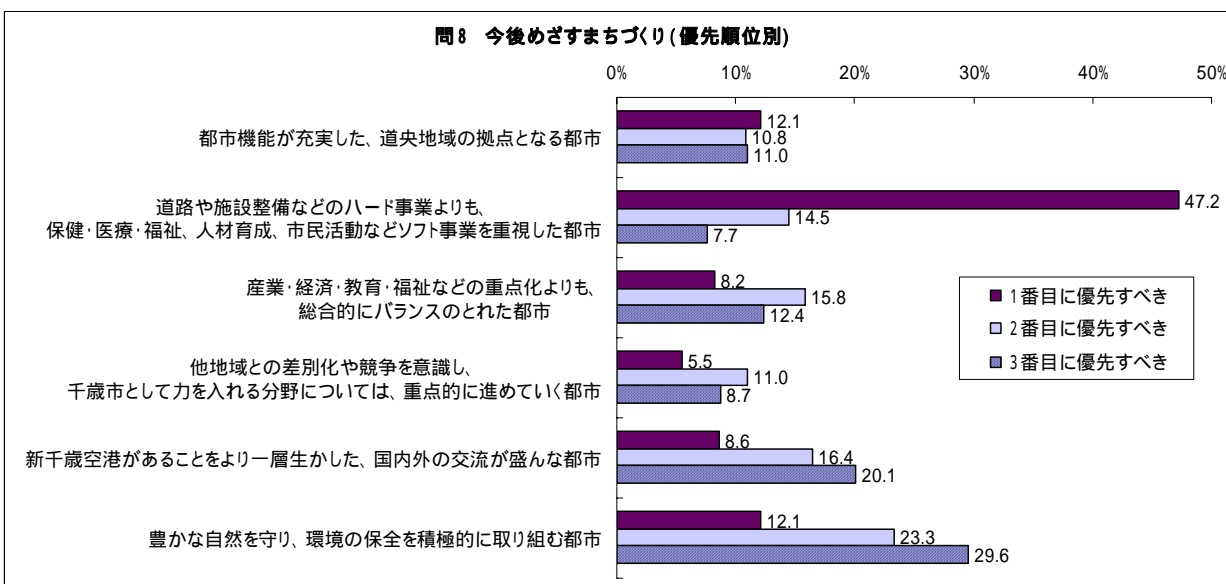
【問8】千歳市をより良いまちにするために、今後どのようなまちづくりをめざしていくべきだ
とお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つ選んで、優先度の高い順に番号を書
いてください。

3つの選択肢として最も回答率が高かったのは「道路や施設整備などのハード事業よりも、
保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市」で、「豊かな自然を
守り、環境の保全を積極的に取り組む都市」が続きます。



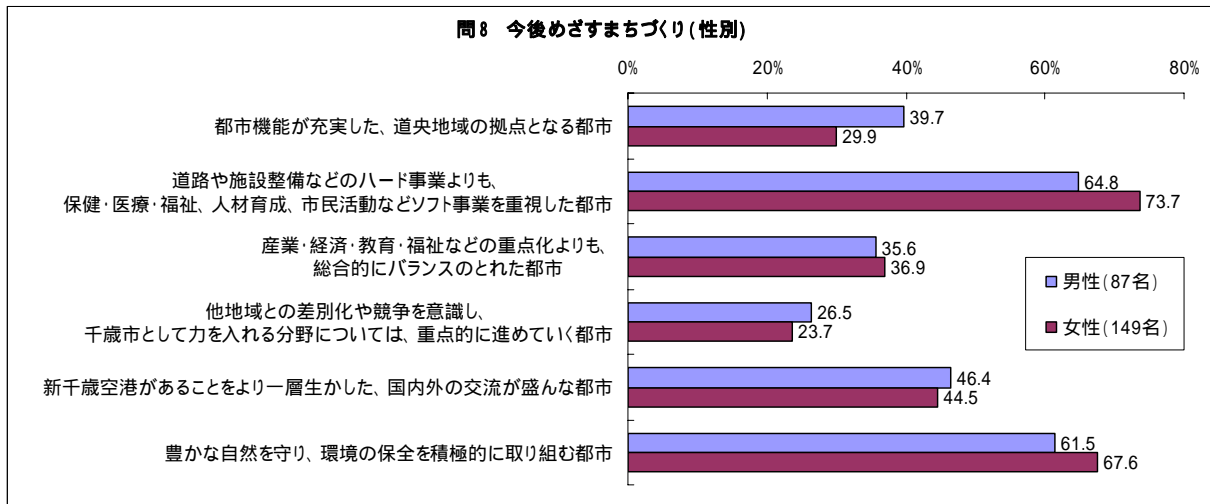
さらに、優先順位別にみると、“1番目に優先すべき”で最も回答率が高かったのも「道路
や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業
を重視した都市」で、他に比べて突出しています。

一方、全体の回答率で2位の「豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市」は
「2番目に優先すべき」と「3番目に優先すべき」で、それぞれ最も高い回答率となっていま
す。

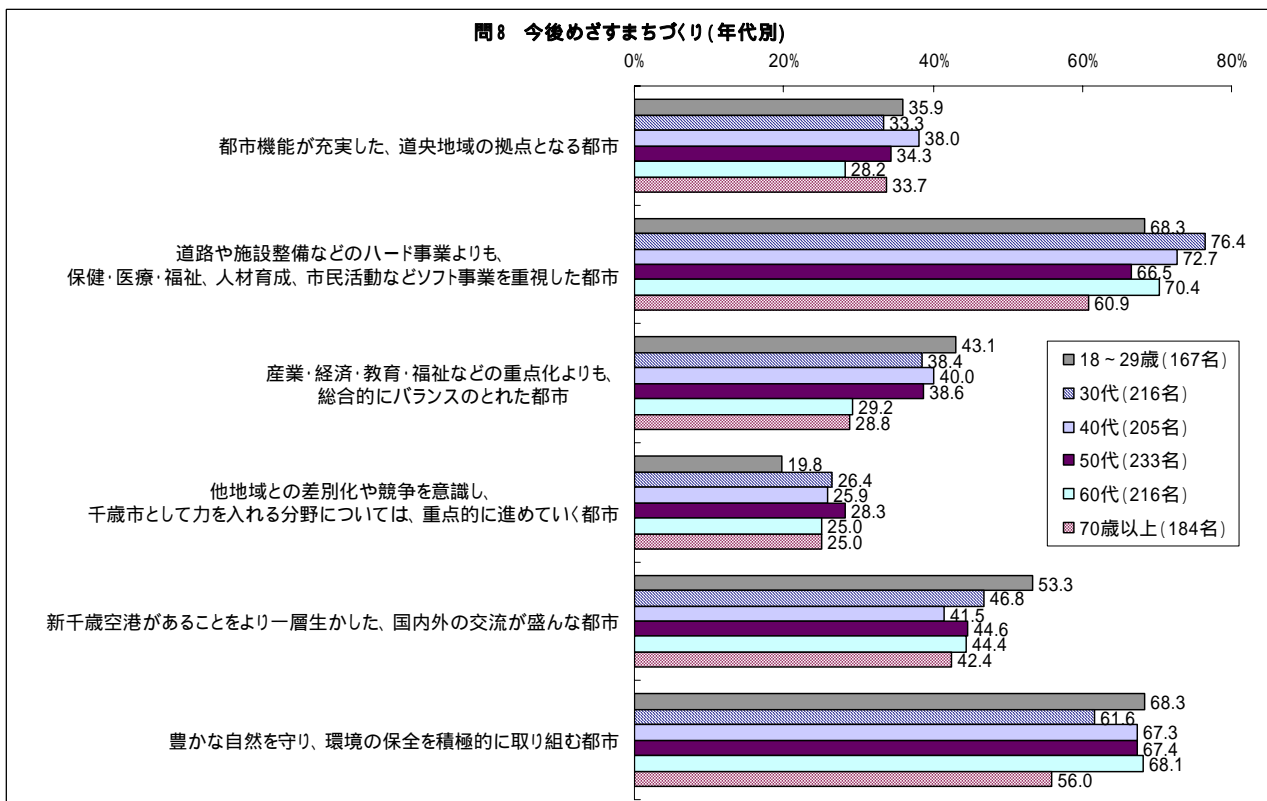


性別にみると、上位2位を占める「道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市」「豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市」はともに女性の回答率が高くなっています。

また、「都市機能が充実した、道央地域の拠点となる都市」は、男性の回答率が高く、差がめだちます。



年代別にみると、30代、40代、60代、70歳以上は「道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市」を1位にあげる一方、18~29歳は「豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市」を同率で1位に、50代は「豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市」を1位にあげています。



優先順位で性別にみると、「1番目に優先すべき」の1位は男女ともに「ソフト事業を重視した都市」ですが、女性の回答率が高く、差がみられます。また2位については、男性は「道央地域の拠点となる都市」、女性は「環境の保全を積極的に取り組む都市」をあげるなど、順位に差がみられます。

優先順位で年代別にみると、「1番目に優先すべき」の1位は各年代ともに「ソフト事業を重視した都市」ですが、30代の回答率が高く、差がみられます。また2位については、18～29歳と50代は「環境の保全を積極的に取り組む都市」、40代と60代は「道央地域の拠点となる都市」と「環境の保全を積極的に取り組む都市」を同率で、70歳以上は「道央地域の拠点となる都市」を単独で、30代は「産業・経済・教育・福祉などの重点化よりも、総合的にバランスのとれた都市」をそれぞれあげており、差がみられます。

1番目に優先すべき都市像

()の中の数字は%

		都市機能が充実した、道央地域の拠点となる都市	道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市	産業・経済・教育・福祉などの重点化よりも、総合的にバランスのとれた都市	他地域との差別化や競争を意識し、千歳市として力を入れる分野については、重点的に進めていく都市	新千歳空港があることをより一層生かした、国内外の交流が盛んな都市	豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市	無回答
性別	男性(506名)	2位(14.0)	1位(41.1)	4位(10.3)	6位(6.5)	5位(9.7)	3位(12.1)	7位(6.3)
	女性(678名)	3位(10.3)	1位(52.2)	5位(6.6)	7位(4.4)	4位(7.8)	2位(12.8)	6位(5.8)
年代別	18～29歳	3位(15.0)	1位(40.7)	5位(9.0)	6位(4.8)	4位(10.2)	2位(18.6)	7位(1.8)
	30代	5位(6.5)	1位(56.5)	2位(11.1)	7位(2.8)	4位(8.3)	3位(10.6)	6位(4.2)
	40代	2位(11.7)	1位(49.3)	4位(9.3)	6位(5.9)	4位(9.3)	2位(11.7)	7位(2.9)
	50代	3位(10.7)	1位(44.2)	4位(10.3)	6位(7.7)	5位(8.6)	2位(13.7)	7位(4.7)
	60代	2位(12.5)	1位(48.1)	7位(3.2)	6位(6.5)	5位(7.4)	2位(12.5)	4位(9.7)
	70歳以上	2位(17.4)	1位(41.8)	6位(6.0)	7位(5.4)	4位(8.7)	5位(6.5)	3位(14.1)

2番目に優先すべき都市像

()の中の数字は%

		都市機能が充実した、道央地域の拠点となる都市	道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市	産業・経済・教育・福祉などの重点化よりも、総合的にバランスのとれた都市	他地域との差別化や競争を意識し、千歳市として力を入れる分野については、重点的に進めていく都市	新千歳空港があることをより一層生かした、国内外の交流が盛んな都市	豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市	無回答
性別	男性(506名)	5位(13.6)	4位(14.6)	3位(15.6)	6位(12.5)	2位(16.6)	1位(18.4)	7位(8.7)
	女性(678名)	6位(8.8)	4位(14.9)	3位(15.6)	5位(9.7)	2位(16.7)	1位(26.7)	7位(7.5)
年代別	18～29歳(167名)	5位(9.6)	4位(15.6)	3位(18.6)	6位(8.4)	2位(19.2)	1位(25.7)	7位(3.0)
	30代(216名)	6位(10.6)	4位(12.5)	2位(16.7)	4位(12.5)	3位(16.2)	1位(25.9)	7位(5.6)
	40代(205名)	4位(12.2)	3位(14.6)	2位(17.1)	6位(10.7)	5位(11.7)	1位(28.3)	7位(5.4)
	50代(233名)	5位(11.6)	4位(13.3)	3位(15.9)	6位(9.4)	2位(18.9)	1位(24.9)	7位(6.0)
	60代(216名)	7位(10.6)	2位(17.6)	4位(12.0)	5位(11.6)	3位(15.7)	1位(20.8)	5位(11.6)
	70歳以上(184名)	7位(9.2)	4位(14.1)	3位(15.8)	5位(13.0)	2位(17.4)	6位(12.5)	1位(17.9)

3番目に優先すべき都市像

()の中の数字は%

		都市機能が充実した、道央地域の拠点となる都市	道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市	産業・経済・教育・福祉などの重点化よりも、総合的にバランスのとれた都市	他地域との差別化や競争を意識し、千歳市として力を入れる分野については、重点的に進めていく都市	新千歳空港があることをより一層生かした、国内外の交流が盛んな都市	豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市	無回答
性別	男性(506名)	3位(12.1)	6位(9.1)	5位(9.7)	7位(7.5)	2位(20.2)	1位(31.0)	4位(10.5)
	女性(678名)	4位(10.8)	7位(6.6)	3位(14.6)	6位(9.6)	2位(20.1)	1位(28.0)	5位(10.3)
年代別	18～29歳(167名)	5位(11.4)	4位(12.0)	3位(15.6)	6位(6.6)	1位(24.0)	1位(24.0)	6位(6.6)
	30代(216名)	3位(16.2)	6位(7.4)	4位(10.6)	5位(11.1)	2位(22.2)	1位(25.0)	6位(7.4)
	40代(205名)	3位(14.1)	6位(8.8)	4位(13.7)	5位(9.3)	2位(20.5)	1位(27.3)	7位(6.3)
	50代(233名)	4位(12.0)	7位(9.0)	3位(12.4)	5位(11.2)	2位(17.2)	1位(28.8)	6位(9.4)
	60代(216名)	6位(5.1)	7位(4.6)	3位(13.9)	5位(6.9)	2位(21.3)	1位(34.7)	4位(13.4)
	70歳以上(184名)	4位(7.1)	7位(4.9)	4位(7.1)	6位(6.5)	3位(16.3)	1位(37.0)	2位(21.2)

は、同率で同じ順位の項目

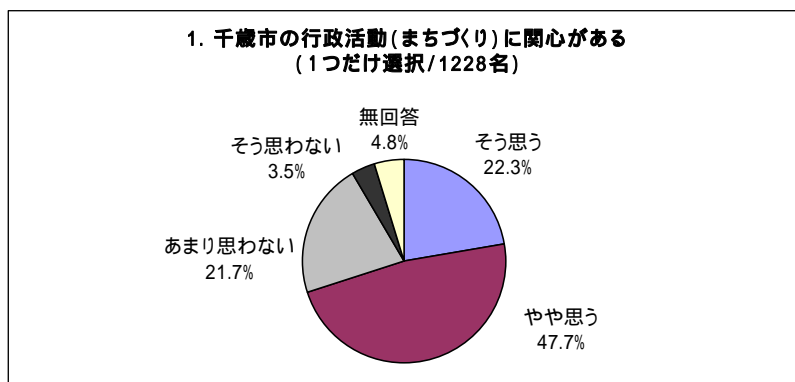
3 市民参加・行政運営

(1) 行政運営や市民参加の評価・意向

【問9】行政運営（まちづくり）や市民参加に関する次の項目について、それぞれどのように考えですか。下の各選択肢（A～D）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

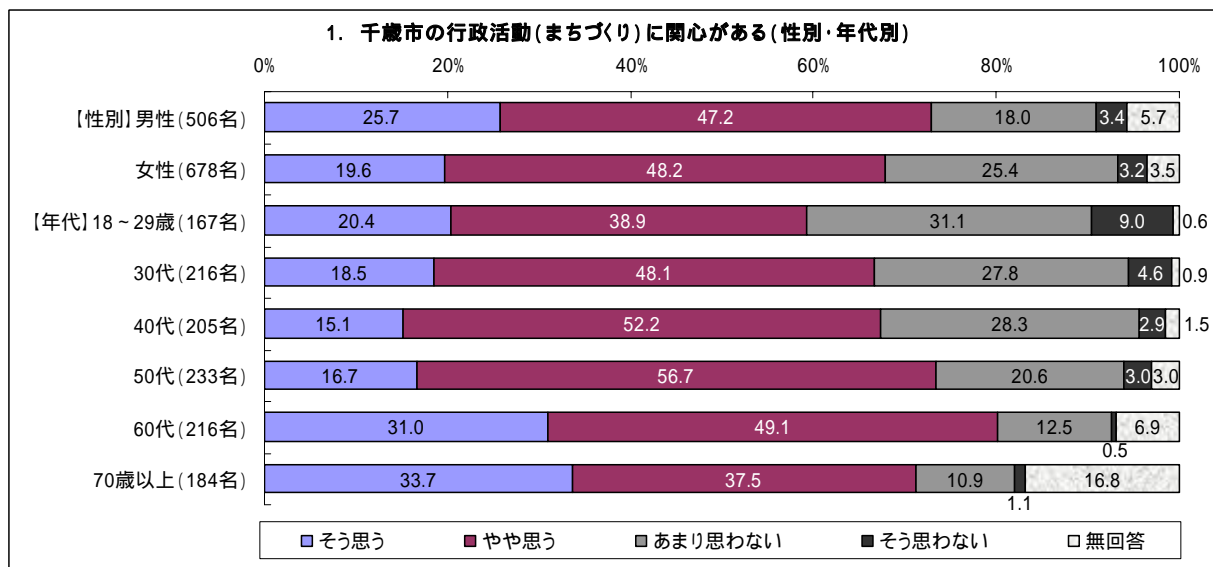
1. 千歳市の行政活動（まちづくり）に関心がある

「やや思う」が47.7%と最も高く、「そう思う」(22.3%)と合わせると7割を占めます。一方「あまり思わない」は21.7%で、「そう思わない」(3.5%)と合わせると25.2%となります。



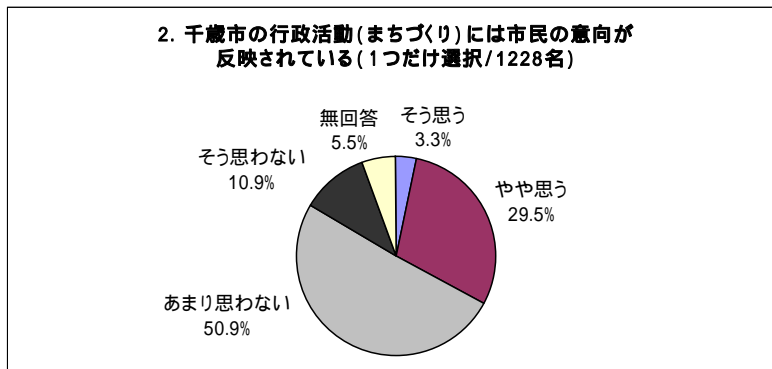
性別にみると、「そう思う」は男性、「やや思う」は女性が高く、「そう思う」と「やや思う」の合計は、男性の方が高くなっています。

年代別にみると、60代、70歳以上では「そう思う」が高く、「やや思う」との合計では60代が最も高くなっています。40代、50代は「やや思う」が過半数を占めるものの、「そう思う」は18～29歳や30代よりも低くなっています。一方、40代以下の年代では「あまり思わない」もめだち、18～29歳では「そう思わない」も9.0%と他に比べて高くなっています。



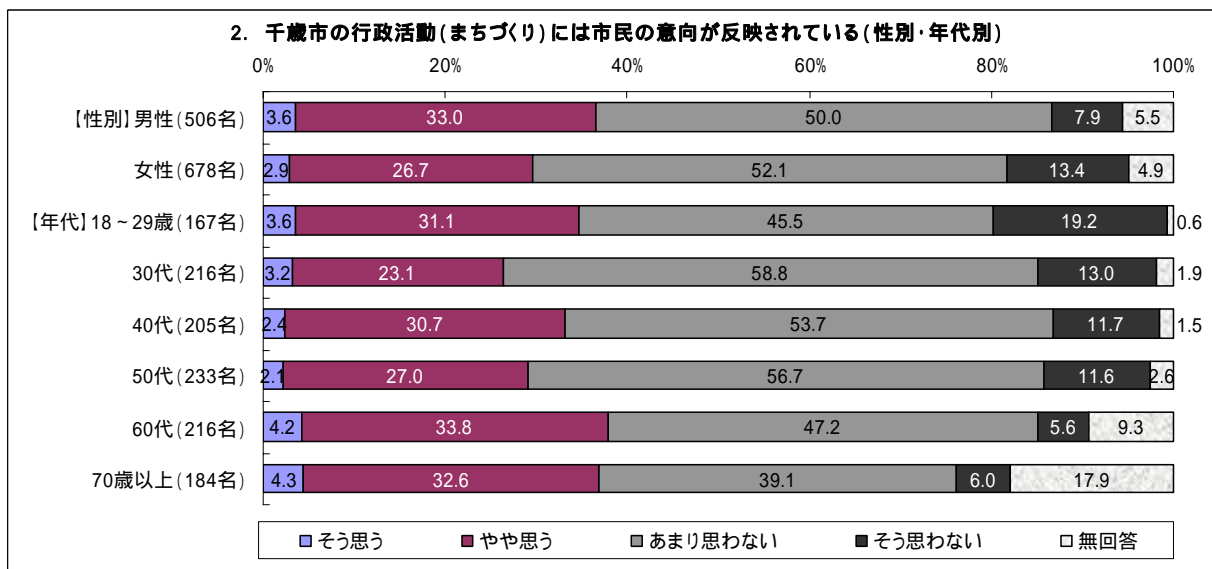
2. 千歳市の行政活動（まちづくり）には市民の意向が反映されている

「あまり思わない」が50.9%と約半数を占め、「そう思わない」(10.9%)と合わせると61.8%となります。一方「やや思う」は29.5%で、「そう思う」(3.3%)と合わせると32.8%となります。



性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方がやや高くなっています。一方、女性は「そう思わない」が男性より高く、差がめだちます。

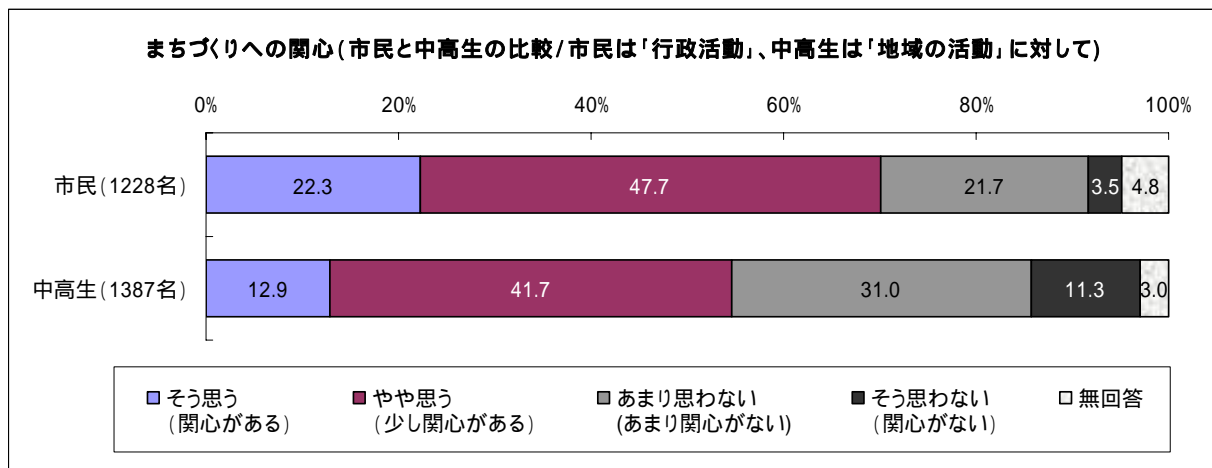
年代別にみると、18～29歳では「そう思わない」が高く、差がめだちます。



他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、職業別では学生、地区別では地区4で、それぞれ「そう思わない」が2割をこえています。

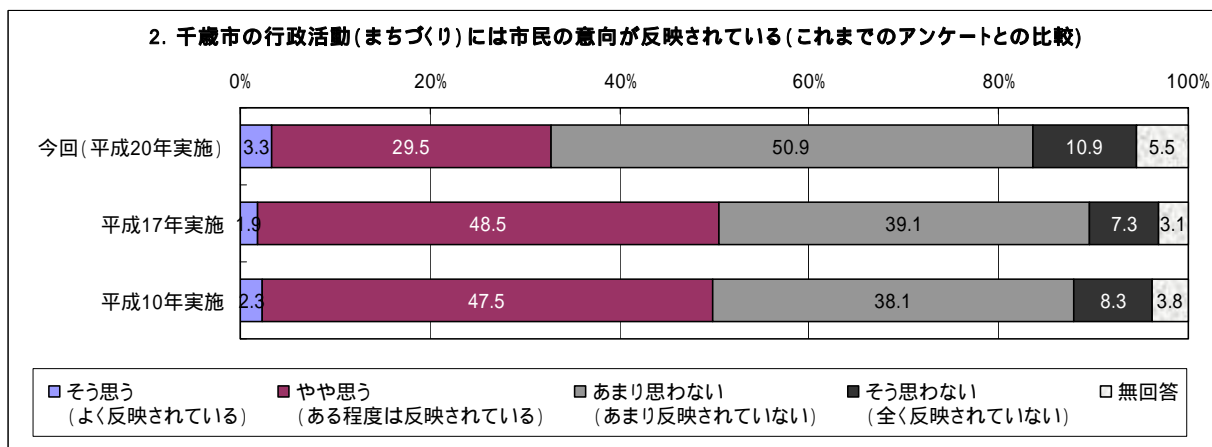
中高生アンケートとの比較（まちづくりへの関心）

「そう思う（関心がある）」「やや思う（少し関心がある）」という肯定的な回答は、市民の方が中高生より高くなっています。



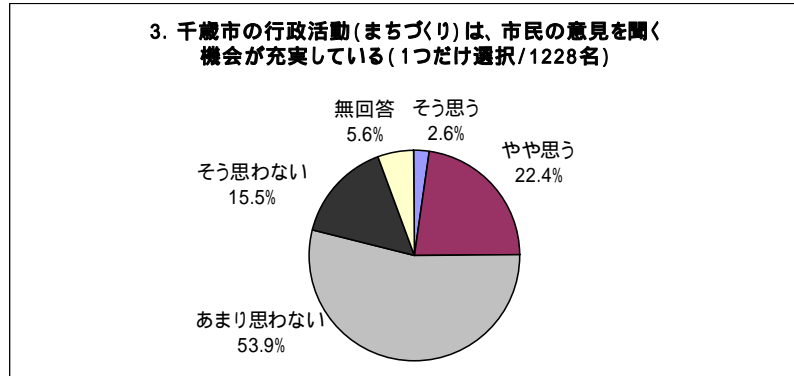
これまでのアンケートとの比較（市民の意向の反映）

「そう思う（よく反映されている）」「やや思う（ある程度は反映されている）」という肯定的な回答は、これまでのアンケートに比べて低くなっています。

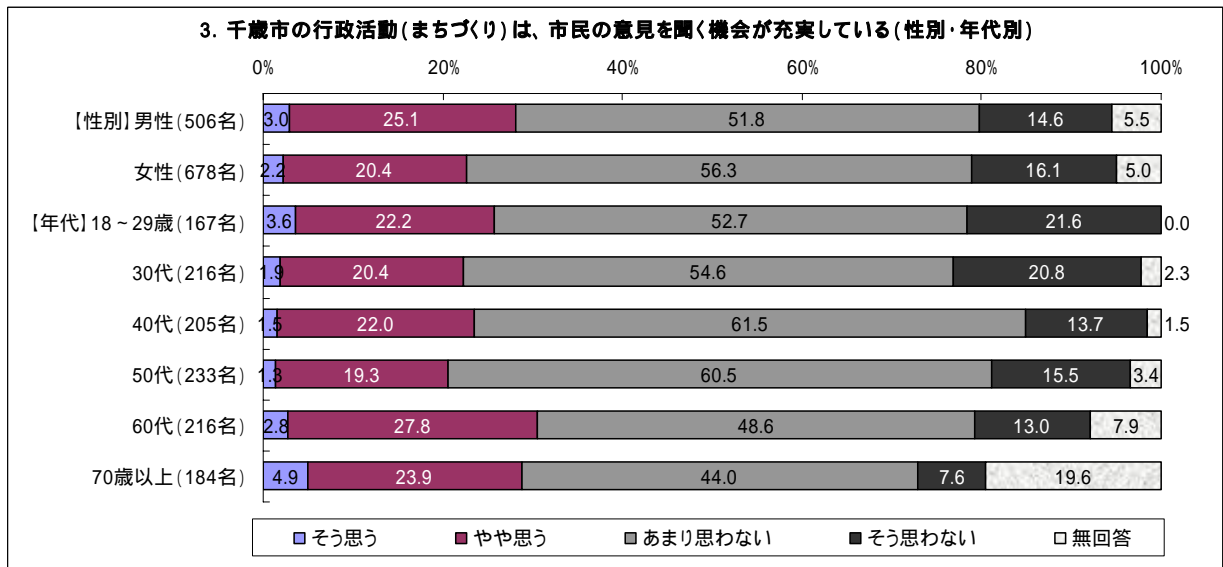


3.千歳市の行政活動（まちづくり）は、市民の意見を聞く機会が充実している

「あまり思わない」が 53.9%と最も高く、「そう思わない」(15.5%) と合わせると 69.4% となります。一方「やや思う」は 22.4%で、「そう思う」(2.6%) と合わせると 4分の1(25.0%) となります。



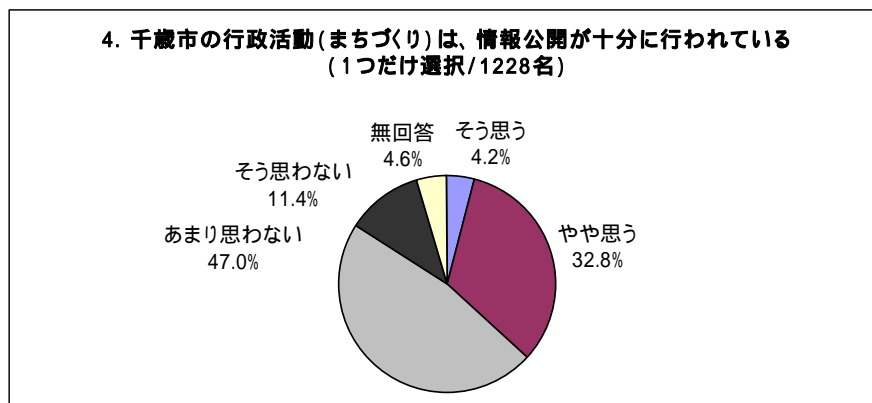
性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方がやや高くなっています。年代別にみると、18～29歳と30代で「そう思わない」が約2割を占め、他の年代に比べてめだちます。



他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”と“千歳市で生まれ、その後市外に引っ越したが、再び千歳市に住んでいる”、職業別では商業・サービス業・金融業など、その他の職業、学生、地区別では地区3・4・5・13で、それぞれ「そう思わない」が2割をこえています。

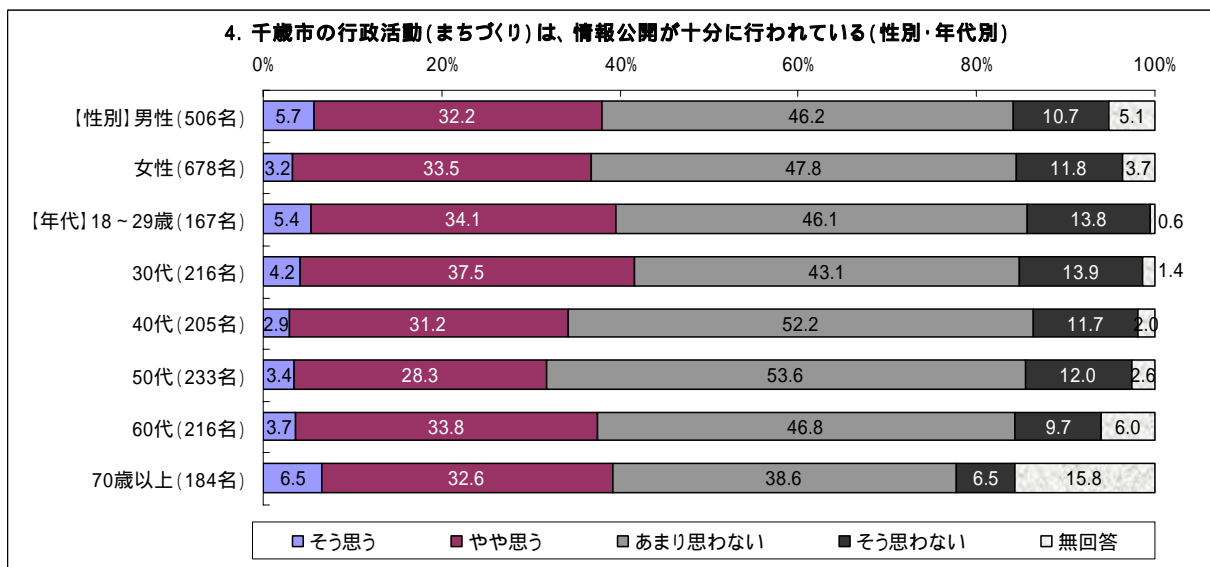
4. 千歳市の行政活動（まちづくり）は、情報公開が十分に行われている

「あまり思わない」が 47.0%と最も高く、「そう思わない」(11.4%)と合わせると 58.4% となります。一方「やや思う」は 32.8%と約 3分の1を占め、「そう思う」(4.2%)と合わせると 37.0%となります。



性別では、大きな差はみられません。

年代別にみると、30代は、「やや思う」が年代の中で最も高い一方、「そう思わない」も最も高くなっています。

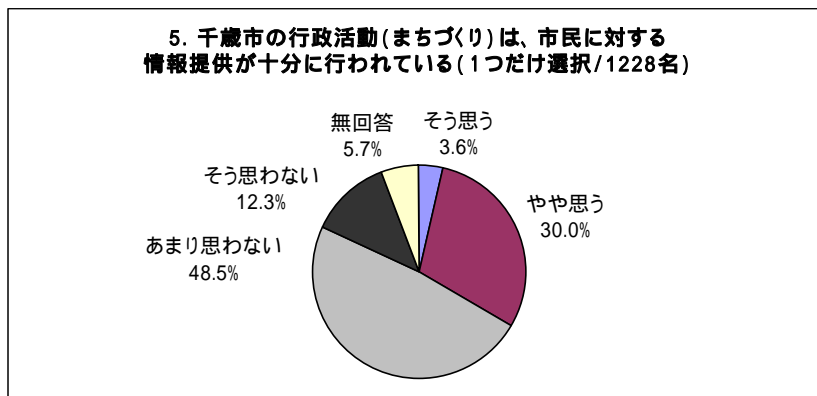


他の属性でみると、家族構成別では3世代以上、職業別では学生、地区別では地区15で、それぞれ「やや思う」が4割をこえています。

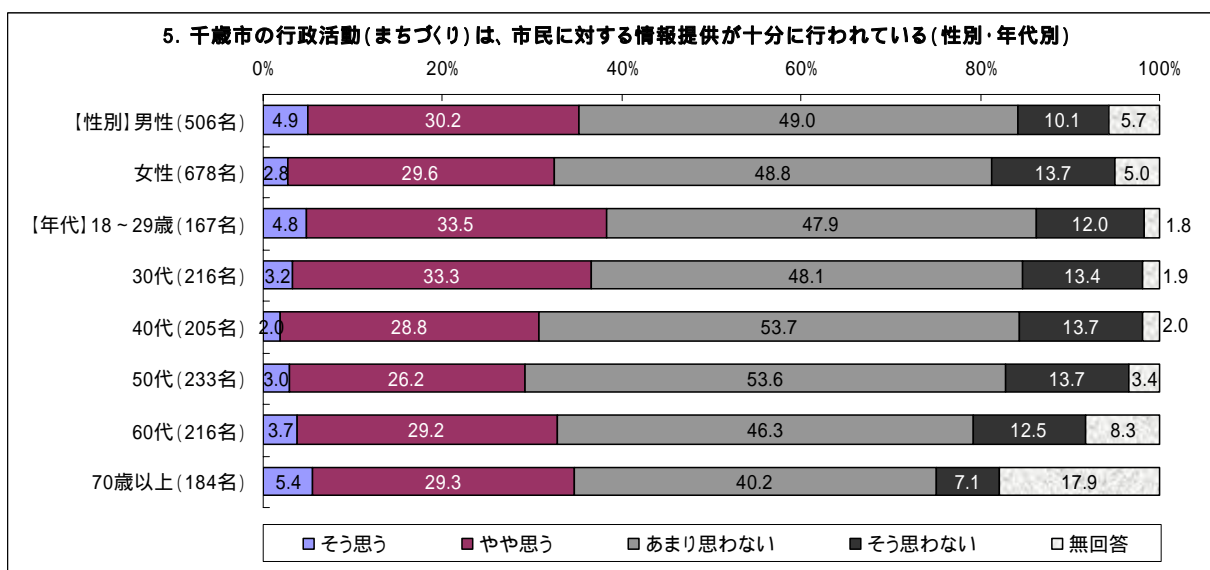
なお、地区15は、「やや思う(50.0%)」と「あまり思わない(45.5%)」の回答のみです。

5.千歳市の行政活動（まちづくり）は、市民に対する情報提供が十分に行われている

「あまり思わない」が48.5%と最も高く、「そう思わない」(12.3%)と合わせると60.8%となります。一方「やや思う」は30.0%と3割を占め、「そう思う」(3.6%)と合わせると33.6%となります。



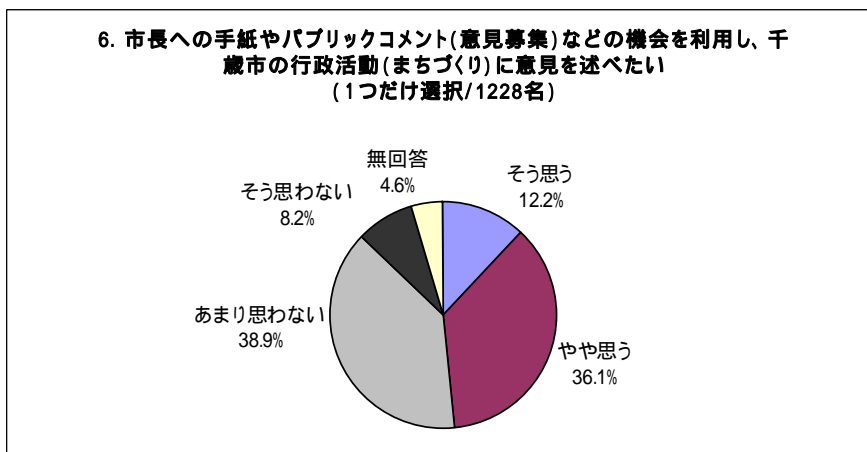
性別にみると、女性は「そう思わない」が、男性よりやや高くなっています。年代別にみると、「そう思う」「やや思う」の合計が最も高いのは18～29歳です。



他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”と“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、職業別では商業・サービス業・金融業などと学生、地区別では地区3・4・13で、それぞれ「そう思わない」が高くなっています。

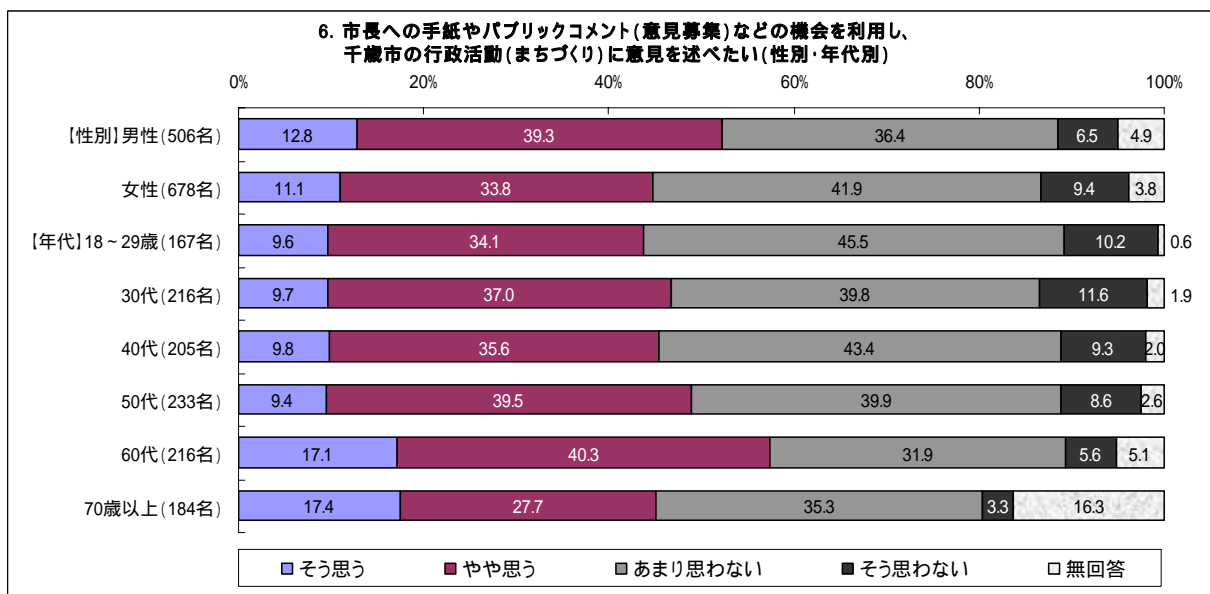
6. 市長への手紙やパブリックコメント（意見募集）などの機会を利用し、千歳市の行政活動（まちづくり）に意見を述べたい

「あまり思わない」が38.9%と最も高いものの、「やや思う」も36.1%を占め、拮抗しています。「そう思う」「やや思う」の合計は48.3%、「あまり思わない」「そう思わない」の合計は47.1%と、ほぼ同率です。



性別にみると、男性は「やや思う」、女性は「あまり思わない」がそれぞれ最も高くなっています。

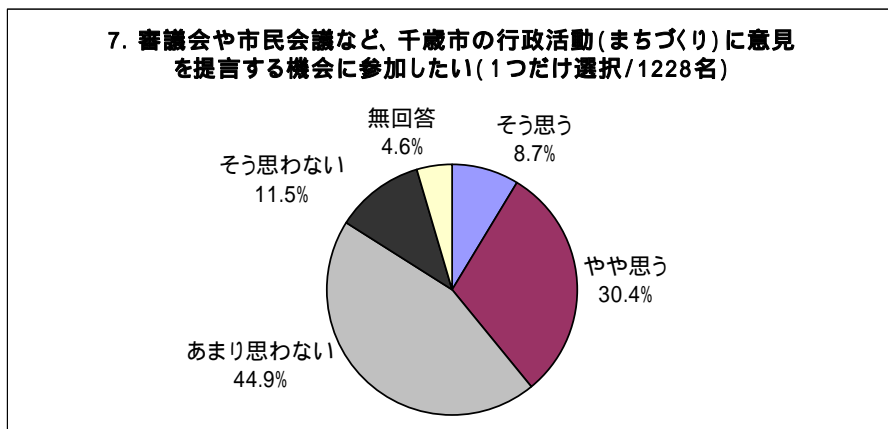
年代別にみると、「そう思う」は60代と70歳以上で高くなっています。一方、18～29歳と30代では、「そう思わない」が1割をこえます。



他の属性でみると、出生別では“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”、職業別では商業・サービス業・金融業などや運輸業・通信業など、地区別では地区5・10・15で、それぞれ「そう思う」が高くなっています。

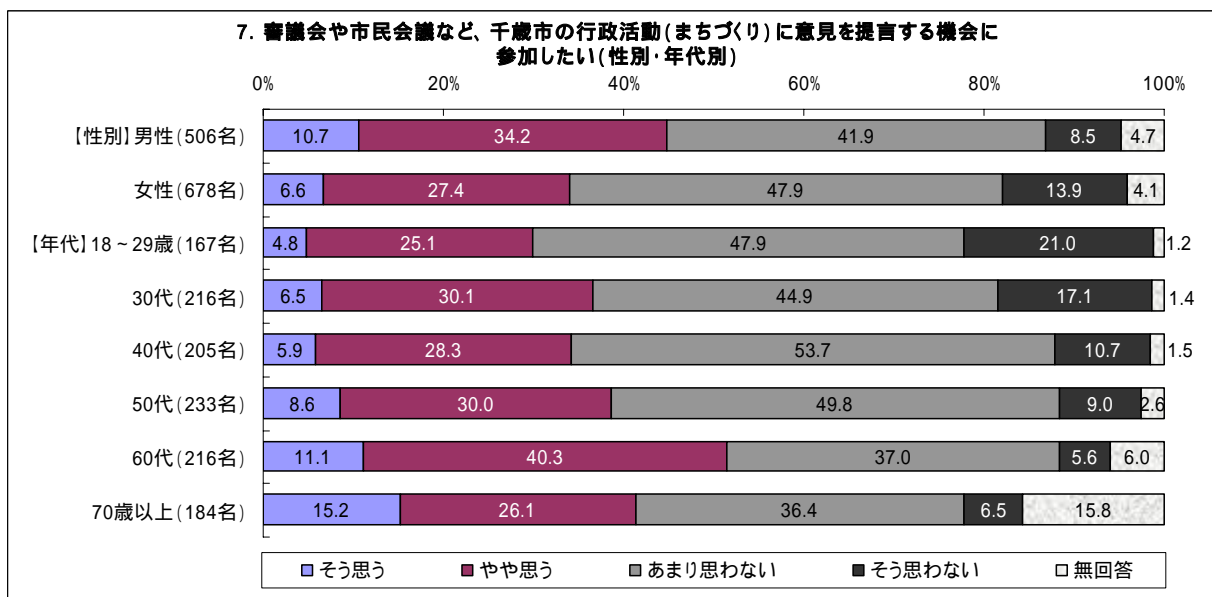
7. 審議会や市民会議など、千歳市の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい

「あまり思わない」が44.9%と最も高く、「やや思う」（30.4%）が続きます。「そう思う」「やや思う」の合計は39.1%、「あまり思わない」「そう思わない」の合計は56.4%となっています。



性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。

年代別にみると、年代が高まるにつれて「そう思う」が高くなる傾向ですが、30代は40代より「そう思う」「やや思う」ともにやや高くなっています。一方、18～29歳と30代では、「そう思わない」が他の年代に比べて高く、めだちます。



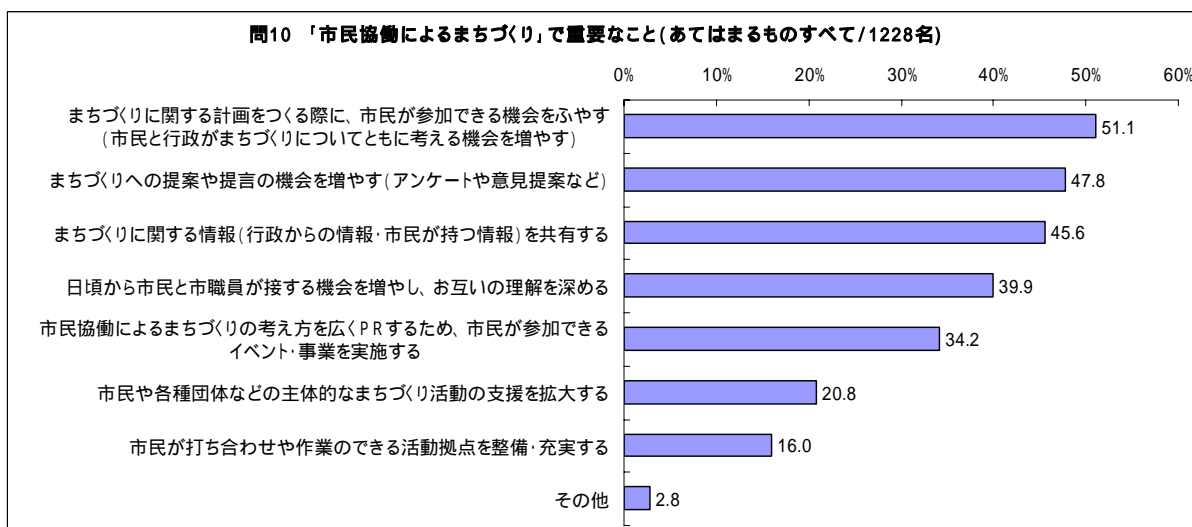
他の属性でみると、家族構成別では夫婦のみ、職業別では運輸業・通信業などその他の職業、地区別では地区5・10・15で、「そう思う」が高くなっています。

一方、学生や地区15では、「そう思わない」が他に比べて高く、差がめだちます。

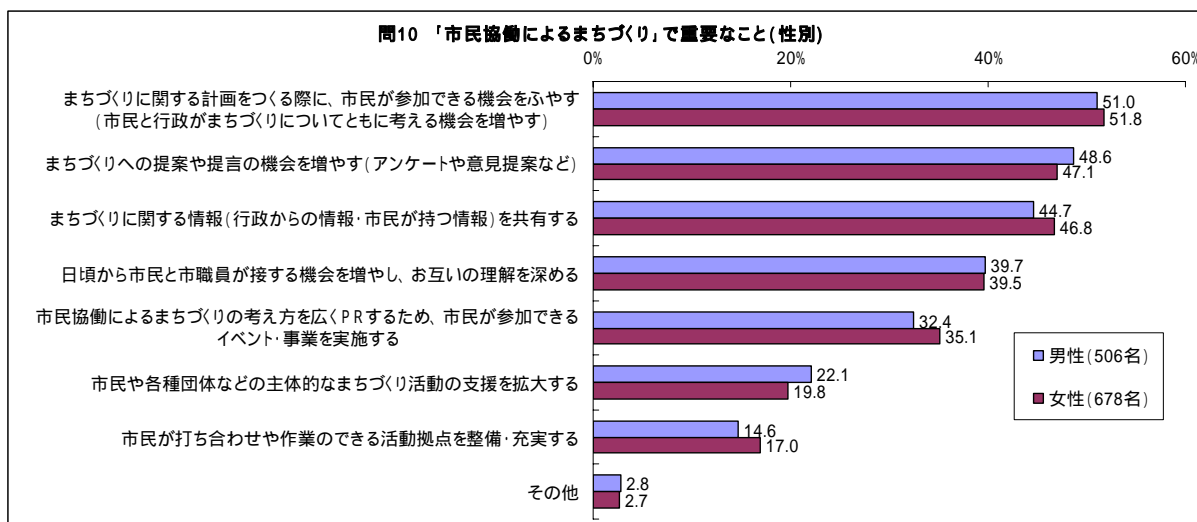
(2) 「市民協働によるまちづくり」で重要なこと

【問10】千歳市では、市民と行政が連携を深め、役割を分担しながらともにまちづくりを進める「市民協働によるまちづくり」に取り組んでいます。このような「市民協働によるまちづくり」を進めるうえで、どのようなことが重要だとお考えですか。あてはまるものすべてに 印をつけてください。

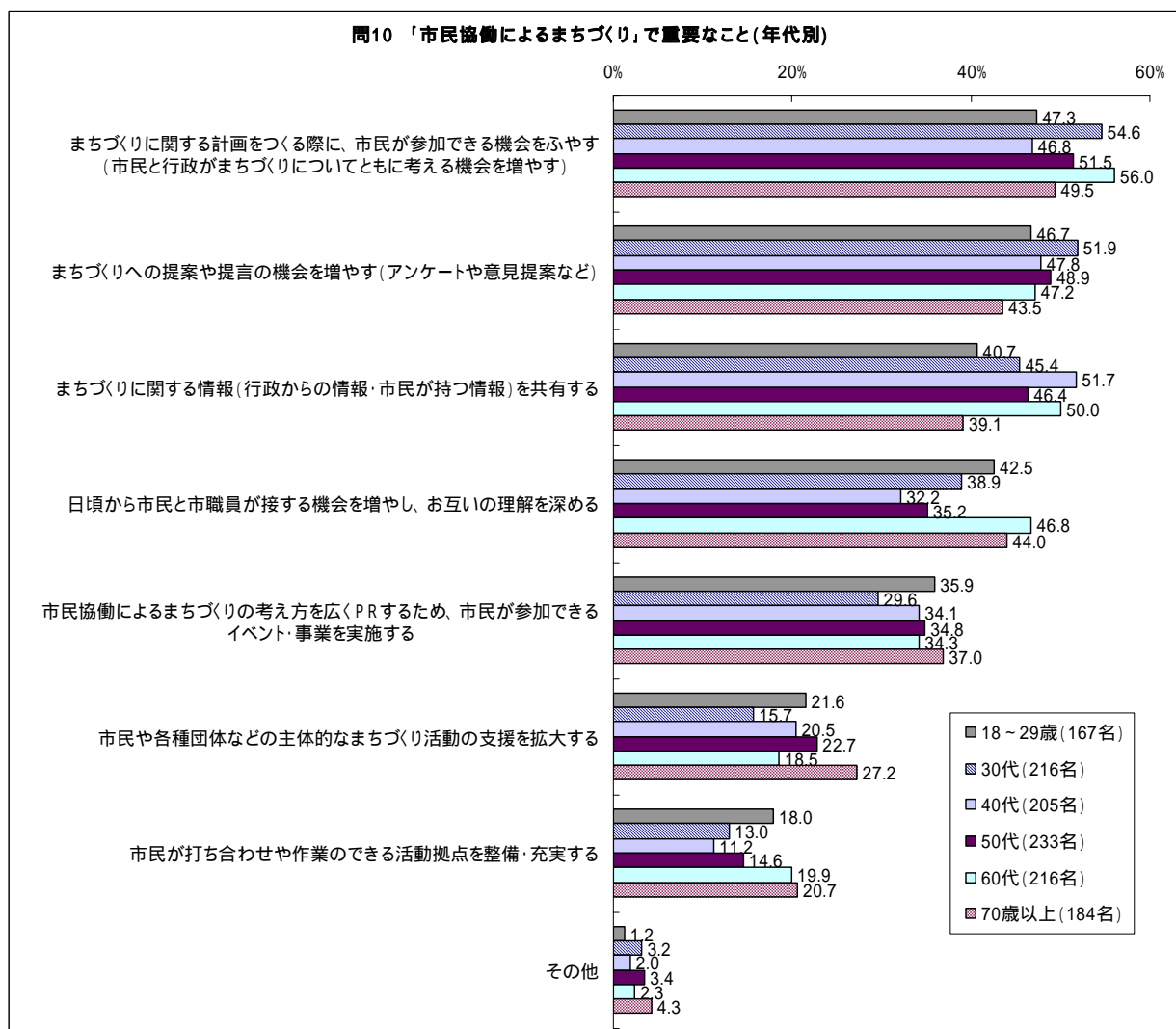
「まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会をふやす」が51.1%と最も高く、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」(47.8%)、「まちづくりに関する情報(行政からの情報・市民が持つ情報)を共有する」(45.6%)が続きます。



性別にみると、男女とも回答傾向に大きな差はありません。



年代別にみると、40代のみ「まちづくりに関する情報（行政からの情報・市民が持つ情報）を共有する」を1位にあげています。



出生別にみると、“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”は「参加できる機会をふやす」と「情報を共有する」を同率で1位にあげています。

家族構成別にみると、3世代以上のみ「まちづくりに関する情報を共有する」を1位にあげています。

職業別にみると、農林漁業は「参加できる機会をふやす」「情報を共有する」「市民と職員のお互いの理解」を同率で1位に、製造業・建設業、自衛隊等勤務、学生は「提案や提言の機会を増やす」を1位にあげています。

地区別にみると、地区1・2・6・9・10・12・15は「市民が参加できる機会をふやす」、地区4・5・7・8は「提案や提言の機会を増やす」、地区11・13は「情報を共有する」、地区14は「市民と職員のお互いの理解」、地区3は「提案や提言の機会を増やす」「情報を共有する」「市民と職員のお互いの理解」を同率で、それぞれ1位にあげています。また、「市民と職員のお互いの理解」「市民が打ち合わせや作業のできる活動拠点を整備・充実する」は地区14、「市民や各種団体などの主体的なまちづくり活動の支援を拡大する」は地区13の回答率が他に比べて高く、差がめだちます。

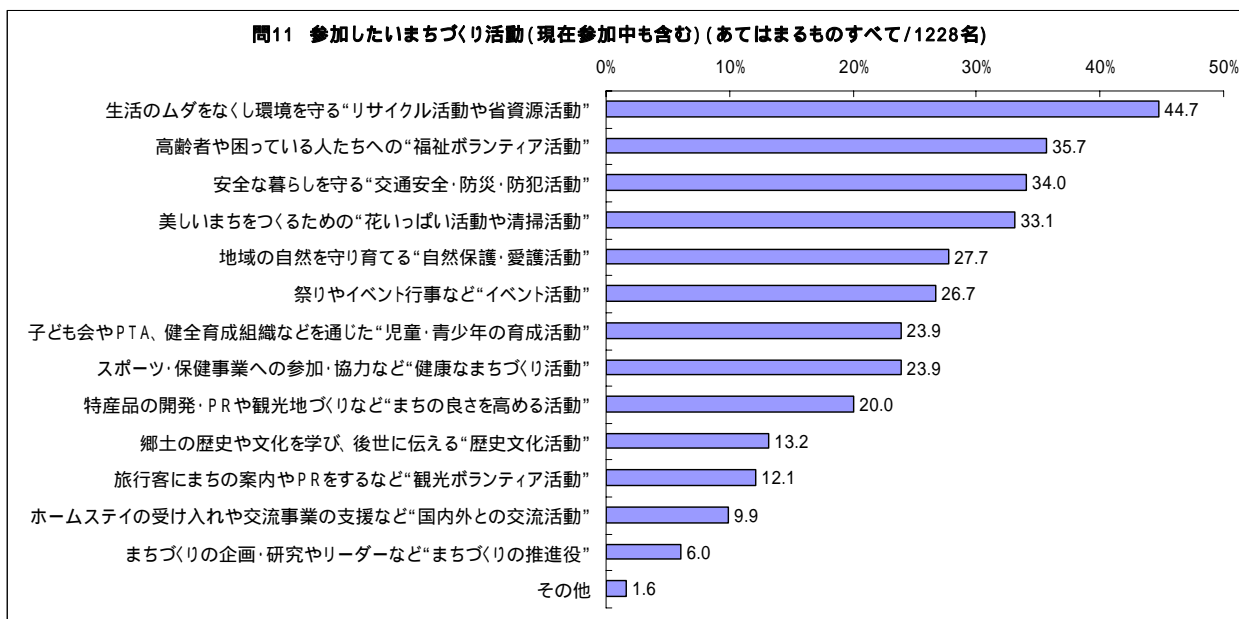
【「その他」の記述内容】

- 市民生活を担保しつつ、行政が先導しなくても達成可能なサービス（事業）を抽出し、モデル化し、市民（団体・企業含む）が主体となった実践を通して役割分担を進めていく。
- 役割を明確にし、市民主導のまちづくり
- 個人レベルで活動を始めている人への支援（資金PR）
- 協働にばかりこだわらない幅広い考え方で、協働に必要なポイントを把握することが必要と思う。
- 一部の人だけでなく、全体に伝わるよう情報の流れ方を考える。
- 市民の要求に対する、結果と進捗を公表してほしい。
- どういう千歳市にしたいか、市長や上の人たちの意見がよくわからない。もっと明確な目標など、わかりやすいものがよい。
- 各町内会で話し合い、行政がまとめ役になる。
- すべての項目必要。市が行っている町づくりについて知らない事が多い。
- パフォーマンス的な事ではなく、実のある将来性が見える町づくりが出来ると良いのでは…。小さな意見も取りあげると良いのでは…（むずかしいかもしれませんが）
- まちづくりに前向きな考えを持たせる教育の場を作る。
- もっと親子で参加できる参加型の機会を増やしてほしい。
- 市の行政では、市民の中身やプライベートを話しすぎている。
- 市議会の広報が最近少なくなった様に思う。
- 市議会だよりだけでは、すべて私たちの耳に入っていない。
- 必要としない職員、市議が多い、むだ
- 市職員は（市民であり）スポーツや文化活動に参加すべき。市民ではない職員はいらない。
- 色々な施策分野も良いが、市職員が多すぎ窓口が増え、卓上業務通信業務での分野が多く、行動する事による市民参加の理解を深める。
- 市民協働と言うが、市の職員は町内活動等に積極的に参加していない。
- 市民全体の意見を知るにはアンケートしか無い
- 町の中心だけでなく、郊外の方をもっと開発するべきだと思う。町に行くのも大変な世の中になってきているから（ガソリン、物が高くなって）
- 参加する機会を増やそうと思っても、交通費の負担増の為、欠席も。
- ムダな整備工事を止める。
- 千歳市の対応は、他の市町村と比較し非常に親切である。（顔見知り等には笑顔で親切）
- 最終的には行政が中心になる様に思われる。
- いずれにせよどれだけ市民の提案が取り入れられるものかどうか。
- どんなに提案や提言の機会を増しても、生活や市民に反映や還元されていない。
- 市民がどんなに声をあげても、“予算がない”といわれてしまえばどうしようもない。
- 行政相談員の処理がもの足りない。

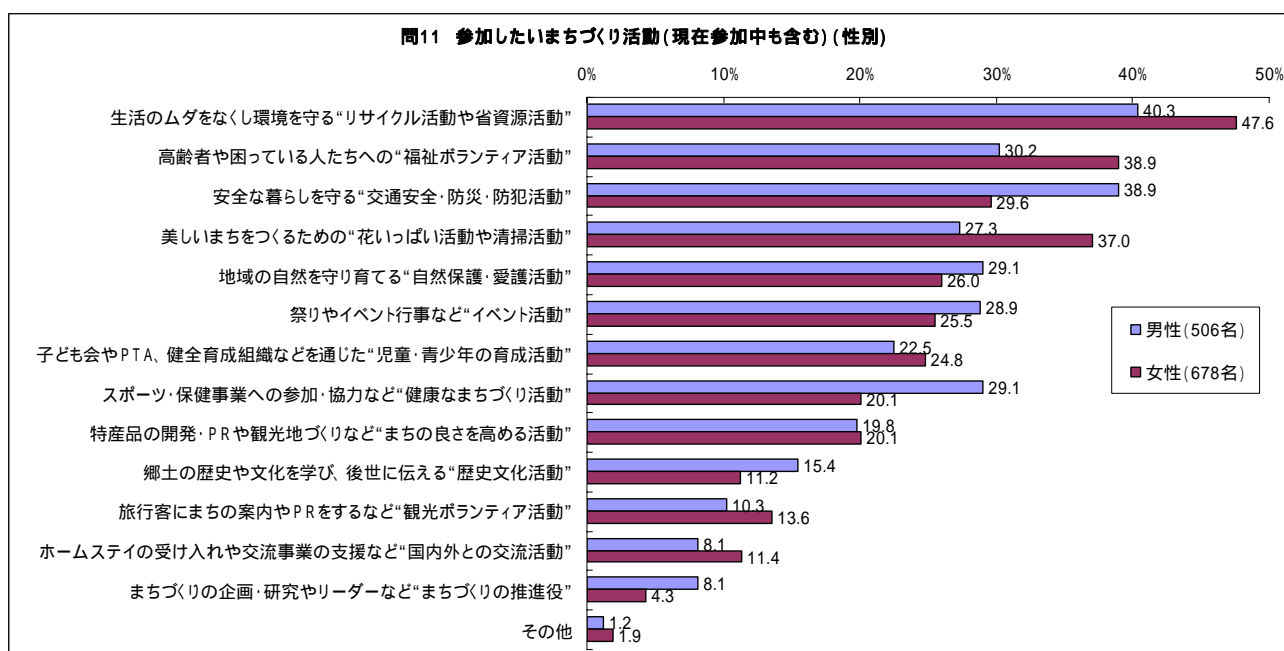
(3) 参加したいまちづくり活動

【問11】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。現在参加されているものも含めて、あてはまるものすべてに印をつけてください。

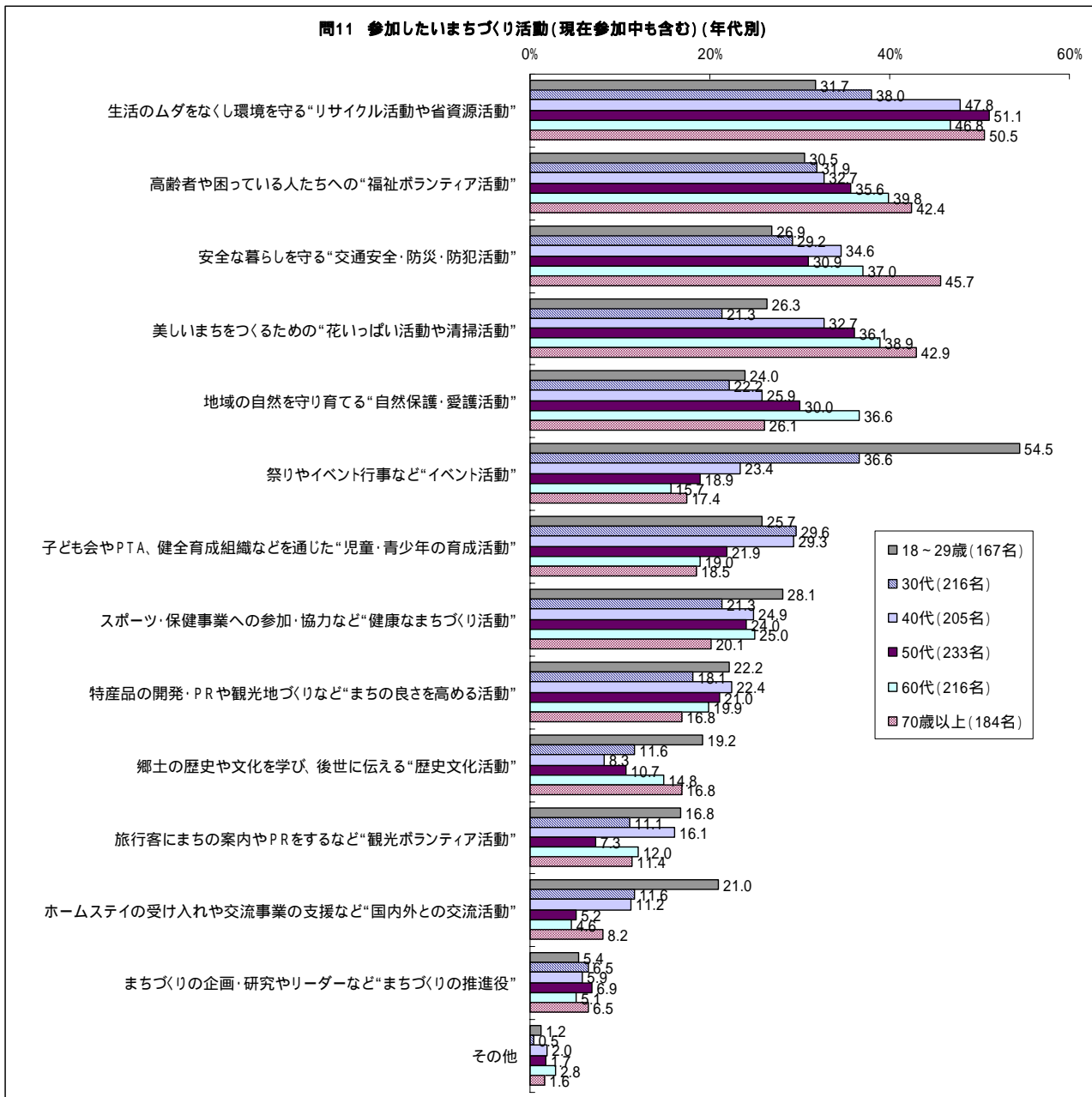
「リサイクル活動や省資源活動」が44.7%と最も高く、「福祉ボランティア活動」(35.7%)、「交通安全・防災・防犯活動」(34.0%)、「花いっぱい活動や清掃活動」(33.1%)が続きます。



性別にみると、男女ともに「リサイクル活動や省資源活動」が1位ですが、特に女性の回答率が高くなっています。また、「交通安全・防災・防犯活動」や「健康なまちづくり活動」は男性、「福祉ボランティア活動」「花いっぱい活動や清掃活動」は女性の回答率が高く、差がみられます。



年代別にみると、18～29歳のみ「イベント活動」を1位にあげ、回答率も他の年代との差がめだちます。また、30代も「イベント活動」を2位にあげ、40代以上の年代との差がみられます。そのほか、「交通安全・防災・防犯活動」は70歳以上、「国内外との交流活動」は18～29歳の回答率が高く、差がめだちます。



出生別にみると、“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”は「リサイクル活動や省資源活動」と「イベント活動」と同率で1位にあげているほか、「観光ボランティア活動」も他に比べて高くなっています。

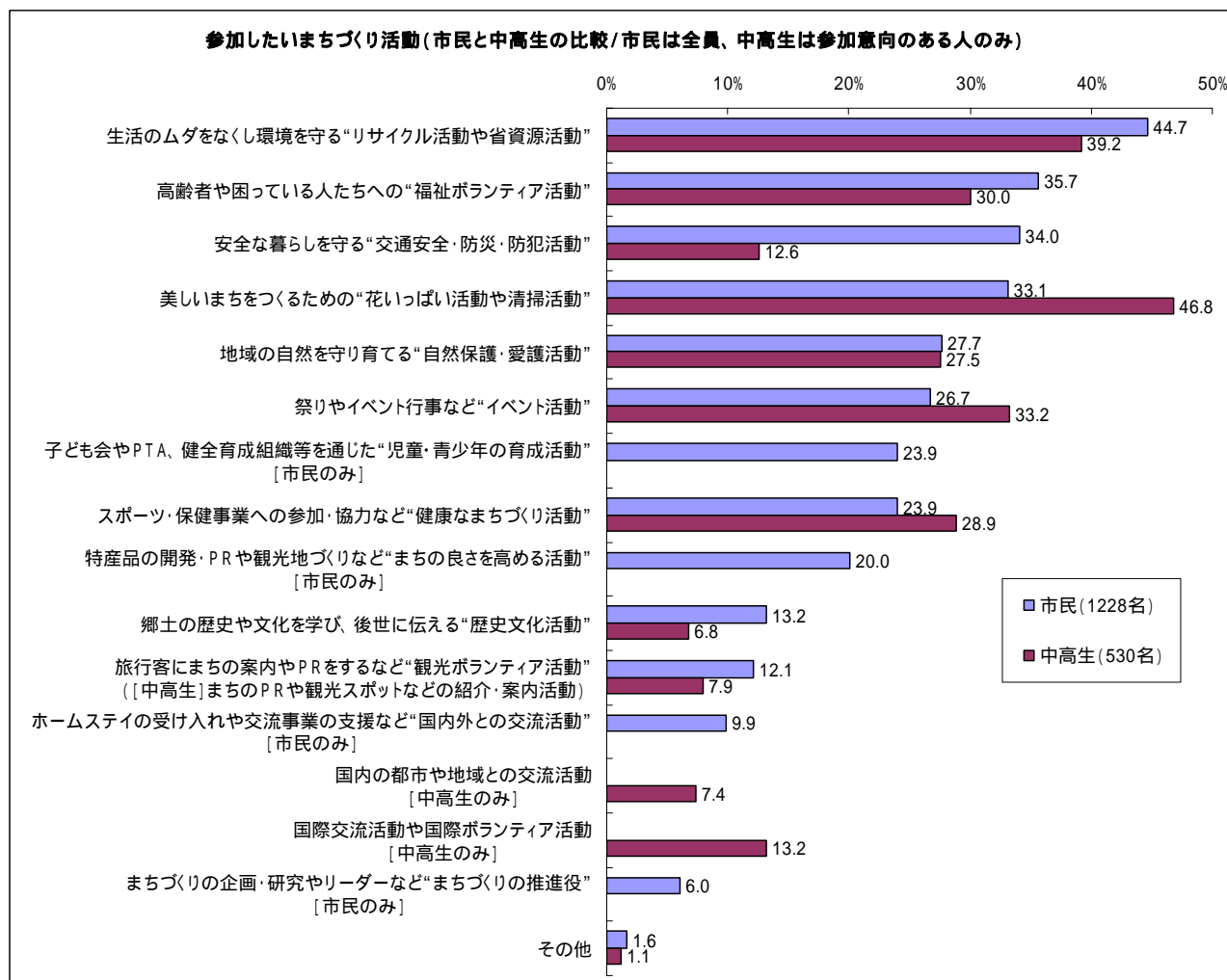
家族構成別にみると、ひとり暮らし・単身赴任のみ「福祉ボランティア活動」を1位にあげています。

職業別にみると、運輸業・通信業などは「福祉ボランティア活動」、自衛隊等勤務と学生は「イベント活動」、農林業は「花いっぱい活動や清掃活動」「リサイクル活動や省資源活動」「児童・青少年の育成活動」を同率で、それぞれ1位にあげています。また、「健康なまちづくり活動」は自衛隊等勤務、「国内外との交流活動」は学生の回答率が高く、差がめだちます。

中高生アンケートとの比較（参加したいまちづくり活動）

市民では「リサイクル活動や省資源活動」の回答率が最も高いのに対して、中高生では「花いっぱい活動や清掃活動」が最も高く、市民の回答率と差がみられます。

また、「交通安全・防災・防犯活動」は市民、「イベント活動」や「健康なまちづくり活動」は中高生が、それぞれ他方より回答率が高く、差がみられます。

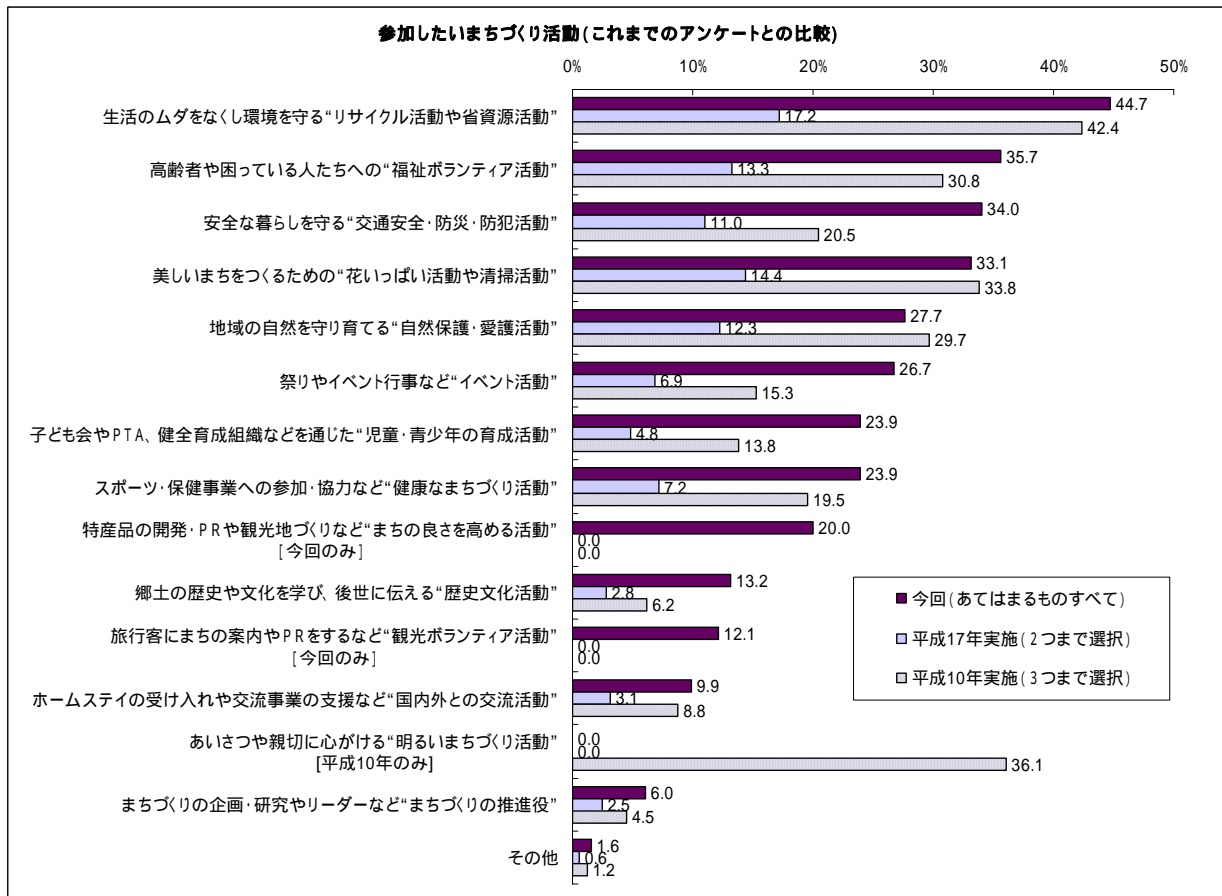


【「その他」の記述内容】

- 小学校、中学校に女袴着用育成活動（卒業式などで）
- 礼儀やマナーを子供たちに教える。
- 町内会活動
- 老人クラブでの活動
- 以前、観光者や外国の方に市内の美味しいお店はと聞かれたことがあり、その為日本語以外の他国用の資料も折にふれもらってきました。
- 大好きな千歳のためにできるコトなら何でもするよ。
- 花を植えること良いことですが、害虫をなくしてほしい。
- まちづくりに意見は述べるが加齢と共に参加意欲は減少する。
- 時間的にあわない為参加した事が無い。
- 70歳をすぎましたので何も活動したくありません / 身体状態が思わしくないので交流できない
- 参加したくない / 参加していない

これまでのアンケートとの比較（参加したいまちづくり活動）

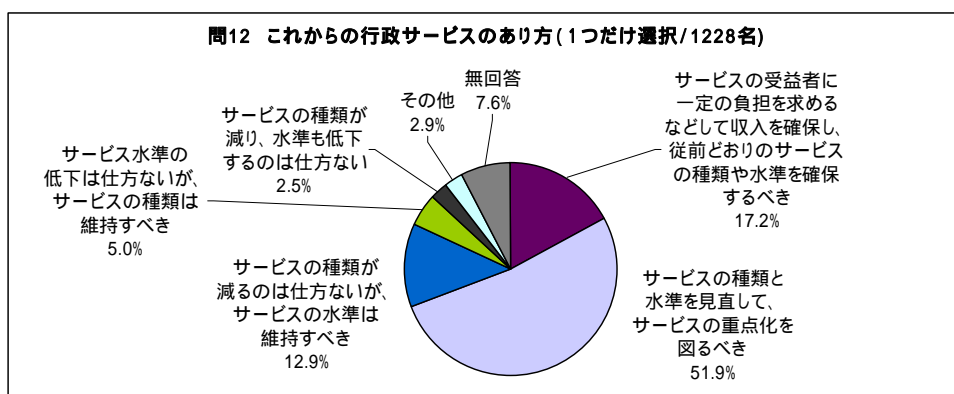
選択肢の制限の違いなどがありますが、「交通安全・防災・防犯活動」や「イベント活動」「児童・青少年の育成活動」の回答率が、これまでのアンケートに比べて高くなっています。



(4) これからの行政サービスのあり方

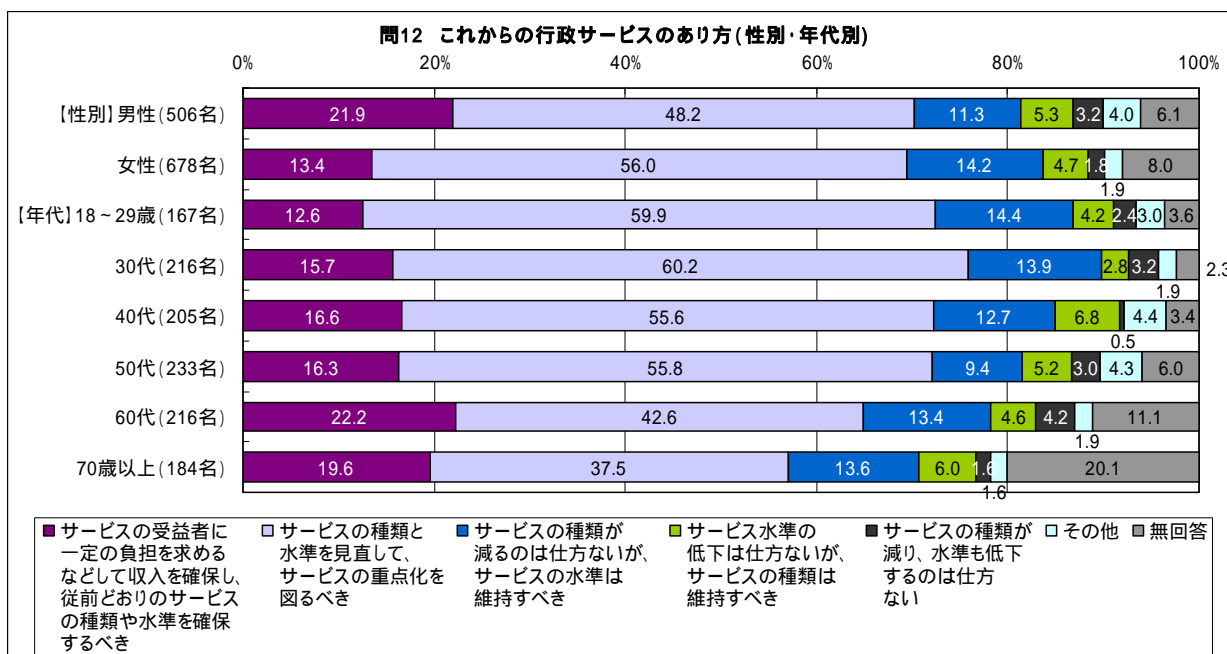
【問12】 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた市の財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。市においても経費の抑制や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

「サービスの種類と水準を見直して、サービスの重点化を図るべき」が51.9%と最も高く、「サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」(17.2%)、「サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべき」(12.9%)が続きます。



性別にみると、「従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」は男性、「サービスの重点化を図るべき」は女性の回答率が高く、男女の差がみられます。

年代別にみると、60代や70歳以上では「従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」が他に比べてやや高くなっています。



他の属性でみると、職業別では農林漁業、地区別では地区14で、「従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」と「サービスの重点化を図るべき」が同率となっています。また、「サービスの水準は維持すべき」は地区13で2割をこえています。

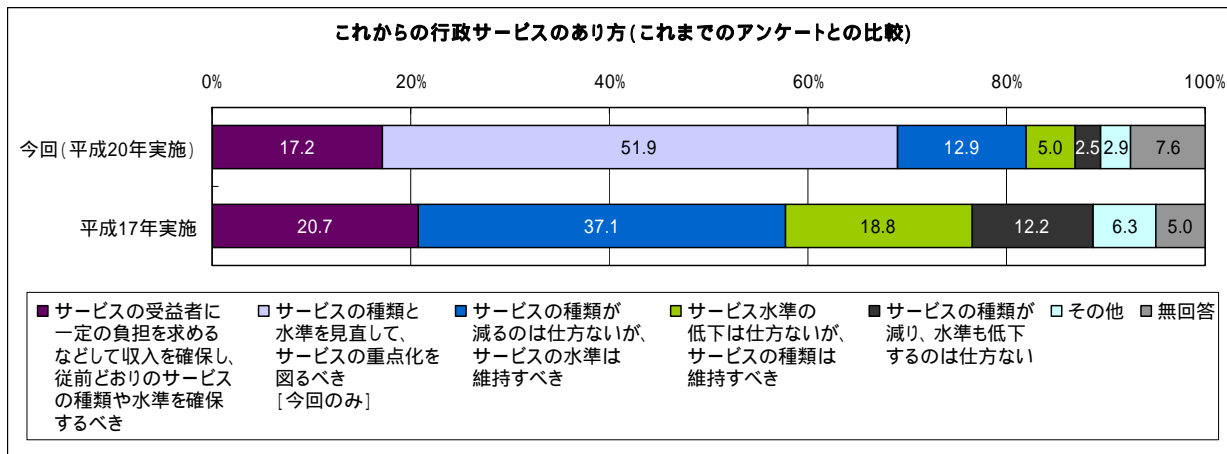
【「その他」の記述内容】

- これ以上の負担は生活が厳しくなるため現状維持し、今までの見直しが必要。
- 行政が本当に提供すべきものに限定し、適正な受益者負担を求めるべき。
- サービスではない思いやりの心です。
- サービスの種類・負担額など具体的でないので、項目を選べない。
- サービスの種類は見直し（必要でない物は減らし、必要なものを増やす）、サービスの水準を高める
- サービスの受益者に一定の負担を求め、サービスの種類・水準をあげる。
- サービスの範囲があると思う。老人、子供の為に必要な物を残し、成人者向けのものをなくす。サービスを受ける者が負担するのは、しかたのない事。今一度、何が必要で何が不必要か見なおし、無くすものは、すぐに無くす事が必要。
- 収入の確保も大事であるが、サービスの水準などは従前どおりを確保するのではなく、常により良いものを、考えて、実行して行ってほしい。
- サービス精神がたりない、収入より支出の見直し
- 具体的サービスの種類及び水準が分かりません。
- 市民の大半はどんなサービスがあるかもほとんどわかっていない。
- 市民に公平なサービスを。他市での事ですが、第二子への手当て、幼稚園の補助金が年収の基準によりいただけませんでした。当時年収が多いのは長時間働いていた為で楽に短い時間しか働いていない方達はいただいていたので・・・。乳幼児の医療費の助成は年収に関係なく公平でした。
- 市民サービス意識が過剰に感じます。全て満足させる事はできないので出来る事を明示すべきではないでしょうか
- 行政サービスの担い手を市だけではなく、市民、NPO団体、民間企業等に複数化（分担）し、サービスの種類・水準を維持するよう努めるべき
- 財源が少なくてもサービスの向上は出来ると思われる。例えば心のこもった対応など。千歳市の行政上の対応は近くの市町村と比べると最悪です。（タライ回し）
- 受益者の負担減及び従前通りのサービスの種類と、水準の維持。
- 受益者負担はある程度しかたがないがサービスの質を向上させる。
- 誰が受益者なのか考え直す必要がある。
- 財政状況が厳しいのは公務員の厚遇に他ならない。サービスを議論する以前の問題
- 財政状況が厳しくなった原因をもう一度見直しし、どのようなサービスが市民の求めているものかを再検討すべきである。
- 何が大事かすべてゼロにしてのまちづくり。サービスを。を考えてはどうでしょう。とにかくムダをしない必要があるのでは...
- まず、無駄をなくす事、千歳市は無駄が多すぎる。
- ムダの排除
- ムダはある。必ずある。
- ムダをなくしサービスの種類や水準を確保する
- 無駄な設備、投資を世相に合った検討が充分に必要
- 一律にサービスをするのではなく、必要としている人にもみサービスをする。必要なだけ
- 議員定数が多い。節約がまったくされていないに等しい。自治体職員はひとり1人、市民のための本物の仕事をしていない。
- 市職員が能率良く仕事してくれたら低下することはないと思う
- 効率よく働いて下さい。
- 職員数を減らし、身のまわりの掃除は各自ですべきだ。お茶を飲むヒマはない。
- 行政にたずさわる者の無駄をはぶいてほしい
- 行政のムダを無くす。議員、市職員、天下り団体の減。
- 市の財源収入、支出をわかりやすく市民に示してから、考える。
- 千歳市に関してどの程度厳しい財政状況なのか、良くわからない。千歳は大きな自衛隊が3つもあり、税収は他の自治体よりは良いと思う。

これまでのアンケートとの比較（これからの行政サービスのあり方）

今回新たに設定した「サービスの重点化を図るべき」が過半数を占めた分、その他の回答率が低くなっています。

そのうち、「従前どおりのサービスの種類や水準を確保するべき」はやや低くなったものの、平成17年とほぼ同様の傾向です。



地区別分析結果

1 回答者の地区別属性

地区 1

東雲町、朝日町、本町、
真々地、平和、2空団、
真町



- 市街地の南部に位置し、新千歳空港および航空自衛隊千歳基地を含む当地区は、男性 42.6%、女性 53.7%と女性がやや高い。
- 年齢構成は、18～29 歳（20.4%）が最も高く、全地区中では地区 12 について高い。また、40 代（18.5%）は全地区中最も高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（75.9%）が最も高い。“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”は、全地区中最も高い。
- 家族構成は 2 世代（38.9%）が最も高い。全市平均と比較すると、ひとり暮らし・単身赴任も高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（40.7%）が最も高い。自衛隊等勤務（22.2%）は全地区中最も高い。

地区 2

若草、白樺、里美、柏陽、
泉沢、文京、福住



- 臨空工業団地を有し、泉沢向陽台団地を中心とする当地区は、男性 34.5%、女性 64.1%と女性が 29.6 ポイント高く、全地区中最も女性の比率が高い。
- 年齢構成は、50 代（22.5%）が最も高い。40 代（18.3%）は地区 1 について高い（地区 11 と同率）。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（90.8%）が最も高く、全地区中でも最も高い。
- 家族構成は 2 世代（40.1%）が最も高い。僅差で続く夫婦のみは、地区 15 について高い。
- 職業は、無職（専業主婦含む）（45.8%）が最も高い。

地区 3

錦町、春日町、緑町、大
和、桂木、蘭越、新星



- 錦町以西の千歳川左岸の住宅地を中心とする当地区は、男性 39.4%、女性 56.3%と女性が 16.9 ポイント高い。
- 年齢構成は、50 代（19.7%）が最も高い。各年代が比較的バランス良く分布している。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（78.9%）が最も高い。
- 家族構成は 2 世代（46.5%）が最も高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（33.8%）が最も多い。その他の職業は全地区中最も高い。公務・団体等勤務は、地区 4 について高い。

地区 4

清水町、幸町、千代田町、
栄町



- 千歳駅周辺に位置する当地区は、男性 48.5%、女性 51.5%と、男女の比率が均衡している。
- 年齢構成は 50 代と 70 歳以上が同率（24.2%）で最も高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（66.7%）が最も高い。“千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる”は、地区 1 について高い。
- 家族構成は、ひとり暮らし・単身赴任と 2 世代が同率（30.3%）で最も高い。ひとり暮らし・単身赴任は、地区 15 について高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（36.4%）が最も高い。製造業・建設業と公務・団体等勤務はともに全地区中、最も高い。

地区 5

北栄、新富



- 千歳駅に近く、J R千歳線と国道36号に挟まれた当地区は、男性39.7%、女性54.0%と、女性が14.3ポイント高い。
- 年齢構成は30代(25.4%)が最も高く、全地区中でも最も高い。全市平均と比較すると、18~29歳は低い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(77.8%)が最も高い。
- 家族構成は、2世代(38.1%)が最も多く、夫婦のみが僅差で続く。
- 職業は、無職(専業主婦を含む)(31.7%)が最も高い。商業・サービス業・金融業などは地区15について高い。運輸業・通信業などは、地区8について高い。

地区 6

信濃、富士



- J R千歳線と国道36号に挟まれ、工業団地にも隣接する当地区は、男性44.6%、女性50.8%と女性がやや高い。
- 年齢構成は70歳以上(20.0%)が最も高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(75.4%)が最も高い。
- 家族構成は、2世代(36.9%)が最も高く、夫婦のみが僅差で続く。
- 職業は、無職(専業主婦を含む)が47.7%で最も高い。

地区 7

北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃(無番地、770.776~783.849~867.870~873.964)、北部隊、上長都(3.382.1036.1057.1058.112.1115.1119.1122.1126)



- 市街地の西部に位置し、工業団地および陸上自衛隊北千歳駐屯地を含む当地区は、男性42.1%、女性53.2%と女性が11.1ポイント高い。
- 年齢構成は60代(23.0%)が最も高く、地区15について高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(81.0%)が最も高い。
- 家族構成は、2世代(45.2%)が最も高い。
- 職業は、無職(専業主婦を含む)(42.9%)が最も多い。

地区 8

北陽、長都駅前、勇舞、北信濃(675~683)、上長都(13.14.923.924.928~935.942.943.1018~1024.1029.1102.1103)、長都(81.165.1017)



- J R長都駅に近く、市街地の北部に位置する当地区は、男性42.6%、女性55.4%と女性が12.8ポイント高い。
- 年齢構成は30代(33.7%)が最も高く、全地区中でも最も高い。全市平均と比較すると、60代、70歳以上は低い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(76.2%)が最も高い。
- 家族構成は、2世代(67.3%)が最も高く、全市中最も高い。
- 職業は、無職(専業主婦を含む)(31.7%)が最も高い。運輸業・通信業などは全地区中最も高い。学生は地区13について高い。

地区 9

高台、富丘、北光、あずさ、
北信濃（446～449、
582～591、631～636）



- J R 千歳線以東の富丘地区を中心とする当地区は、男性 50.4%、女性 49.6%と、男性がやや高い。
- 年齢構成は 50 代（19.1%）が最も高い。各年代が比較的バランス良く分布している。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（77.1%）が最も高い。
- 家族構成は、2 世代（44.3%）が最も高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（41.2%）が最も高い。

地区 10

末広、花園、稲穂、清流、
幸福



- 千歳駅の東側、千歳川左岸に位置する当地区は、男性 34.1.6%、女性 63.5%と女性が 29.4 ポイント高く、地区 2 について女性の比率が高い。
- 年齢構成は 30 代（19.8%）が最も高い。各年代が比較的バランス良く分布している。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（71.4%）が最も高い。全市平均と比較すると、“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”も高い。
- 家族構成は、2 世代（39.7%）が最も高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（41.3%）が最も高い。

地区 11

青葉、青葉丘、日の出、
日の出丘、住吉、東郊、
豊里



- J R 千歳線の東部、千歳川右岸の準工業地域を中心とする当地区は、男性 34.9%、女性 61.1%と、女性が 26.2 ポイント高い。
- 年齢構成は 50 代（19.8%）が最も高い。40 代（18.3%）は、地区 1 について高い（地区 2 と同率）。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（71.4%）が最も高い。
- 家族構成は、2 世代（44.4%）が最も高い。全市平均と比較すると、ひとり暮らし・単身赴任が低い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（52.4%）が最も高く、全地区中でも最も高い。

地区 12

梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ
丘、祝梅、東部隊、流通



- 市街地の東部に位置し、陸上自衛隊東千歳駐屯地を含む当地区は、男性 48.8%、女性 46.3%で、男女の比率が均衡している。
- 年齢構成は 18～29 歳（21.5%）が最も高く、全地区中でも最も高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”（83.5%）が最も高く、地区 2 について高い。
- 家族構成は、2 世代（35.5%）が最も高い。全市平均と比較すると、ひとり暮らし・単身赴任やその他が高い。
- 職業は、無職（専業主婦を含む）（35.5%）が最も高い。自衛隊等勤務は、地区 1 について高い。

地区 13

都、長都 (81.165.1017 以外)、
釜加、根志越、中央、駒
里、泉郷、美々、柏台、
柏台南



- 市街地の北東部および南東部に広がる農業地域が主体である当地区は、男性 42.3%、女性 46.2%と、男女の比率が均衡している。
- 年齢構成は 70 歳以上 (34.6%) が最も高く、全地区中でも最も高い。
- 出生は、“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”(50.0%) が最も高く、全地区中でも最も高い。
- 家族構成は、2 世代 (61.5%) が最も高く、地区 8 について高い。3 世代以上は地区 14 について高い。全市平均と比較すると、ひとり暮らし・単身赴任や夫婦のみは低い。
- 職業は、農林漁業 (46.2%) が最も高く、全地区中でも最も高い。無職 (専業主婦を含む) は全地区中最も低い。

地区 14

幌加、協和、新川、東丘



- 市内最東部に位置し、農地および丘陵地帯が主体をなす当地区は、男性 25.0%、女性 62.5%と、女性が 37.5 ポイント高く、男女の比率の差が全地区中最も大きい。
- 年齢構成は 50 代と 70 歳以上が同率 (25.0%) で最も高い。50 代は全地区中最も高く、70 歳以上は地区 13 について高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(50.0%) が最も高い。“千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる”は、地区 13 について高い。
- 家族構成は、夫婦のみ、2 世代、3 世代以上が同率 (25.0%) で最も高い。3 世代以上は全地区中最も高い。
- 職業は、農林漁業 (37.5%) が最も高く、地区 13 について高い。

地区 15

支笏湖温泉、幌美内、モ
ラップ、水明郷、藤の沢、
美笛、支寒内、奥潭



- 国立公園に属する支笏湖を含めた市西部の広大な森林地帯を占める当地区は、男性 45.5%、女性 50.0%と、女性がやや高い。
- 年齢構成は 60 代 (27.3%) が最も高く、全地区中でも最も高い。
- 出生は、“千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた”(77.3%) が最も高い。
- 家族構成は、夫婦のみ (40.9%) が最も高い。ひとり暮らし・単身赴任は全地区中最も高い。
- 職業は、商業・サービス業・金融業など (54.5%) が最も高く、全地区中でも最も高い。

	性別			年代						出生				
	男性	女性	無回答	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	千歳生まれ、ずっと千歳	千歳生まれ、市外引っこし後、再び千歳	市外生まれ、千歳に引っこし	無回答
全体(1228名)	41.2	55.2	3.6	13.6	17.6	16.7	19.0	17.6	15.0	0.6	15.7	6.4	77.0	0.9
地区1(54名)	42.6	53.7	3.7	20.4	16.7	18.5	18.5	14.8	11.1	0.0	11.1	13.0	75.9	0.0
地区2(142名)	34.5	64.1	1.4	12.7	13.4	18.3	22.5	19.7	13.4	0.0	5.6	3.5	90.8	0.0
地区3(71名)	39.4	56.3	4.2	12.7	16.9	15.5	19.7	18.3	16.9	0.0	12.7	7.0	78.9	1.4
地区4(33名)	48.5	51.5	0.0	12.1	18.2	15.2	24.2	6.1	24.2	0.0	18.2	12.1	66.7	3.0
地区5(63名)	39.7	54.0	6.3	6.3	25.4	17.5	11.1	20.6	17.5	1.6	19.0	3.2	77.8	0.0
地区6(65名)	44.6	50.8	4.6	12.3	15.4	16.9	16.9	18.5	20.0	0.0	21.5	1.5	75.4	1.5
地区7(126名)	42.1	53.2	4.8	13.5	13.5	16.7	17.5	23.0	15.1	0.8	11.1	7.9	81.0	0.0
地区8(101名)	42.6	55.4	2.0	14.9	33.7	17.8	17.8	8.9	6.9	0.0	13.9	9.9	76.2	0.0
地区9(131名)	50.4	49.6	0.0	13.0	16.0	17.6	19.1	18.3	15.3	0.8	17.6	4.6	77.1	0.8
地区10(126名)	34.1	63.5	2.4	14.3	19.8	14.3	18.3	15.9	16.7	0.8	23.0	5.6	71.4	0.0
地区11(126名)	34.9	61.1	4.0	11.1	19.0	18.3	19.8	18.3	13.5	0.0	17.5	9.5	71.4	1.6
地区12(121名)	48.8	46.3	5.0	21.5	12.4	16.5	20.7	17.4	10.7	0.8	9.1	5.8	83.5	1.7
地区13(26名)	42.3	46.2	11.5	11.5	7.7	7.7	23.1	15.4	34.6	0.0	50.0	0.0	46.2	3.8
地区14(16名)	25.0	62.5	12.5	6.3	12.5	12.5	25.0	18.8	25.0	0.0	43.8	6.3	50.0	0.0
地区15(22名)	45.5	50.0	4.5	9.1	13.6	18.2	13.6	27.3	18.2	0.0	18.2	4.5	77.3	0.0

	家族構成						職業									
	ひとり暮らし・単身赴任	夫婦のみ	2世代	3世代以上	その他	無回答	農林漁業	製造業・建設業	商業・サービス業・金融業など	運輸業・通信業など	公務・団体等勤務	自衛隊等勤務	その他の職業	学生	無職(専業主婦を含む)	無回答
全体(1228名)	10.1	30.9	42.8	4.8	10.0	1.4	1.7	8.9	14.7	3.2	6.6	10.0	10.9	3.3	39.8	0.9
地区1(54名)	24.1	27.8	38.9	0.0	9.3	0.0	0.0	3.7	11.1	1.9	9.3	22.2	5.6	3.7	40.7	1.9
地区2(142名)	3.5	38.7	40.1	5.6	10.6	1.4	0.0	11.3	9.9	2.8	4.9	8.5	12.0	3.5	45.8	1.4
地区3(71名)	15.5	26.8	46.5	2.8	8.5	0.0	0.0	9.9	16.9	1.4	12.7	2.8	18.3	4.2	33.8	0.0
地区4(33名)	30.3	21.2	30.3	6.1	12.1	0.0	0.0	15.2	15.2	6.1	15.2	0.0	3.0	3.0	36.4	6.1
地区5(63名)	11.1	36.5	38.1	3.2	11.1	0.0	0.0	7.9	27.0	4.8	4.8	12.7	11.1	0.0	31.7	0.0
地区6(65名)	13.8	35.4	36.9	3.1	10.8	0.0	0.0	9.2	12.3	3.1	6.2	10.8	10.8	0.0	47.7	0.0
地区7(126名)	6.3	33.3	45.2	3.2	11.1	0.8	0.8	11.9	13.5	4.0	4.0	11.9	9.5	1.6	42.9	0.0
地区8(101名)	3.0	19.8	67.3	2.0	6.9	1.0	0.0	9.9	15.8	6.9	4.0	15.8	9.9	5.9	31.7	0.0
地区9(131名)	9.2	35.1	44.3	6.1	3.1	2.3	0.0	6.1	14.5	3.8	9.2	8.4	12.2	4.6	41.2	0.0
地区10(126名)	6.3	36.5	39.7	7.1	8.7	1.6	0.0	9.5	17.5	2.4	6.3	6.3	13.5	3.2	41.3	0.0
地区11(126名)	4.0	29.4	44.4	7.9	12.7	1.6	0.8	7.1	14.3	3.2	6.3	5.6	7.9	2.4	52.4	0.0
地区12(121名)	19.0	25.6	35.5	1.7	15.7	2.5	0.8	8.3	10.7	1.7	7.4	19.8	11.6	4.1	35.5	0.0
地区13(26名)	3.8	7.7	61.5	15.4	11.5	0.0	46.2	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	11.5	7.7
地区14(16名)	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	37.5	12.5	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	31.3	0.0
地区15(22名)	31.8	40.9	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	27.3	4.5

2 設問別調査結果

(1) 日常生活の満足度と重要度(項目別評価)

日常生活に関する42項目について、「満足度」と「重要度」に対する評価を「加重平均」で算出し、地区ごとに比較分析を行いました。

【満足度】について

地区14と地区15は全体的に「満足度」が高い一方、地区4と地区13は「満足度」が低く、大半の項目が全市平均を下回っています。

地区による「満足度」の差が大きいのは、「1.子育ての環境や支援」「3.病院・診療所などの医療環境」「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」「29.道路や歩道の除排雪」「33.日常の買い物環境」などです。

《重要度》について

地区14は全体的に「重要度」が高い一方、地区4と地区13は「重要度」が低く、大半の項目が全市平均を下回っています。

地区による「重要度」の差が大きいのは、「8.消費生活に関する情報提供や相談」「12.消防・救急体制」「35.農業の振興」などです。

回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」といいます。

満足度の算出： $(満足 \times 2 + やや満足 \times 1 + やや不満 \times -1 + 不満 \times -2) \div 回答者数$

重要度の算出： $(重要 \times 2 + やや重要 \times 1 + あまり重要ではない \times -1 + 重要ではない \times -2) \div 回答者数$

数値の範囲は -2 から +2 の間で、-2 に近いほど評価は低く、+2 に近いほど評価は高い、とみます。

地区1

東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町

満足度は「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」「14.自然環境の保全」の順に高く、「3.病院・診療所などの医療環境」「31.バスの利用のしやすさ」「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」「34.中心市街地のにぎわいづくり」の順に低くなっています。(20項目がマイナス評価)

「8.消費生活」「35.農業」「39.働く場」「41.協働のまちづくり」「42.窓口対応やサービス」は全地区中最も高い一方、「25.国際交流・都市間交流」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「17.ごみの収集・リサイクル」「1.子育ての環境や支援」の順に高く、「6.男女が等しく社会参加できる環境」「27.公営住宅環境の整備」「21.芸術文化活動の促進」の順に低くなっています。

地区 2

若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住

満足度は「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」「17.ごみの収集・リサイクル」の順に高く、「3.病院・診療所などの医療環境」「31.バスの利用のしやすさ」「34.中心市街地のにぎわいづくり」の順に低くなっています。(18項目がマイナス評価)

「9.コミュニティ」「10.交通安全」「23.スポーツ」「36.企業誘致や企業支援」は全地区中最高一方、「3.医療」は全地区中最低低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」の順に高く、「25.国際交流・都市間交流」「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「22.文化財や史跡の伝承保存」の順に低くなっています。

「33.買い物」は全地区中最高高くなっています。

地区 3

錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星

満足度は「28.上下水道の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」「26.公園や緑地の整備」の順に高く、「34.中心市街地のにぎわいづくり」「3.病院・診療所などの医療環境」「38.観光都市としての魅力づくり」の順に低くなっています。(27項目がマイナス評価)

「13.自然災害」「34.中心市街地」「38.観光」は全地区中最低低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「1.子育ての環境や支援」の順に高く、「25.国際交流・都市間交流」「21.芸術文化活動の促進」「7.市民ボランティア活動の育成・支援」の順に低くなっています。

「32.市街地の整備や景観」「36.企業誘致や企業支援」「40.情報提供」「41.協働のまちづくり」は全地区中最高高くなっています。

地区 4

清水町、幸町、千代田町、栄町

満足度は「28.上下水道の整備」「6.男女が等しく社会参加できる環境」「25.国際交流・都市間交流」の順に高く、「34.中心市街地のにぎわいづくり」「39.働く場の確保」「31.バスの利用のしやすさ」の順に低くなっています。(32項目がマイナス評価)

「4.高齢者の自立支援」は全地区中最高一方、「10.交通安全」「11.防犯」「18.生涯学習」「22.文化財や史跡」「24.青少年の健全育成」「36.企業誘致や企業支援」「37.光科学技術などの高度技術産業」「40.情報提供」「41.協働のまちづくり」は全地区中最低低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「17.ごみの収集・リサイクル」「14.自然環境の保全」の順に高く、「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「23.スポーツ活動の推進」「21.芸術文化活動の促進」の順に低くなっています。

「34.中心市街地」は全地区中最高高くなっています。

地区 5

北栄、新富

満足度は「28.上下水道の整備」「14.自然環境の保全」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の順に高く、「3.病院・診療所などの医療環境」「34.中心市街地のにぎわいづくり」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」の順に低くなっています。(17項目がマイナス評価)

「7.市民ボランティア」「25.国際交流・都市間交流」は全地区中最も高くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「1.子育ての環境や支援」「29.道路や歩道の除排雪」の順に高く、「22.文化財や史跡の伝承保存」「21.芸術文化活動の促進」「23.スポーツ活動の推進」の順に低くなっています。

地区 6

信濃、富士

満足度は「40.広報誌やホームページ等の情報提供」「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」の順に高く、「29.道路や歩道の除排雪」「31.バスの利用のしやすさ」「34.中心市街地のにぎわいづくり」の順に低くなっています。(21項目がマイナス評価)

「21.芸術文化」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「29.道路や歩道の除排雪」「3.病院・診療所などの医療環境」「39.働く場の確保」の順に高く、「27.公営住宅環境の整備」「25.国際交流・都市間交流」「23.スポーツ活動の推進」の順に低くなっています。全地区中、「29.道路や歩道の除排雪」が最も高いのは、地区6のみです。

「39.働く場」「42.窓口対応やサービス」は全地区中最も高くなっています。

地区 7

北斗、自由ヶ丘、桜木、(無番地、770.776~783.849~867.870~873.964)、北部隊、上長都(3.382.1036.1057.1058.112.1115.1119.1122.1126)

満足度は「17.ごみの収集・リサイクル」「28.上下水道の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の順に高く、「39.働く場の確保」「29.道路や歩道の除排雪」「3.病院・診療所などの医療環境」の順に低くなっています。(16項目がマイナス評価)

「17.ごみ・リサイクル」「20.障がいのある児童の教育」「25.国際交流・都市間交流」は全地区中最も高くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」の順に高く、「21.芸術文化活動の促進」「22.文化財や史跡の伝承保存」「25.国際交流・都市間交流」の順に低くなっています。

「17.ごみ・リサイクル」は全地区中最も高くなっています。

地区 8

北陽、長都駅前、勇舞、北信濃(675～683)、上長都(13.14.923.924.928～935.942.943.1018～1024.1029.1102.1103)、長都(81.165.1017)

満足度は「28.上下水道の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」「14.自然環境の保全」の順に高く、「29.道路や歩道の除排雪」「3.病院・診療所などの医療環境」「31.バスの利用のしやすさ」の順に低くなっています。(27項目がマイナス評価)

「12.消防・救急」「19.小・中学校の教育」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」の順に高く、「27.公営住宅環境の整備」「25.国際交流・都市間交流」「9.町内会活動などのコミュニティ活動の順に低くなっています。

「19.小・中学校の教育」「26.公園や緑地」「29.除排雪」は全地区中最も高くなっています。

地区 9

高台、富丘、北光、あずさ、北信濃(446～449.582～591.631～636)

満足度は「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の順に高く、「34.中心市街地のにぎわいづくり」「29.道路や歩道の除排雪」「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」の順に低くなっています。(24項目がマイナス評価)

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「1.子育ての環境や支援」「12.消防・救急体制」の順に高く、「22.文化財や史跡の伝承保存」「21.芸術文化活動の促進」「25.国際交流・都市間交流」の順に低くなっています。

地区 10

末広、花園、稲穂、清流、幸福

満足度は「28.上下水道の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」「26.公園や緑地の整備」の順に高く、「3.病院・診療所などの医療環境」「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」「29.道路や歩道の除排雪」の順に低くなっています。(18項目がマイナス評価)

「37.光科学技術などの高度技術産業」は全地区中最も高くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「1.子育ての環境や支援」の順に高く、「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「25.国際交流・都市間交流」「21.芸術文化活動の促進」の順に低くなっています。

地区 1 1

青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里

満足度は「33.日常の買い物環境」「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」の順に高く、「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」「39.働く場の確保」「34.中心市街地のにぎわいづくり」の順に低くなっています。(26項目がマイナス評価)

「31.バス」「33.買い物」は全地区中最も高い一方、「15.公害」「39.働く場」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「1.子育ての環境や支援」「29.道路や歩道の除排雪」の順に高く、「21.芸術文化活動の促進」「25.国際交流・都市間交流」「27.公営住宅環境の整備」の順に低くなっています。

「1.子育て」「2.健康づくりや病気予防」「9.コミュニティ」「10.交通安全」「15.公害」は全地区中最も高くなっています。

地区 1 2

梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通

満足度は「28.上下水道の整備」「26.公園や緑地の整備」「33.日常の買い物環境」の順に高く、「29.道路や歩道の除排雪」「3.病院・診療所などの医療環境」「39.働く場の確保」の順に低くなっています。(16項目がマイナス評価)

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「29.道路や歩道の除排雪」「39.働く場の確保」の順に高く、「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「21.芸術文化活動の促進」「7.市民ボランティア活動の育成・支援」の順に低くなっています。

地区 1 3

都、長都(81.165.1017 以外)、釜加、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南

満足度は「18.生涯学習の情報や機会の提供」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」「25.国際交流・都市間交流」「27.公営住宅環境の整備」の順に高く、「31.バスの利用のしやすさ」「29.道路や歩道の除排雪」「3.病院・診療所などの医療環境」の順に低くなっています。(33項目がマイナス評価)

「1.子育て」「2.健康づくりや病気予防」「4.高齢者の自立支援」「5.障がい者(児)の生活支援」「6.男女の社会参加」「7.市民ボランティア」「8.消費生活」「9.コミュニティ」「14.自然環境」「16.地球環境」「17.ごみ・リサイクル」「20.障がいのある児童などの教育」「26.公園や緑地」「28.上下水道」「29.除排雪」「30.道路」「31.バス」「32.市街地の整備や景観」「35.農業」「42.窓口対応やサービス」の20項目は、全地区中最も低くなっています。

重要度は「1.子育ての環境や支援」「4.高齢者の自立支援」「39.働く場の確保」の順に高く、「22.文化財や史跡の伝承保存」「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「21.芸術文化活動の促進」の順に低くなっています。

「1.子育て」は全地区中最も高くなっています。

地区 1 4

幌加、協和、新川、東丘

満足度は「1.子育ての環境や支援」「32.市街地の整備やまちの景観の向上」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の順に高く、「5.障がい者（児）の生活支援」「15.騒音・振動・悪臭などの公害防止」「31.バスの利用のしやすさ」「35.農業の振興」の順に低くなっています。（15項目がマイナス評価）

「1.子育て」「2.健康づくりや病気予防」「3.医療」「6.男女の社会参加」「13.防災」「19.小・中学校の教育」「21.芸術文化」「22.文化財や史跡」「24.青少年の健全育成」「29.除排雪」「30.道路」「32.市街地の整備や景観」「34.中心市街地のにぎわい」「38.観光」の14項目は全地区中最も高い一方、「5.障がい者（児）の生活支援」「27.公営住宅」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「12.消防・救急体制」「35.農業の振興」「1.子育ての環境や支援」「20.障がいのある児童などの教育環境」の順に高く、「9.町内会活動などのコミュニティ活動」「26.公園や緑地の整備」「33.日常の買い物環境」の順に低くなっています。

「1.子育て」「4.高齢者の自立支援」「5.障がい者（児）の生活支援」「6.男女の社会参加」「7.市民ボランティア」「8.消費生活」「11.防犯」「12.消防・救急」「13.防災」「14.自然環境」「16.地球環境」「18.生涯学習」「20.障がいのある児童などの教育」「21.芸術文化」「22.文化財や史跡」「23.スポーツ」「24.青少年の健全育成」「25.国際交流・都市間交流」「28.上下水道」「30.道路」「35.農業」「37.光科学技術などの高度技術産業」の22項目は、全地区中最も高くなっています。

地区 1 5

支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭

満足度は「26.公園や緑地の整備」「28.上下水道の整備」「40.広報誌やホームページ等の情報提供」の順に高く、「31.バスの利用のしやすさ」「3.病院・診療所などの医療環境」「34.中心市街地のにぎわいづくり」の順に低くなっています。（15項目がマイナス評価）

「5.障がい者（児）の生活支援」「11.防犯」「12.消防・救急」「14.自然環境」「15.公害」「16.地球環境」「18.生涯学習」「26.公園や緑地」「27.公営住宅」「28.上下水道」「40.情報提供」は全地区中最も高い一方、「23.スポーツ」「33.買い物」は全地区中最も低くなっています。

重要度は「3.病院・診療所などの医療環境」「4.高齢者の自立支援」「38.観光都市としての魅力づくり」の順に高く、「21.芸術文化活動の促進」「37.光科学技術などの高度技術産業」「18.生涯学習の情報や機会の提供」の順に低くなっています。

「3.医療」「27.公営住宅」「31.バス」「38.観光」は全地区中最も高くなっています。

数字は加重平均

		保健・医療・福祉					生活環境や安全・安心				
		1. 子育て の環境 や支援	2. 健康づく りや病気 の予防	3. 病院・診 療所など の医療 環境	4. 高齢者 の自立 支援	5. 障がい 者(児) の生活 支援	6. 男女が 等しく社 会参加 できる環 境	7. 市民ボラ ンティア 活動の 育成・支 援	8. 消費生 活に関 する情報 提供や 相談	9. 町内会 活動など のコミュ ニティ活 動	10. 交通安 全への 取り組み
全体 (1228名)	満足度	-0.01	0.02	-0.60	-0.28	-0.21	0.03	0.06	-0.13	0.11	0.09
	重要度	1.31	1.13	1.57	1.12	1.10	0.47	0.48	0.61	0.39	0.83
地区1 (54名)	満足度	0.20	0.20	-0.42	-0.12	-0.13	0.06	0.08	-0.04	0.14	0.02
	重要度	1.21	1.08	1.41	0.94	0.88	0.34	0.42	0.41	0.47	0.79
地区2 (142名)	満足度	0.01	-0.07	-0.88	-0.27	-0.23	0.10	0.13	-0.12	0.25	0.20
	重要度	1.22	1.22	1.69	1.20	1.15	0.53	0.52	0.68	0.42	0.91
地区3 (71名)	満足度	-0.08	0.03	-0.62	-0.30	-0.22	-0.03	0.02	-0.17	0.08	-0.11
	重要度	1.30	1.05	1.46	1.06	1.15	0.55	0.45	0.65	0.55	0.89
地区4 (33名)	満足度	-0.07	0.04	-0.33	-0.10	-0.18	0.11	0.00	-0.28	-0.04	-0.24
	重要度	1.00	1.00	1.30	0.81	0.96	0.23	0.38	0.59	0.15	0.54
地区5 (63名)	満足度	0.07	0.05	-0.64	-0.31	-0.09	0.00	0.22	-0.08	0.11	0.17
	重要度	1.43	1.08	1.65	1.03	1.08	0.47	0.43	0.47	0.45	0.69
地区6 (65名)	満足度	-0.03	-0.03	-0.46	-0.17	-0.10	0.11	0.05	-0.13	0.05	0.16
	重要度	1.21	1.10	1.47	0.90	1.08	0.41	0.40	0.58	0.52	0.85
地区7 (126名)	満足度	-0.03	0.06	-0.53	-0.29	-0.20	0.01	0.06	-0.12	0.19	0.17
	重要度	1.39	1.23	1.62	1.25	1.20	0.48	0.59	0.73	0.46	0.86
地区8 (101名)	満足度	-0.06	-0.02	-0.85	-0.27	-0.32	0.02	0.07	-0.16	0.00	0.03
	重要度	1.36	1.06	1.68	1.15	1.14	0.44	0.41	0.54	0.28	0.91
地区9 (131名)	満足度	-0.07	0.04	-0.37	-0.25	-0.26	0.02	-0.04	-0.12	0.11	0.08
	重要度	1.35	1.14	1.55	1.09	1.10	0.50	0.53	0.66	0.36	0.69
地区10 (126名)	満足度	0.01	0.06	-0.81	-0.34	-0.15	0.02	0.00	-0.07	0.00	0.07
	重要度	1.23	1.01	1.58	1.12	1.03	0.40	0.44	0.47	0.20	0.77
地区11 (126名)	満足度	0.01	-0.01	-0.45	-0.27	-0.23	-0.09	0.02	-0.14	0.09	0.00
	重要度	1.50	1.26	1.67	1.19	1.20	0.51	0.52	0.67	0.57	0.96
地区12 (121名)	満足度	0.02	0.08	-0.53	-0.35	-0.20	0.13	0.15	-0.09	0.19	0.17
	重要度	1.18	1.06	1.48	1.07	1.02	0.48	0.43	0.72	0.31	0.90
地区13 (26名)	満足度	-0.58	-0.37	-0.72	-0.68	-0.50	-0.26	-0.16	-0.43	-0.11	-0.05
	重要度	1.50	1.00	1.15	1.16	1.05	0.53	0.42	0.35	0.21	0.53
地区14 (16名)	満足度	0.50	0.33	0.09	-0.25	-0.50	0.17	-0.10	-0.09	0.09	0.09
	重要度	1.50	1.08	1.33	1.38	1.27	0.75	0.70	1.27	0.50	0.73
地区15 (22名)	満足度	0.14	-0.19	-0.73	-0.24	-0.05	0.05	0.10	-0.19	0.05	0.19
	重要度	1.24	1.19	1.73	1.33	1.10	0.52	0.45	0.48	0.48	0.76

：〔満足度〕で最も低い 〔満足度〕で最も高い

：〔重要度〕で最も低い 〔重要度〕で最も高い

		生活環境や安全・安心			環境保全				教育・スポーツ・文化 ・国際交流		
		11. 地域での防犯 対策	12. 消防・救 急体制	13. 自然災 害などに 対する 防災体 制	14. 然環境 の保全	15. 騒音・振 動・悪臭 などの公 害防止	16. 地球環 境の保 全に対 する取 り組み	17. ごみの 収集・リ サイクル	18. 生涯学 習の情 報や機 会の提 供	19. 小・中学 校の教 育環境	20. 障がい のある児 童など の教育 環境
全体 (1228名)	満足度	-0.11	0.11	-0.05	0.18	-0.39	-0.05	0.22	0.06	-0.08	-0.13
	重要度	1.07	1.24	1.17	0.98	1.13	0.99	1.20	0.50	1.06	0.95
地区1 (54名)	満足度	-0.08	0.10	-0.04	0.43	-0.31	0.06	0.22	-0.02	-0.28	-0.23
	重要度	1.08	1.04	1.08	1.02	1.12	0.94	1.24	0.49	1.04	0.87
地区2 (142名)	満足度	0.01	0.22	-0.05	0.30	-0.08	0.14	0.45	0.05	0.13	-0.05
	重要度	1.14	1.32	1.25	1.07	1.14	0.98	1.26	0.53	1.05	1.00
地区3 (71名)	満足度	-0.20	-0.02	-0.27	0.31	-0.12	-0.08	0.07	0.17	-0.11	-0.21
	重要度	1.16	1.28	1.23	1.08	1.09	1.11	1.25	0.55	1.05	1.00
地区4 (33名)	満足度	-0.36	-0.07	-0.14	-0.07	-0.55	-0.25	0.03	-0.22	-0.08	-0.21
	重要度	0.72	1.00	0.96	1.08	1.00	0.74	1.11	0.23	0.68	0.69
地区5 (63名)	満足度	-0.12	0.23	0.08	0.34	-0.44	-0.07	0.26	0.22	-0.02	-0.10
	重要度	0.98	1.15	1.10	0.75	1.20	0.81	1.17	0.51	1.07	1.05
地区6 (65名)	満足度	0.05	0.13	-0.03	0.21	-0.55	-0.03	0.23	-0.05	-0.10	-0.16
	重要度	0.89	1.13	0.98	0.93	1.10	0.95	1.07	0.55	1.03	0.85
地区7 (126名)	満足度	0.04	0.31	-0.01	0.22	-0.12	0.04	0.49	0.16	0.07	0.03
	重要度	1.17	1.30	1.21	1.01	1.08	1.09	1.31	0.57	1.11	0.96
地区8 (101名)	満足度	-0.14	-0.24	-0.17	0.20	-0.22	-0.15	0.03	-0.02	-0.29	-0.16
	重要度	1.15	1.35	1.24	0.93	1.02	1.00	1.17	0.47	1.29	1.03
地区9 (131名)	満足度	-0.16	0.05	-0.12	0.07	-0.57	-0.08	0.16	-0.02	-0.08	-0.18
	重要度	1.05	1.30	1.11	0.86	1.03	0.92	1.14	0.36	0.96	0.90
地区10 (126名)	満足度	-0.12	0.02	-0.02	0.03	-0.70	-0.05	0.17	0.09	-0.12	-0.15
	重要度	1.03	1.14	1.09	1.04	1.20	0.97	1.09	0.47	0.98	0.87
地区11 (126名)	満足度	-0.23	0.22	-0.16	0.04	-0.87	-0.20	0.07	-0.08	-0.26	-0.21
	重要度	1.17	1.24	1.34	1.08	1.32	1.08	1.28	0.54	1.23	1.04
地区12 (121名)	満足度	-0.15	0.20	0.15	0.23	-0.37	-0.03	0.30	0.18	0.01	-0.07
	重要度	1.04	1.31	1.23	0.92	1.26	0.98	1.30	0.57	1.06	1.00
地区13 (26名)	満足度	-0.32	0.00	-0.16	-0.25	-0.40	-0.40	-0.15	0.17	-0.28	-0.32
	重要度	0.53	0.53	0.79	0.85	0.79	0.84	1.00	0.26	0.80	0.78
地区14 (16名)	満足度	0.00	-0.08	0.23	0.00	-0.45	0.00	-0.14	0.10	0.22	-0.11
	重要度	1.18	1.67	1.46	1.27	1.18	1.27	1.15	0.90	1.22	1.50
地区15 (22名)	満足度	0.23	0.29	0.14	0.62	0.38	0.23	0.29	0.23	0.00	-0.05
	重要度	0.91	1.24	1.05	0.81	0.81	0.90	1.10	0.38	0.62	0.67

：〔満足度〕で最も低い 〔満足度〕で最も高い

：〔重要度〕で最も低い 〔重要度〕で最も高い

		教育・スポーツ・文化・国際交流					都市環境や都市基盤の整備				
		21. 芸術文 化活動 の促進	22. 文化財 や史跡 の伝承 保存	23. スポーツ 活動の 推進	24. 青少年 の健全 育成	25. 国際交 流・都市 間交流	26. 公園や 緑地の 整備	27. 公営住 宅環境 の整備	28. 上下水 道の整 備	29. 道路や 歩道の 除排雪	30. 道路の 整備
全体 (1228名)	満足度	-0.01	0.03	0.09	-0.01	0.11	0.33	0.08	0.47	-0.59	-0.08
	重要度	0.37	0.41	0.45	0.77	0.38	0.77	0.45	0.80	1.39	0.80
地区1 (54名)	満足度	-0.02	-0.06	0.00	0.00	-0.14	0.59	0.17	0.60	-0.02	0.06
	重要度	0.37	0.45	0.39	0.82	0.43	0.71	0.34	0.75	1.19	0.85
地区2 (142名)	満足度	-0.01	0.02	0.24	0.04	0.18	0.53	0.13	0.57	-0.51	0.13
	重要度	0.49	0.42	0.52	0.82	0.40	0.87	0.50	0.89	1.46	0.89
地区3 (71名)	満足度	-0.08	0.00	0.05	-0.05	0.10	0.32	0.12	0.52	-0.46	-0.17
	重要度	0.43	0.55	0.49	0.78	0.35	0.83	0.49	0.86	1.34	0.97
地区4 (33名)	満足度	-0.11	-0.07	0.04	-0.21	0.11	0.07	0.04	0.36	-0.13	-0.17
	重要度	0.19	0.31	0.15	0.58	0.42	0.68	0.30	0.71	1.03	0.76
地区5 (63名)	満足度	0.03	0.05	0.03	-0.02	0.20	0.21	0.02	0.48	-0.57	-0.14
	重要度	0.33	0.32	0.38	0.77	0.41	0.80	0.61	0.83	1.42	0.80
地区6 (65名)	満足度	-0.15	-0.05	0.02	-0.03	0.03	0.25	0.12	0.40	-0.85	-0.08
	重要度	0.36	0.37	0.34	0.64	0.29	0.71	0.24	0.75	1.48	0.88
地区7 (126名)	満足度	0.01	0.10	0.18	0.05	0.20	0.39	0.05	0.48	-0.54	-0.04
	重要度	0.29	0.40	0.46	0.79	0.41	0.76	0.52	0.92	1.46	0.81
地区8 (101名)	満足度	-0.06	0.05	0.00	-0.07	0.08	0.12	0.04	0.44	-0.94	-0.13
	重要度	0.36	0.49	0.52	0.76	0.24	0.94	0.24	0.72	1.56	0.79
地区9 (131名)	満足度	0.00	0.00	0.07	-0.07	0.06	0.26	0.02	0.52	-0.69	-0.07
	重要度	0.29	0.28	0.38	0.66	0.32	0.66	0.38	0.68	1.27	0.66
地区10 (126名)	満足度	0.03	0.02	0.09	0.08	0.17	0.22	0.12	0.38	-0.62	-0.09
	重要度	0.30	0.35	0.39	0.71	0.26	0.69	0.44	0.69	1.30	0.55
地区11 (126名)	満足度	-0.01	0.02	0.07	-0.12	0.07	0.35	0.01	0.50	-0.60	-0.10
	重要度	0.42	0.48	0.52	0.85	0.43	0.75	0.46	0.81	1.41	0.86
地区12 (121名)	満足度	0.05	0.07	0.18	0.10	0.10	0.42	0.12	0.43	-0.63	-0.13
	重要度	0.41	0.46	0.52	0.86	0.54	0.79	0.59	0.80	1.43	0.82
地区13 (26名)	満足度	0.00	0.00	-0.11	-0.16	0.11	0.05	0.11	-0.16	-0.95	-0.71
	重要度	0.21	0.11	0.37	0.58	0.53	0.47	0.26	0.74	1.15	0.90
地区14 (16名)	満足度	0.11	0.11	0.22	0.11	0.11	0.27	-0.20	-0.11	0.17	0.18
	重要度	0.80	0.80	0.70	1.20	0.60	0.55	0.70	1.20	1.42	1.09
地区15 (22名)	満足度	0.05	0.05	-0.14	0.00	0.14	0.71	0.25	0.67	-0.27	0.00
	重要度	0.33	0.57	0.62	0.81	0.48	0.86	0.85	0.71	1.25	0.76

：〔満足度〕で最も低い 〔満足度〕で最も高い
：〔重要度〕で最も低い 〔重要度〕で最も高い

		都市環境や都市基盤の整備		産業の振興							市民参加や市民協働		
		31. バスの利用のしやすさ	32. 市街地の整備やまちの景観の向上	33. 日常の買い物環境	34. 中心市街地のにぎわいづくり	35. 農業の振興	36. 企業誘致や企業活動の支援	37. 光科学技術などの高度技術産業	38. 観光都市としての魅力づくり	39. 働く場の確保	40. 広報誌やホームページ等の情報提供	41. 市民と行政の協働のまちづくり体制	42. 窓口対応や窓口サービスの提供
全体 (1228名)	満足度	-0.53	-0.09	0.07	-0.58	-0.06	0.04	0.09	-0.39	-0.54	0.33	0.00	0.02
	重要度	0.89	0.60	0.85	0.68	0.78	0.74	0.45	0.80	1.31	0.65	0.68	0.99
地区1 (54名)	満足度	-0.42	-0.16	-0.22	-0.31	0.02	0.10	0.10	-0.21	-0.23	0.37	0.16	0.23
	重要度	0.92	0.60	0.96	0.67	0.68	0.65	0.40	0.58	0.98	0.71	0.69	0.96
地区2 (142名)	満足度	-0.79	-0.08	-0.49	-0.59	-0.01	0.17	0.11	-0.39	-0.46	0.39	-0.04	0.07
	重要度	1.14	0.61	1.11	0.68	0.72	0.89	0.46	0.80	1.44	0.74	0.72	1.00
地区3 (71名)	満足度	-0.43	-0.18	-0.01	-0.75	-0.17	0.14	0.05	-0.54	-0.49	0.39	-0.07	-0.02
	重要度	0.88	0.78	0.91	0.84	0.88	1.02	0.64	1.05	1.29	0.83	0.87	1.11
地区4 (33名)	満足度	-0.68	-0.25	0.07	-0.73	-0.21	-0.14	-0.26	-0.50	-0.69	-0.07	-0.32	-0.14
	重要度	0.66	0.44	0.69	0.86	0.70	0.52	0.33	0.74	1.07	0.31	0.48	0.71
地区5 (63名)	満足度	-0.37	0.02	0.12	-0.59	-0.02	0.04	0.07	-0.36	-0.57	0.33	0.08	0.03
	重要度	0.88	0.59	0.86	0.65	0.68	0.58	0.59	0.93	1.29	0.49	0.72	0.97
地区6 (65名)	満足度	-0.73	0.03	0.16	-0.72	0.00	0.15	0.11	-0.52	-0.62	0.43	0.00	0.05
	重要度	0.83	0.42	0.75	0.81	0.63	0.85	0.46	0.76	1.46	0.61	0.71	1.18
地区7 (126名)	満足度	-0.45	-0.09	0.13	-0.46	-0.09	-0.03	0.11	-0.28	-0.55	0.42	0.03	0.03
	重要度	0.81	0.70	0.83	0.68	0.94	0.72	0.44	0.87	1.43	0.60	0.68	1.05
地区8 (101名)	満足度	-0.64	-0.06	-0.10	-0.52	-0.03	-0.08	0.03	-0.44	-0.53	0.27	0.02	-0.03
	重要度	0.82	0.48	1.01	0.51	0.73	0.81	0.39	0.82	1.38	0.59	0.66	0.98
地区9 (131名)	満足度	-0.52	-0.06	0.23	-0.70	-0.10	-0.02	0.10	-0.45	-0.53	0.25	-0.01	0.06
	重要度	0.77	0.42	0.75	0.62	0.81	0.64	0.40	0.65	1.20	0.50	0.49	0.86
地区10 (126名)	満足度	-0.49	-0.21	0.15	-0.57	0.02	0.15	0.18	-0.35	-0.47	0.32	0.04	-0.09
	重要度	0.70	0.54	0.62	0.68	0.63	0.59	0.32	0.65	1.18	0.63	0.58	0.95
地区11 (126名)	満足度	-0.32	-0.14	0.52	-0.61	-0.06	-0.08	0.07	-0.51	-0.77	0.32	-0.08	-0.04
	重要度	0.88	0.71	0.91	0.70	0.86	0.82	0.50	0.83	1.38	0.74	0.69	1.15
地区12 (121名)	満足度	-0.40	-0.03	0.31	-0.44	-0.04	0.01	0.12	-0.28	-0.48	0.31	0.07	0.11
	重要度	1.03	0.71	0.68	0.70	0.79	0.76	0.50	0.83	1.37	0.74	0.81	0.95
地区13 (26名)	満足度	-1.05	-0.37	-0.30	-0.70	-0.55	0.05	-0.21	-0.30	-0.65	0.16	-0.15	-0.25
	重要度	0.95	0.55	0.60	0.65	1.05	0.37	0.47	0.58	1.16	0.53	0.70	0.79
地区14 (16名)	満足度	-0.33	0.36	0.33	-0.10	-0.33	0.10	0.11	0.10	-0.27	0.36	-0.09	0.17
	重要度	1.00	0.67	0.58	0.60	1.64	1.00	0.80	1.00	1.18	0.73	0.73	1.08
地区15 (22名)	満足度	-1.00	-0.14	-0.62	-0.64	-0.05	0.00	0.16	-0.33	-0.43	0.65	0.05	0.18
	重要度	1.23	0.67	1.00	0.55	0.58	0.63	0.37	1.29	1.14	0.75	0.67	0.82

：〔満足度〕で最も低い 〔満足度〕で最も高い

：〔重要度〕で最も低い 〔重要度〕で最も高い

(2) 今後のまちづくりで特に重要なもの

上の全項目(42項目)の中で、今後、千歳市のまちづくりにおいて、特に重要だと思ふ項目については、ほとんどの地区で「3.病院・診療所などの医療環境」を1位にあげていますが、築13では「29.道路や歩道の除排雪」と「39.働く場の確保」(同率)、地区14では「35.農業の振興」(「無回答」も同率)を、それぞれあげています。

問1-(2) まちづくりで特に重要なこと(5つまで選択/上位5位)

選択肢の下段の数字は%

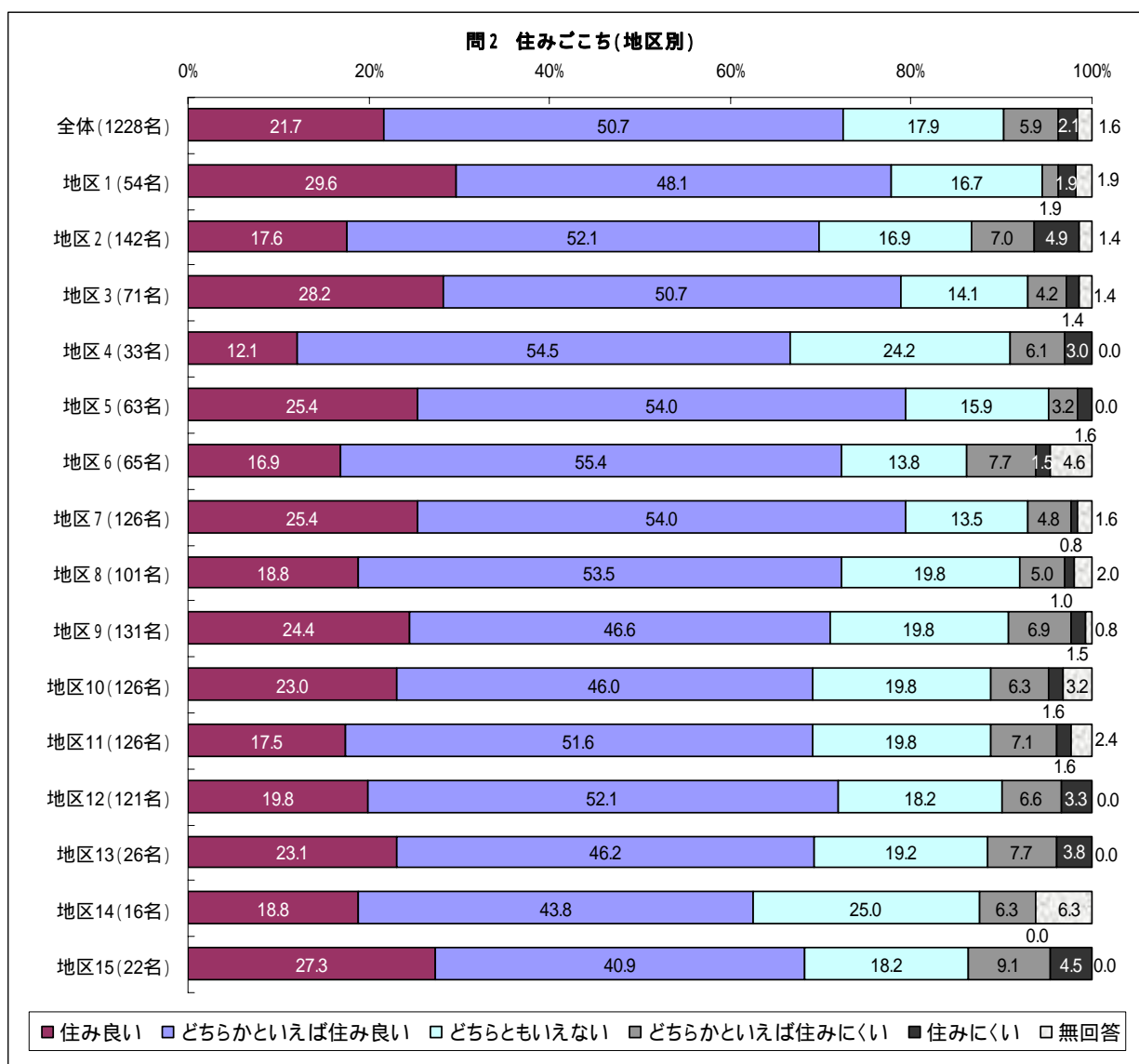
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (1228名)	3.病院・診療所などの医療環境 56.5	29.道路や歩道の除排雪 34.9	39.働く場の確保 30.9	1.子育ての環境や支援 29.3	19.小・中学校の教育環境 18.5
地区1 (54名)	3.病院・診療所などの医療環境 48.1	1.子育ての環境や支援 35.2	29.道路や歩道の除排雪 25.9	13.自然災害などに対する防災体制 22.2	19.小・中学校の教育環境 20.4
地区2 (142名)	3.病院・診療所などの医療環境 69.7	29.道路や歩道の除排雪 35.2	39.働く場の確保 30.3	33.日常の買い物環境 25.4	1.子育て環境 31.バスの利用 24.6
地区3 (71名)	3.病院・診療所などの医療環境 53.5	39.働く場の確保 32.4	1.子育ての環境や支援 28.2	29.道路や歩道の除排雪 26.8	34.中心市街地のにぎわいづくり 23.9
地区4 (33名)	3.病院・診療所などの医療環境 45.5	39.働く場の確保 30.3	1.子育ての環境や支援 27.3	13.自然災害などに対する防災体制 38.観光都市としての魅力づくり 24.2	
地区5 (63名)	3.病院・診療所などの医療環境 54.0	39.働く場の確保 34.9	29.道路や歩道の除排雪 31.7	1.子育ての環境や支援 15.騒音・振動・悪臭などの公害防止 25.4	
地区6 (65名)	3.病院・診療所などの医療環境 58.5	29.道路や歩道の除排雪 36.9	39.働く場の確保 33.8	1.子育ての環境や支援 27.7	19.小・中学校の教育環境 26.2
地区7 (126名)	3.病院・診療所などの医療環境 54.8	29.道路や歩道の除排雪 38.1	39.働く場の確保 34.9	1.子育ての環境や支援 26.2	4.高齢者の自立支援 23.8
地区8 (101名)	3.病院・診療所などの医療環境 64.4	1.子育ての環境や支援 35.6	39.働く場の確保 34.7	19.小・中学校の教育環境 33.7	29.道路や歩道の除排雪 32.7
地区9 (131名)	3.病院・診療所などの医療環境 55.0	29.道路や歩道の除排雪 45.0	1.子育ての環境や支援 33.6	39.働く場の確保 31.3	31.バスの利用のしやすさ 22.9
地区10 (126名)	3.病院・診療所などの医療環境 62.7	29.道路や歩道の除排雪 35.7	1.子育ての環境や支援 31.7	15.騒音・振動・悪臭などの公害防止 26.2	39.働く場の確保 24.6
地区11 (126名)	3.病院・診療所などの医療環境 57.9	29.道路や歩道の除排雪 41.3	39.働く場の確保 32.5	1.子育ての環境や支援 30.2	15.騒音・振動・悪臭などの公害防止 27.8
地区12 (121名)	3.病院・診療所などの医療環境 52.1	29.道路や歩道の除排雪 33.1	1.子育ての環境や支援 39.働く場の確保 30.6		15.騒音・振動・悪臭などの公害防止 25.6
地区13 (26名)	29.道路や歩道の除排雪 39.働く場の確保 34.6		3.病院・診療所などの医療環境 30.8	1.子育ての環境や支援 4.高齢者の自立支援 35.農業の振興 26.9	
地区14 (16名)	35.農業の振興/無回答 37.5		12.消防・救急体制 29.道路や歩道の除排雪 31.3		3.病院・診療所などの医療環境 25.0
地区15 (22名)	3.病院・診療所などの医療環境 45.5	31.バスの利用のしやすさ 31.8	4.高齢者の自立支援/14.自然環境の保全 33.日常の買い物/38.観光都市づくり 27.3		

(3) 住みごころ

「住み良い」が最も高いのは地区1(29.6%)で、以下、地区3(28.2%)、地区15(27.3%)が続いています。

「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせた肯定的な回答の合計は、地区5と地区7が同率(79.4%)で最も高く、地区3(78.9%)、地区1(77.8%)、地区6と地区8(同率で72.3%)、地区12(71.9%)、地区9(71.0%)が続き、以上の8地区が70%をこえています。

一方、「住みにくい」が最も高いのは地区2(4.9%)で、地区15(4.5%)が続いています。「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた否定的な回答は、地区15(13.6%)で最も多く、地区2(12.0%)、地区13(11.5%)の合計3地区で10%をこえています。

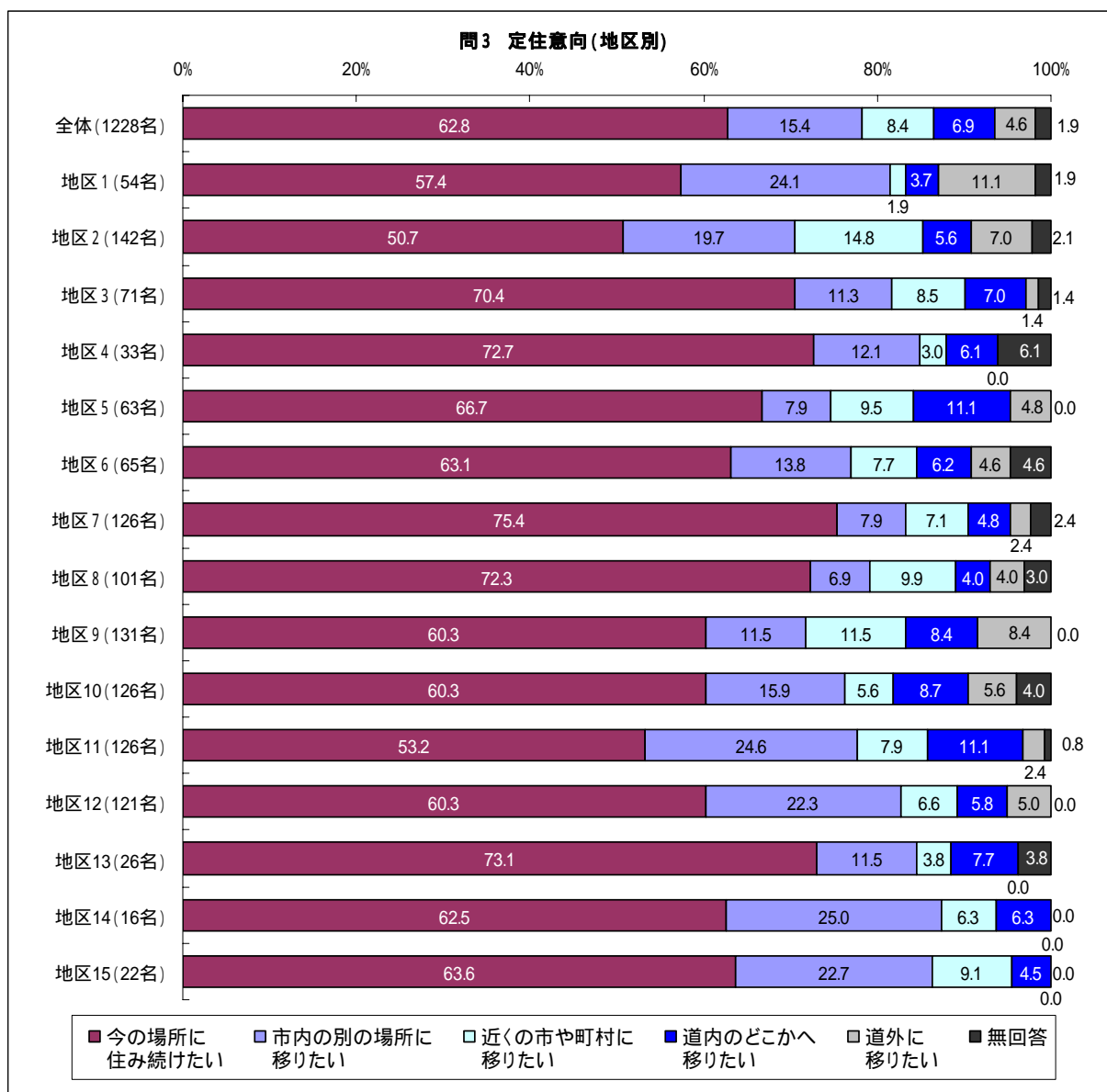


(4) 定住意向

「今の場所に住み続けたい」は、地区7(75.4%)で最も高く、以下、13(73.1%)、地区4(72.7%)、地区8(72.3%)が続いています。

一方、「近くの市や町村」「道内のどこか」「道外」などの転居希望の合計が高かった地区は、地区9(28.2%)を最高に、地区2(27.5%)、地区5(25.4%)、地区11(21.4%)が続き、以上の4地区が20%をこえています。

また、地区1、地区11、地区12、地区14、地区15では「市内の別の場所に移りたい」が20%をこえています。



(5) 参加したいまちづくり活動

多くの地区で「生活のムダをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」を1位にあげていますが、地区3は「交通安全・防災・防犯活動」、地区7は「リサイクル活動や省資源活動」と「福祉ボランティア活動」を同率で、地区13は「花いっぱい活動や清掃活動」と「リサイクル活動や省資源活動」を同率で、地区14は「福祉ボランティア活動」、地区15は「自然保護・愛護活動」を、それぞれ1位にあげています。

「生活のムダをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」は地区4と地区11で、特に高くなっています。

「まちの良さを高める活動」は地区14・15の回答率が高く、他の地域と比べて差がめだちます。

問11 参加したいまちづくり活動（地区別）

選択肢の下段の数字は%

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (1228名)	リサイクルや省資源 44.7	福祉ボランティア 35.7	交通安全・防災・防犯 34.0	花いっぱいや清掃 33.1	自然保護・愛護 27.7
地区1 (54名)	リサイクルや省資源 37.0	花いっぱいや清掃 35.2	自然保護・愛護 33.3	福祉ボランティア/児童・青少年の育成 イベント 27.8	
地区2 (142名)	リサイクルや省資源 46.5	花いっぱいや清掃 福祉ボランティア 37.3		イベント 27.5	健康なまちづくり 交通安全・防災・防犯 25.4
地区3 (71名)	交通安全・防災・防犯 39.4	花いっぱいや清掃 リサイクルや省資源 38.0		福祉ボランティア 32.4	自然保護・愛護 イベント 23.9
地区4 (33名)	リサイクルや省資源 54.5	イベント 36.4	花いっぱいや清掃 33.3	福祉ボランティア 30.3	健康なまちづくり 交通安全・防災・防犯 27.3
地区5 (63名)	リサイクルや省資源 46.0	花いっぱいや清掃/福祉ボランティア 交通安全・防災・防犯 39.7			児童・青少年の育成 31.7
地区6 (65名)	リサイクルや省資源 38.5	イベント 36.9	福祉ボランティア 33.8	交通安全・防災・防犯 30.8	健康なまちづくり 29.2
地区7 (126名)	リサイクルや省資源 福祉ボランティア 41.3		交通安全・防災・防犯 31.7	自然保護・愛護 30.2	健康なまちづくり 28.6
地区8 (101名)	リサイクルや省資源 37.6	イベント 35.6	花いっぱいや清掃 34.7	児童・青少年の育成 33.7	健康なまちづくり 29.7
地区9 (131名)	リサイクルや省資源 46.6	交通安全・防災・防犯 40.5	福祉ボランティア 38.2	花いっぱいや清掃 30.5	自然保護・愛護 29.0
地区10 (126名)	リサイクルや省資源 49.2	交通安全・防災・防犯 39.7	福祉ボランティア 32.5	花いっぱいや清掃 31.7	自然保護・愛護 児童・青少年の育成 25.4
地区11 (126名)	リサイクルや省資源 54.8	交通安全・防災・防犯 40.5	福祉ボランティア 35.7	花いっぱいや清掃 34.1	イベント 28.6
地区12 (121名)	リサイクルや省資源 44.6	福祉ボランティア 43.0	交通安全・防災・防犯 38.0	自然保護・愛護 32.2	花いっぱいや清掃 30.6
地区13 (26名)	花いっぱいや清掃 リサイクルや省資源 42.3		交通安全・防災・防犯 34.6	自然保護・愛護 児童・青少年の育成 30.8	
地区14 (16名)	福祉ボランティア 50.0	まちの良さを高める 43.8	花いっぱいや清掃 児童・青少年の育成 37.5		自然保護・愛護/リサイ クルや省資源/交通安 全・防災・防犯/イベ ント 31.3
地区15 (22名)	自然保護・愛護 50.0	リサイクルや省資源 45.5	イベント まちの良さを高める 36.4		児童・青少年の育成 31.8

資料

1 自由記載

【問13】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、以下にご記入ください。

(1) 保健・医療・福祉について

関連する施策項目	意見内容	回答数
福祉全般	医療、福祉、介護、健康予防に重点を置いたまちづくりをしてほしい。	1
	医療環境の充実(出産できる場所、入院できる場所)、高齢者をサポートできる環境(ハード面・ソフト面合わせ)の充実をしてほしい。	1
	子育てと、障がい児(者)高齢者の相談窓口や施設等の整備	1
子育て支援	安心して子供を産める・育てられる環境の整備	7
	子育て支援の充実	6
	子育てしやすい環境の充実	3
	子育て後の働く場の確保。転入者等に対する相談・連絡窓口などの設置。	1
	出産手当などの施策。	1
	子育て支援として、3人目については養育費の負担を減らすなどの施策を行ってほしい。	1
	保育施設の充実。	2
	保育園の料金を下げて欲しい。	1
	仕事に出る時に預かってくれる保育施設を作してほしい。	1
	引越してきて、保育園の空きが無くて困った。	1
	真々地保育所を建てなおしてほしい。冬でも小さい子供が暖かく走り回れるドームの様な建て物があればいいと思う。	1
	今は土・日・祝日・お盆・年末年始でも休みのない仕事が多いので、365日対応の保育施設がほしい。	1
	3月末の慣らし保育の受け入れをしてほしい。	1
	保育園の職員の正規雇用を増員してほしい。	1
	子供達が安全に生活できるようにしてほしい。母子家庭にもっと優しくしてほしい。	1
	広報等で、育児に関する事や(手当制度)病院等の事(特に手当等)定期的に教えてほしい。	1
	初心者にも参加しやすい子育てサークルの実施。	1
	子育てサロンが月に2回というのはちょっと少ないと思います。週に1回はそのような場があると助かります。	1
児童館の整備	1	
実際に子育てしている人の意見をもっと聞いてほしい。	1	
「思う心」を育てることが大事。将来支えていく子供達にも上手に人とふれ合える機会を沢山作ってほしい。	1	
医療	産婦人科の充実	64
	医療機関(市民病院を含む)の充実(医師等の資質の向上など)	22
	小児科の充実。(夜間・休日診療など)	8
	市民病院のサービス向上をお願いしたい。(職員の方の対応、時間等)	4
	夜間診療の充実	3
	各種検診に対する医療助成	1
	子供の医療費助成の年齢の延長	2
	子供や乳幼児への予防接種の助成	2
	支笏湖診療所の充実	1
	医師の確保問題の情報を開示すべき。	1
	病院・治療院などの紹介体制の充実。	1

関連する 施策項目	意見内容	回答数
医療	医療機関の情報(病院の位置、内容、レディース・人間ドックの対応など)がわかるようにしてほしい。	1
	医療機関の充実(産科医や救急医体制)に取り組んでほしい。子供から高齢者まで安心して暮らせるまちづくり。これが一番大切だと思う。	1
	夜間・休日の救急医療の体制づくり	3
	医療と福祉の充実をしてほしい。	1
高齢者福祉	保健、医療、高齢者福祉(70才以上)の充実	1
	高齢者への医療の充実	2
	老後も安心して暮らせるよう病院の充実、市民交流の強化	1
	老人ホーム及び医療機関の充実	1
	安く利用できる介護施設や病院の救急体制の整備	1
	グループホームや介護施設の整備。	1
	高齢者に対する、税金、医療費負担金等の減額	1
	高齢者福祉の充実	15
	高齢者施設の充実	3
	高齢者の自立支援	1
	高齢者の冬の生活の安心の向上。	1
	高齢者の生きがいづくり	1
	高齢化が住みやすいまちづくり。	1
	弱者への気配りをすべき	1
	高齢者福祉券の内容・対象を多様化してほしい	1
高齢者用住宅の充実。	1	
障がい者福祉	障がい者福祉の充実	2
	障がいのある人の生活支援、教育環境の充実	1
	障がい者の就職の支援	1
	小規模な福祉団体に対する支援やアドバイスをしてほしい。	1
	障がいのある人の立場に立った施設の整備	1
社会保障・支援	適切な社会保障・支援の実施(生活保護、障がい者支援など)。本当に必要な人に支払うべき。	3
	低所得者に対する支援の充実	1

(2) 生活環境や安全・安心について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
ボランティア	ボランティア活動をしやすい環境の整備	4
	福祉ボランティア活動の促進	1
コミュニティ	同世代の人々の交流できる環境を充実してほしい。	1
	転入者にも、すぐに溶け込めるような環境づくりをすべき。	1
	転入者にも親切にしてほしい	1
	町内会その他の地域活動のあり方を検討すべき。(役職が固定化されている)	1
	町内会活動などの募金の使途が分かりづらい	1
	町内会等の活動を期待します。	1
	人と人とのかかわりあいの大切さを大事にするまちづくりをすべき	1
	行政だけでなく市民全体での助け合い運動の推進。	1
挨拶運動の推進。	1	
交通安全	交通安全施設の設置	4
	千歳JRの交差点をスクランブルにしてほしい。	1
	運転マナーの向上	1
	交通安全の推進	3
防犯・防災 ・救急	防犯対策の充実・強化	5
	子供達の安全(不審者への警戒)。	1
	治安が悪化していると感じる	1
	街灯が少ない。	1
	防災施設・体制の充実	3
	防災放送の充実(個別受信機の整備など)	1
	地震予知情報等の周知方法の検討をしてほしい	1
消防・救急体制の充実	3	

(3) 環境保全について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
自然の保全	自然環境の保全	13
	豊かな自然を活かすまちづくり	2
	緑の保全	2
	緑化の推進	2
	「蛸の里」ができれば良い。	1
	川や生物を守るため、川での警備、清掃を重点的にしてほしい。	1
	小学生や幼児が安心して遊べる水辺の整備	3
	千歳川の整備	2
	千歳川を活用したまちづくり、環境整備	2
	千歳の水環境の保全	1
騒音対策	航空機の騒音対策をしてほしい。	12
	防音工事の対象・範囲を拡充してほしい。	6
	自衛隊機の飛行時間の見直し・制限をしてほしい。	2
	移転跡地の有効活用について防衛省と協議してほしい。	1
エコロジー	ソーラーパネルの設置(病院、学校、公共施設など)	2
	環境対策の推進(CO2の削減)	1
	マイ箸の持参を推進すべき。	1
	職員もコンビニでビニール袋やはしを「ノー」と云って下さい。	1
ごみ	ゴミのないまちにしてほしい	2
	ゴミの減量化	1
	生ゴミの堆肥化	1
	ごみの集積場所の整備	1
	ゴミ集積所に回収ボックス等を設置(または助成)してほしい	4
	ゴミの分別の指導を徹底してほしい。	3
	ゴミの分別を細分化し、あちこちにゴミ箱を置いてほしい。	1
	木々の落ち葉の回収も行うべきである。	1
	ゴミのポイ捨てに対する対策を推進してほしい。	2
	ゴミの不法投棄に対する取締りを強化してほしい。	1
	ゴミの収集について各町内会への指導徹底してほしい。	1
	ボランティアを募り徹底し、道路の徹底ごみ収集の実施	1
	ゴミ収集を夜中にしてほしい。	1
	家庭用ゴミの有料化を改善してほしい。	1
ゴミの分別の再検討をしてほしい。	1	
千歳川の清掃活動の推進	1	
リサイクル	リサイクル活動の推進	4
	資源物の収集の推進	3
	町内などに資源物をいつでも保管できる場所を設置してほしい。	1
	ゴミのリサイクル・分別をこまかく書かれたものがあると楽になります。	1
	もっとリサイクルなどのお祭りを増やして欲しい。	1
リサイクルセンターにおける女性や高齢者などの活用(ボランティアを含む)	1	
公共マナー	ペットの散歩におけるマナーやペットのフンの放置等への対策をしてほしい。	4
	公園は動物禁止にしてほしい。	1
	ペットのマナーを向上してほしい。	1
	しっかりとルールを教え、悪い事は悪い事としっかり教育する体制が必要です。人のいたみがわかるまちになってほしいです。	1
	ゴミのポイ捨ての多さとマナーの悪さに驚きました。	1
1人1人がマナーを守れる町にほしい	2	

(4) 教育・スポーツ・文化・国際交流について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
生涯学習	広報に載っている催しは、大体が土曜日なので参加したくてもできない。もう少し働く者にも目を向けて、開催日時等を検討してほしい。	1
	公民館教室などは、公民館は遠く、車がないと参加しにくい。もっと、利用できるよう、文化センターでの教室をふやしてほしい。	1
	高齢者の学習の機会があっても、交通費がかかる。	1
	ボランティアでヘルパーを(自分達の住む地域内で)するための学習の機会をつくってほしい。	1
	市、スポーツセンター、武道館、スイミングセンター等で行なわれる諸行事等を広報で知らせてほしい。	1
図書館	図書館の駐車場が足りない。	1
	幼児や子どもには図書館の坂を上るのはきつい。	1
学校教育	学習環境の充実	2
	学校施設の整備	2
	教育レベルの向上	2
	学校の設置、教育の充実、将来を担う子供教育に力を入れてほしい	1
	高校生、大学生などの学生には、もっと奨学金をあげたり、下宿料、通学費の援助なども考えてほしい。	1
	小中学校について、中途半端に存続しないで統廃合するか、行きたい学校を選べるとか見直してほしい。	1
	教育環境の充実、市立中高一貫校の設立	1
	各小学校・中学校にプールを設置してほしい。	1
	学校の先生の質の向上。	1
	支笏湖小学校に里親制度を導入してほしい	1
	食物アレルギー対策として、学校給食に代替食が出来るようにしてほしい。	1
	全小中学校に特別支援学級を設置してほしい。	1
	高等養護学校を設置してほしい	4
札幌まで出なくても済むような専門的な学校があれば良い。	1	
科学技術大学の実績をあげて、子供たちにとって目標のある街をめざす。	1	
文化施設・ 文化財など	市民文化センターの有効利用と芸術文化活動の促進	3
	市民ギャラリーの使用料金が高い。	1
	市民会館での催物での飲食の禁止と主催者によるゴミの収集・持ち帰りを実施してほしい。	1
	文化祭の出展物を見直してほしい。	1
	千歳には映画館や美術館がなく、文化や芸術に触れる機会が少ない。	1
	文化財や史跡などを活用してほしい。歴史などを市民が身近に見る事ができるような工夫をしてほしい。文化面に対してもっと力を入れてほしい。	1
	郷土資料館を整備してほしい	1
	貴重な遺跡や豊かな自然に千歳は非常に恵まれているが、案外それを知られていないので、現状より更にその点に関心を置き、大切に広めていくべき。	1
大量の文化財を整理し活用すべき。	1	
スポーツ	スポーツ施設等の整備(パークゴルフ場、ナイター設備のある野球場、スキー場)	3
	パークゴルフの無料化	2
	年末年始にスポーツセンターや武道館等をもっと利用できるようにしてほしい	1
	スポーツ施設の効率的な運用	1
	スポーツクラブを増してほしい。	1
	これからも子供達とのスポーツ交流等の行事など企画してほしい。	1
	スポーツを通したまちづくりの推進	1
	スポーツ団体、プロのチームの合宿(キャンプ)などを積極的に誘致すべき。	1
	スポーツ活動・イベント等の充実	1

関連する 施策項目	意見内容	回答数
青少年	青少年が健全に育ち、心がやさしい人間になり、皆が平和に暮らす事が出来れば良いと思います。	1
	青少年にはあいさつの出来る大人になってもらいたい。お年寄との交流や生き物(小動物、虫)に接する等そういう事をもっと増やし、心を育ててほしい。	1
	道路などでの学生のマナーを向上してほしい	1
国際交流	本当の意味での国際交流や国際化を推進すべき。	1
	国際交流に関連した事をもっとやってほしい。	1
	外国人留学生の積極的な受け入れと態勢の整備。加えて外国人労働者の受け入れのための研究を進め、将来の外国人労働者受け入れをスムーズにする。	1
	道内観光の出入口であることを活用して、国際会議や国際交流の場となるような行事を積極的に誘致すべき。	1

(5) 都市環境や都市基盤の整備について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
公園	公園の整備。子供の遊ぶ場所の整備。	5
	子供から老人まで楽しめる魅力的な公園・場所を整備してほしい。(札幌のモエレ沼公園や八雲町のハーベスト八雲のような)	3
	幼児でも遊べるような公園遊具を整備してほしい	1
	子供(幼児を含めて)と家族と一緒に楽しめるような公園の整備をしてほしい	1
	小さい子供も遊べる遊園地など近くにあってほしい。	1
	青葉公園に小動物等の公園もつくり、子供達が集える場にしてほしい。	1
	雨天や冬でも遊べる室内遊具場があればいい。	1
	グリーンベルトを整備し、子供が遊べるような場にしてほしい。	1
	グリーンベルト公園の活用	1
	JR駅下をアンダーパス化しJR東西側の通りをスムーズにしてほしい。グリーンベルトの活用を考えてほしい。	1
	駅前の周辺に人が集まれそうな公園を整備してほしい	1
	緑を基調としたまちづくり。公園、テーマパーク(植物園・動物園など)などを検討してほしい	1
	千歳川沿いに大きな公園、芝生でいろんなイベントができる(花見、花火大会、夏まつり、など)ものをつくるべき。	1
	千歳湖(科学技術大学そば)を、水と森の公園として整備すべき。	1
	清流千歳川を含めて、水、花、緑を配した本格的な素晴らしい公園計画を考えてほしい。	1
	青葉公園の自然を活かしながら、乳幼児やお年寄りが行きやすくなるように少しだけ整備してほしい。	1
	バスケットゴールのある公園を増やしてほしい。	1
	公園への入口整備。段差があり車イス、障害者等への配慮が欠けている(トイレも含め)	1
	公園等の整備の後のメンテナンス含め清掃等しっかりとしてほしい。	1
	これからもきれいな公園を維持してほしい。	1
秋になると公園の木々からの落葉で道路がうめつくされ、排水溝を塞いでいる。適切に緑地の整備をしてほしい。	1	
公園の草が伸びすぎていて小さい子があそびにくくなっている公園が多い。公園整備の見直しをしてほしい。	1	
ほとんど使われていない公園や人気のない公園などは危なく感じる。(防風林は暗いこともある)	1	
パークゴルフ場が多すぎる。20代~40代向けの公園を作るべき。	1	
公園などを作りすぎている。	1	
市営住宅	高齢者を対象とした市営住宅をつくってほしい。	2
	適切な市営住宅の整備	1
	市営住宅にはお金をかけすぎている。	1
	古い市営住宅の統廃合を進め、その土地の有効活用を計って欲しい。	2
	古い市営住宅はどんどん撤去し、若い世代に条件(永住など)付きで安く売って欲しい。	1
	近い将来人口減少になるのに、なぜ市営住宅(高層)を立てるのかわからない。また、住宅地などの空地があるのになぜ新たな住宅地を造成するのかわからない。	1
上水道	水、美しい水、水道水をなんとしてでも千歳の水でまかなえるようにしてほしい。	1
除雪	除雪の充実	12
	除雪体制の充実	6
	駅前から国道の間の道路整備除排雪の充実	1
	大雪が降った時の除雪の優先順位を考え実行すべき。	1
	住宅街などにある細い道の整備や除雪を優先的におこなってほしい。	1
	除雪作業する時間帯を考えてほしい。登下校の小学生がいる時間帯は必ず警備員をつけてほしい。	1
	子供達の通学路の除雪は早めにしてほしい	1
	歩道の除雪は、子供達の登下校に間にあうようにしてほしい。	1

関連する 施策項目	意見内容	回答数
除雪	市内の除雪作業のバラつきをなくしてほしい。地域によっては、除雪が下手な所があり、第3者による評価があると良いと思う。	1
	道路を削った雪を家の前に置かれ、高く積もっていくので、信号機の周辺だけでも、先に排雪してほしい。	1
	冬期除雪方法が、運転者により仕方が違う。市の係員の巡廻をしてほしい。	1
	除雪の充実。只、回数をこなしている様な除雪で、何んのありがたみもない。かえって迷惑な業者も有る。事前の教育・指導を徹底し、実行を監督・指導してほしい。	1
	除雪の充実。片側だけに雪を山のように残したり玄関の出入口、車庫の前に除雪をする前より多くの雪の塊を置いて行ったりは他の市では無かった事なので公平な除雪をしてほしい。	1
	冬道のロードヒーティングが必要な場所の確認と実施。	1
	公園などに市民が利用できる融雪槽を作って、道路に敷地の雪を出すことを禁止すべき。	1
	除雪に苦情を言うだけでなく、市民も隣近所で助け合って協力すべき。	1
道路	道路の整備。	3
	国道36号線から南千歳東側へ直通でいける道路をつくってほしい。	1
	向陽台から青葉公園の中を通過して市内に入れるような道路をつくってほしい。	1
	向陽台と中心市街地を結ぶ道路をもう1本整備してほしい。	2
	高速道路または向陽台より直接支笏湖へ向う道路を整備してほしい。	1
	救急車などの緊急車両が通れるように道路整備をしてほしい。	1
	市道の維持管理は舗装の表面だけを見て判断せず定期的に補修等を行ってほしい。	1
	無駄な道路工事をなくしてほしい	2
	不要な道路を造るより今ある道路を整備すべき。	1
	新たな道路等は必要ない。	1
	千歳駅前の駐車場の混雑の改善をしてほしい。	1
	サーモン橋と根志越橋の間にもう1本橋をつけてほしい。	1
	自転車に乗っている人が安心して通れる道を作ってほしい。	1
	歩道の整備	5
バリアフリーの推進	2	
千歳川兩岸の遊歩道と川・道路との交差点の整備	1	
路上駐車対策をしてほしい	1	
バス	バスの本数を多くしてほしい。	7
	バスの利便の向上をしてほしい(時間、路線、停留所、料金など)	6
	バス路線を見直し・拡充してほしい。	4
	バス路線がまちの中心を通るようにしてほしい。	3
	バスの最終便をもう少し遅くしてほしい。	3
	バス路線が市役所を通るようにしてほしい。	2
	バス料金を安くしてほしい	2
	バスの停留所を改善してほしい	2
	高齢者向けに、市内の病院(もしくは医療機関)のみをバス停代わりとするような専用バスがあると、とても便利な街になると思う。	1
	高齢者向けに市民病院へ利便の良いバス路線を設定してほしい。	1
	ピーバスをもう少し本数を増やしてほしい。	1
	ピーバスの運行を改善し、駅前や市民病院などをターミナルとして交通体系の見直しを図り、マイカー、自転車、歩行以上に有効なバス交通を確立してほしい。	1
千歳駅のバスターミナルが使いづらい	1	
交通	公共交通機関の利便を向上してほしい(バス路線の新設や路面電車の検討など)	5
	新千歳空港を中心に、交通ネットワークを充実すべき	1
	航空自衛隊基地を移転し、千歳基地を民営化する。	1
	新千歳空港へ欧米路線の開設を促進する。	1
	苫小牧市と連携し、海空港湾機能を強化する。(場合によっては合併も考える)	1
	向陽台に駅を作ってはどうか。	1
	向陽台からの通勤者に交通費の助成など検討してほしい。	1

関連する 施策項目	意見内容	回答数
景観	都市景観の創出	2
	花植えなどして街の景観を向上してほしい。	4
	花の街づくりを推進してもらいたい。	2
	緑・花がたくさんあって、心を豊かに、うるおいのあるまちづくりをすべき。	1
	千歳駅前の花壇を花でかざしてほしい。	1
	空港から市街地を結ぶ周辺を四季の花木により整備し景観を向上すべき。	1
	ゴミなどをなくし、花や景観は大切にすべき。	1
	街の景観の向上の一案として、のぼりを廃止してほしい。豊かな自然環境のもと、市街地も自然と調和した景観を目指すべき。	1
	長期的なビジョンにたった土地利用を進めてほしい。景観に配慮した建物等については一定のインセンティブを与える金銭的補助を行ってほしい。	1
	市営住宅のまわりの樹木の剪定をしてほしい。	1
	道路や歩道、公園のまわりなどの雑草を除去してほしい。	2
	道路の街路樹を統一感のある整備をしてほしい。	1
	街路樹は、低木にしたほうが費用が少なくすむ。高木にするなら2～3年に1回は剪定をしてほしい。	1
	夏の暑い日差しをよけることができるような力強い街路樹を整備してほしい。	1
	南千歳周辺の整備(除草など)してほしい。	1
	歩道や中央分離帯の植樹は無駄と思う。	2
	毎年町内に花植の助成をしているが、一年草は無駄である。種を収穫して植える。または3年に1回にすべき。	1
	防衛省の移転跡地の空き地は景観的に淋しい。	1
	樹木は必要以上に切るべきではない。	1
	公園や人が集まる所の清掃(草刈りやゴミのしまつなど)をしてほしい	1
電柱を無くする(地下へ)とより一層、景色がきれいになる。	1	
今後も重要地域を決め、電線等の地下埋設を進めてほしい。	1	
地デジなど	地デジ対策を進めてほしい(大和地区、寿地区)	2
	通信環境の充実、光ファイバーなどの活用によるケーブルテレビなどを積極的に導入してほしい	1
駐車場	駅周辺や中心街に無料の駐車場を整備してほしい。	3
	地下駐車場の活用	1
	不要な公園を整理し、駐車場にすべき。	1
	南千歳駅の無料駐車場の拡大。	1
	南千歳駅の周りの使っていない駐車場などをイベント会場として利用する。また他の場所でも駐車場を兼ねた広い土地が利用されてない所を、人を集める場に再利用する。	1
	支笏湖畔の有料駐車場を無料化し、観光客が気楽に利用できるようにすべき。	2
空港を活かした まちづくり	空港を活用した海外ショッピング、物品等の輸入拡大。	1
	空港利用客が市内に滞在する工夫が必要	5
	千歳の利便性をもっと活用するべき。	3
	空港を利用したイベントなどの実施。(全国や千歳の物産展など)	3
	空港利用客が市街地にどのくらい経済効果をもたらすか調査すべき。	1

(6) 産業の振興について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
商業・ にぎわい	中心市街地(商店街)の活性化	19
	買い物環境の充実	9
	買い物や娯楽の場が少ない。	4
	向陽台に大型スーパーをつくって欲しい。	4
	工業団地の近くに大きなデパートをつくってほしい。	1
	映画館が千歳にできてほしい。	1
	競輪場、競馬場、賭博場など柔軟な発想が必要。	1
	市民生活に直結する商店街の再生。	1
	生活用品店やペット用品の充実した店がほしい	1
	レラの周りの舗道を利用した店のPRの検討をすべき。	1
	スーパーや様々な商業施設がまとまっていると便利。	1
	市中心街の空地、閉店の多さが寂しい。	3
	中心街がなく歓楽街が多い。	1
	街へ出かけても、ゆっくり休める場所がない。	1
	小さい子が遊びに行く所や親子で楽しむ場所がない。観光する所もない。	1
	駅前及び中央大通、千代田町、清水町の整備、活性化。ホテル、旅館が多いわりには、中心部に目玉となるような施設等がない。	1
	住宅が中心街より離れた所につくられ、その通りにスーパー、コンビニ、病院、その他の日常的に必要な買物環境がつくられているのが問題である。中心街の利用には広い駐車場がほとんど無く、利用づらい。土・日などに親子で気軽に過ごせる多彩なイベント(歩行者天国、一村一品の販売など)を実施すべき。	1
	中心街で地産地消の物を販売・飲食できるようにしたり、集いの場所を整備して、中心街に人を呼ぶべき。	1
	市街中心部に、家族で楽しめる施設や、イベントなどがあると良い。	1
	中心商店街の空店舗を、市が家賃を負担して、店をやりたい人たちに援助すべき。千歳にしかない物、専門店を誘致して活気を出す。アンケートを増やし、市民の意見をきくべき。	1
	アーケード内に市民の憩いの場所等を作り中心街の活性化を図る。	1
	グリーンベルトの広いスペースを有効活用しにぎわいを創出するべき。	1
	グリーンベルトで月一回フリーマーケットなどを開催し、交流やリサイクルなどを進めるべき。	1
	まちの中心部に大型デパートをつくるべき。	1
	千代田町の空きビルを再活用すべき。	1
	街の中心にある商業地域の空洞化が気になる。時間を気にしないで止められる駐車場等を整備すべき。店舗と住居を兼た中層ビル建替えに再開発することも検討すべき。	1
	中心市街地の活性化のため、空地等を活用して、高齢者の生活拠点(市住等)を整備する。	1
	地元の商店街は旧態依然とした古ぼけた建物で、積極的な宣伝もなく、大半の店が薄暗く、閉じたままの店もあり、活気がない。企業経営努力が不足していると思う。	1
	ニューサンロードアーケードの取こわしは残念に思います。商店主の自覚が無いように思う。もっと自分達のものと思い、市役所に頼ることなくアーケードを大事にして欲しかった。	1
	市街中心部はいくらお金をかけてもだめだと思う。市街中心部の事業主の方々は市役所にたよりすぎている。もう少し事業者としての努力が必要だと思う。できれば市街中心部にはあまり市の財源は使わないでほしい。	1
	千歳は、楽しみのない町、行く所(遊び、食事、散歩する所など)の無い町に感る。現在の中心市街地にこだわらず、駅前ににぎわいづくりをすべき。	1
	駅を中心として、駅裏にもデパートなど誘致し、活気ある駅前・裏通りにしてほしい。	1
駅前周辺の活性化	1	
駅に隣接する商業ビルを有効活用すべき。(スポーツクラブや大型書店などのテナント募集、営業時間の延長など)	3	
千歳駅の周辺が変り不便になった様に感る。	1	
駅に隣接する商業施設は無駄と感じる。	1	

関連する 施策項目	意見内容	回答数
商業・ にぎわい	駅と駐輪場の整備	1
	駅前の観光案内所が分かりづらく、行きにくい。	1
	場外馬券売り場の改善。	1
	空き店舗や空きビルを有効活用すべき。「千歳の街」という部分がわからない。	1
	住んでいる地域の衰退ぶりが悲しく思える。	1
	長都駅前に交番、小児科、商店、ピーバスがあれば良い。	1
	パチンコ屋を減らして、市民や観光客が楽しめる場所を整備すべき。(科学館やレジャー施設など)	1
	千歳市にある企業、農家がアピールできる大規模で華やかな場が必要。	1
観光	観光事業活動に力を入れるべき	3
	空港を利用する観光客が千歳市内に滞在する工夫が必要。(美味しい食べ物、アミューズメントなど)。	2
	楽しい・美味しい・美しい・また来たいと心が弾む素晴らしいところ、観光客が足を留めてリラックスするものが必要。	1
	千歳市内観光コースを設定し、千歳駅前や空港から千歳観光バスを発着させる。	1
	支笏湖、千歳川、樽前山、等の観光資源を活用したまちづくり。	1
	千歳市にある美しい湖、支笏湖をもっとPRして観光スポットにしてほしい	1
	アジアの国々からの観光客に対応できる案内やサービスの充実	1
	市内の観光資源のPRと勧誘に努力が必要。	1
	千歳の水をもっとPRする。	1
	千歳の新名所作りをしてほしい。(向陽台への途中の山を芝桜の名所にする。農業地帯に大きな道の駅を整備する、など)	1
	子供も楽しめる総合的な娯楽施設があれば良い。	1
	第3セクターの温泉施設を設ける。	1
	支笏湖の周辺スポットにも家族で遊べるアトラクションがあれば楽しい。	1
	インディアン水車周辺での観光ボランティアを実施してほしい。	1
	インディアン水車はまちの大きな観光スポットなので、作業員の啞えタバコなどは禁止し、ユニフォームの統一などを考えてほしい。	1
	ヒメマス釣りの動力船乗り入れ許可について、2年～3年ごとの申請とか、登録制(3年更新)などに検討してほしい。ヒメマス釣りの入漁料について千歳市民に割り引きになる制度がほしい。	1
イベント	イベントの充実(四季のイベント、ラーメン祭りなど)	3
	夏まつりの充実(マンネリ化の解消など)	2
	イベントの開催にあたり、街中での宣伝を充実すべき。	1
	YOSAKOI祭をもっと広報すべき	1
	盆おどり大会は一考を要する。	1
	自衛隊の協力を得て、千歳市で全道一の雪祭りを実現してほしい。	1
	環境関連のイベントを増やしていくと良い。	1
	花火大会は2回に分けないで合同でよりたくさんあげるべき。	1
	タレントがたくさん空港にくるのだから時々イベントを企画してみたら良い。	1
	音楽祭などのイベントをこれからも継続して欲しい。	1
	千歳市は他市町村に比べて特産イベントまちづくりのPRが不足している。	1
	国立公園60年記念行事を行ってほしい。	1
	ホルメンコーレンマーチの振込み用紙を改善してほしい。	1
	まつりの際の交通ルート等を便利にしてほしい。	1
	年齢関係なくみんなで楽しめる、触れ合えるイベントがあるとよい。	1
	お祭りがいつかわからない。	1
	日航マラソンをもっと大きくし、市内もコースにして記録を狙える大会にすると良い。	1
	日航マラソンにTV中継を導入し、著名な選手を多く招待して、夏の一大イベントにする。	1
特産品	新たな食品・特産品等を考える。	1
	千歳の特産品のPR強化。千歳に来ないと食べられない物を作る。鮭や、フルーツマトなど市全体で盛りあげる。	1

関連する 施策項目	意見内容	回答数
特産品	観光土産に喜ばれるような商品の開発を企業と共同研究してつくり出していく努力をすべき	1
	千歳の名産物を道の駅で売り出す。	1
	何が名物なのかわからない。	1
道の駅	道の駅の充実	4
	道の駅の活性化	3
	道の駅に食べて遊んで楽しい所がほしい。	1
	道の駅のイメージアップ。	1
	修学旅行生にサケのふるさと館を見学してもらい、千歳をPRする。	1
	道の駅がインディアン水車にあっても誰もよらない。主要道路から外れている。支笏湖の整備をもっと進める。	1
農業	農産物の地産地消を進めてほしい。	2
	広い土地と空港がある地の利を生かし、災害時の食料を備蓄する大倉庫群を千歳の地につくる。日本の食糧基地＝千歳を目指すべき。	1
	無農薬、有機栽培をした農産物の採りたてのものを、空港や道の駅などで販売する。	1
	特徴のある農業政策で、休耕地解消、荒廃地(一度拓かれた後放置されている土地)大型営農に適しない土地の活用方策等検討して、日本の食料自給率向上や農村再生につながるような道を模索してほしい。	1
	修学旅行などにおける農村体験の実施	1
	市を上げて千歳の農産物をPRしたほうが良い。空港にももっと千歳をアピールするスペースがあれば良い。	1
企業誘致	企業誘致を推進すべき	2
	広大な用地を有しながら大企業や中小企業の工場誘致なども停滞しているように感じられる。	1
働く場	正社員の雇用を増やし、安定した給与が得られるようにしてほしい。	2
	市内での若者の就職先を増やすべき。	2
	雇用促進に力を注いでほしい。	1
	企業の雇用について市内からの雇用を増加させるべき。	1
	もっと行政から企業に子供のいる女性の採用をすすめていこう指導、助成してほしい。	1
	中年の女性が働く事のできる場を増やしてほしい。	1
	臨空工業団地の雇用について、職住隣接の環境を活かし、向陽台の住人を一人でも多く雇用するよう企業に要望すべき。	1
	職場環境の改善を望む。	1

(7) 市民参加や市民協働について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
行政	行政における経費の抑制(無駄の見直し)	5
	適切な行財政運営	4
	財政状況に合わせた経費の使用方法を考えるべき。	2
	リーダーの役割が重要。	2
	産業衰退や人口減に適切に対応し、減少の際は即刻見直し集約すべき。	1
	プライマリーバランス。当初から赤字運営を計画するのは良くない。	1
	千歳市の財政再建の状況をしらせてほしい。	1
	市長の顔が見えなくなったのが淋しい。	1
	財源の有効活用。役所内の横の連携が必要。	1
	収入の確保が大事。	1
	税金を大切に大事に使ってほしい。	1
	借金をしないで事業計画を作るべき。	1
	受益者負担の考えを可能な限り取り入れるべき。	1
	少子高齢化という流れが変わらない以上、財政も縮小して市の「借金」をふやさないよう事業の効率化を進めてほしい。	1
	財政の無駄を減らす。予算の執行には主婦の感覚を取り入れてほしい。半数は女性を参加させてほしい。	1
	国から降りる資金をもう少し住民に解るようにしてほしい。	1
	基地周辺整備の為に交付される交付金は全体像が不明で、広報を見てもどの様に使われたかわからない。用途を見直すことも検討すべき。	1
	市職員は積極的にボランティア活動に参加してほしい。	1
	市職員は、千歳の人口増のため、千歳市民になりましょう。	1
	今から本格的にコンパクトな市政になるようにすべき。	1
	市職員OB等の再就職について、給与・報酬等を制限すべき。	1
	市自体の全ての分野の支出を細かくチェックし、無駄を省く事が重要。正職員、非常勤職員、臨時職員を含めて職員の資質にも眼を向けて、適正な給与を支出してほしい。	1
	市職員と千歳市内の事業所に勤める人との所得格差を考えてほしい。	1
	市の職員が多い。	4
	市職員の削減と勤務評定の厳格な実施とその活用。	1
	職員数を減らして効率化を図る。	3
	各課で職員を効率的に譲りあう。	1
	職員や窓口を減らし、市民の要望があれば足で対応する。	1
	人件費の削減	2
	行政における公正な人材の活用、適正な給与体制・人員を図る。市役所等に出向くと横柄な態度が目につくことがある。	1
	臨時職員は全部カットすべき。	1
	監督、指揮、指導すべき責任者(課長職等)に使命感、責任感のない人がある。そのような職員は厳格に懲戒処分すべき。	1
	職員の『いしきづくり』を考えるべき。	1
自治体職員の市民に対する役割は何になるのか、ひとり1人もうすこし意識改革を100%出来るよう努力を望みます。	1	
市職員は、危機感を感じていない。事を簡単に事務処理扱いで、心が無い。もっと心配りが必要。	1	
出張した時、職員はアンテナを張り巡らし情報を得て帰ってきてほしい。	1	
職員の質の向上	1	
職員に市民代表としての自覚を持たせ、市民の代表としての質を高めていく事。	1	
市職員の規律違反を情報公開すべき。	1	
市民の声を反映させるために知恵を出し、活力あるまちづくりに取り組んでほしい。	1	
市民の声を聞くだけでなく、市民の意見の実現に向けて努力してほしい。	1	

関連する 施策項目	意見内容	回答数
行政	市民の声を反映したまちづくりを進めてほしい	5
	市民の声は直接市長へ届くのですか？	1
	市民の声を聞く機会を増やしてほしい。市長・副市長・各部の部長が動いて市民の声を聞いてほしい。	1
	市長と市民の会合は大切だと思います。市の計画と財政についての説明会に出て、市長の話し方が私共にもわかるよう説明してもらい、納得できた。	1
	職員が全員「市民の声を聴く係員」になるようにして、意見交換を行い、市民と行政が良いことも悪いことも含めて共有しなければならないと思います。	1
	人とのつながりを大切に。今ある資源を活かせるように見直しをする。意見交換の場をもうける。不満ばかりではなく、進んで仕事をする、本当に良くしたい、という気持ちが大切。	1
	オンブズマン制度や、市民が直接市職員と交流する機会を設けてほしい。	1
	不要の会議を減らすべき。	1
	有言実行を心掛けてほしい。	1
	委託業者への仕事を見直し、個人の事業者に仕事を回す余裕も有るのではと思う。	1
	建築や土木の工事における地元事業者の参加機会の拡充。	1
	各種工事・除排雪等々の発注単価の徹底化。	1
	サービスは本当に必要な人に、必要なだけのサービスを提供してほしい。	1
	行政の無駄をなくす。	4
	無駄を無くし適切な行政サービスの実施	1
	行政のムダをなくして借金をへらす様努力してほしい。	1
	ムダをなくし、誰もが納得できる税金の使い方をしてほしい。市民の声をきちんと聞いて反映してほしい。	2
	市役所西口の案内嬢は無駄と思う。	1
	夏期において、職員の公用車使用をなくし、自転車等にする。	1
	適切な施設整備(工事)の実施	3
	地方税が高い	1
	法定書類などの添付書類にコピーを認めてほしい。	1
	千歳市は他の町村より各種交付税など多く恵まれているのに、無駄が多く有効に使われていない。	1
	市役所の開庁時間の延長等(休日・夜間など)	3
	市役所職員の対応を改善すべき。(障がい者に対する対応も含む)	6
	市民の声を聞いて直ちに動ける課を設けてほしい。	1
	昔に比べ、市役所での職員の市民への応待態度が大変良くなった。	1
	個人情報の活用を重点にして、市民に対して情報の共有化を推進して、市政の中味がよく見えることに努力してもらいたい。	1
	固難な時は全市民が耐えていく事が大事	1
	住みやすいまちづくりの為に市民一人一人の意識が大変重要だと思います。他人事ではなく、小さい事から始めて行きましょう。	1
	地域興しまちづくり等とは、いかに一人ひとりがハッキリと意識を持つかに始める。これが全ての第一歩と考える。そして、どう興すか、どうつくるかと自分たちのこととしてアイデアをめぐらしていく。口を開いていれば行政が餌を入れてくれるというあまちは、これからの時代あり得ないことと自覚するべき。	1
	一般市民の発言の場が増えれば良い。今の時代はあまり地域の人と交流を持たないようなので、個人々の意識も高めていかなければならない。	1
まちづくりに参加できる市民の育成が重要。	1	
市民も、不平、不満ばかり言っているのはダメで、出来ることは参加し、協力していくべき。	1	
市民協力によるまちづくりへの取り組みは評価するが、本来行政が行うべき責務を市民に転嫁することのないよう、常にチェックする体制が必要。	1	
市民が快適に生活していく上で何を求めているか考えるべき。千歳の中心部は一体どこなのか、何をアピールしたいのかよく考えるべき。市民と行政が共に手を取り頑張っていけば今よりもっと素晴らしい街になる筈。	1	

関連する 施策項目	意見内容	回答数
行政	事前の計画を市民と協議しながら行なっていくべき。	1
	基盤(基礎)を明確にし、市民と一緒に取組んで行こうと思える環境づくりをすべき。そのためにも、情報を市民全体がわかるようにしてほしい。	1
	これからの千歳を考えるなどで広く市民から公募して、その中から可能性を考えても良い。	1
	町内会(回覧板など)を通じてアイデアや意見を求めると、多く市民の声が聞けると思う。	1
	市民協働の言葉を聞くが具体的にどこでどうなっているのか分からない。	1
	みんながまちづくりについて知る機会、考える機会を増やしていく。	1
	市民と職員が同じテーブルにつき、どちらが主導ではない、対等な話し合いを持つ事。	1
	町内会と連携して公園の管理等を行う(草とりなど)	1
	パブリックコメントや市長への手紙など市民側から意見を述べることはできても情報受信が広報かHPなど文章に限られている。	1
	直接現場の職員から話しを聴く機会を設けてほしい。もし既に設けているのならその様子を広報でレポートしたり、より周知を徹底してほしい。	1
	広報ちとせや市民カレンダーにおいて、生活の基本的な、必要な情報がすぐわかるようにしてほしい。	1
	千歳市の公園や文化施設(スポーツ施設も)、学校、バス停、桜や紅葉の美しい場所などを網羅した地図を作ってほしい。	1
	議会便りや市民カレンダーは一度も目も通さず処分している人が多い。広報誌に載せる等無駄を減らしてほしい。	1
議会	行政サービスの地域により差別化を無くし、市議会議員の定数を減じ、効率の良い質の高い議員の選出を希望する。	1
	市議会の便り等を見てもちょっと難し過ぎて、もっと身近な事を話し合っていない印象を受けます。	1
	議員の定数を削減すべき	3
	市議は、市民の見本として、厳しく襟を正して、熱心に活動してほしい。	1
	市議会議員の給料は、月給でなく日給制にして議会に出席した場合のみ支払う様にすべき	1
	市議を活用すべき。	1

(8) その他の分野について

関連する 施策項目	意見内容	回答数
公共施設等	公共施設をもう少し街の中心部に集中してほしい。(市役所、郵便局、病院、福祉センター、武道館、図書館、文化センター、スポーツセンター、など)	5
	現在ある施設や箱物を補修し大切に扱うことが大事。	1
	箱物行政はもうやめてほしい。無駄な建物はもう要りません。	1
	余計な箱物を作らずに、他のサービスに力を入れてもらいたい。	1
	未使用施設(田学校等)の有効利用	1
	向陽台キャンプ場の利用手続を自動販売機式にしてほしい。	1
	町内会館の禁煙化	1
	コミセンの使用について、10人以上でないサークル活動など認めてもらえないが、少人数でも認めるべき。	1
	コミセンの使用料金が高すぎる。	1
	防災学習センターは必要なか疑問である。	2
まちづくり全体	多くの若い人が定住するようにすべき。	3
	若い人達が安心して子供を産み育て、子供が外で安心して遊ぶことができ、若い人の仕事が安定し、安心して家庭を築ける社会を望む。	3
	空港があることを活用し、自然を活かすべき。住民がもっと広い考えをもち、若者がもっといきいきして考えられるようにすべき。	1
	人的資源(特に子供達)がすばらしく育っている他の都市の環境条件を調査し、将来の子供の育成に重点投資すべき。	1
	今後千歳を背負う若人を育てる。市の経費で海外に出られる機会を増やしてほしい。	1
	若い人のチャレンジの機会(自由市場など)	1
	豊かな自然を大切にしたい、機能的な美しいまちづくりと、空港がある事を利用した利便性を最大限いかしたまちづくりが重要。	1
	千歳の人は、他人は他人、自分は自分、役所は役所というようにまとまりがないと思う。自衛隊のある町でもあり、国からの金を有意義に使って、子供の育てやすいまち、母親の安心して働けるまち、箱物より福祉のまちにしてほしい。	1
	街の中心部がどこか極めてわかりにくくなんとなく雑然とした感じがある。	1
	大人(親)のマナーの悪さを改善して、身近に子供とふれあえる場があればよいと思う。親の姿をみて育つ子供の環境が大切。	1
	千歳には空港もあり観光地もあるのに全く生かされている様には感じません。持っているものをもっと活かすべきだと感じます。	1
	千歳市として何か1つでも目指すものがあればいいと思う。(町中にゴミが落ちていない、動物、犬のフンが落ちていない、など)	1
	施設などの整備も大切だが、市の財政を豊かにしてからしてほしい。	1
	観光の拠点都市(北海道の空の玄関口、鉄道の道東、道南への分岐点)であることから、企業誘致と住宅環境(比較的安価での住宅用地販売)の整備に力を入れ、都市機能の拡大を図る。	1
	職と自然と食の3本柱で良いと思います。特に食べものの美味さは千歳の自慢で良いと思います。	1
	防衛予算をもっと町全体に分散する。	1
	これからの千歳市は、財政面の将来的負担を避けるため「量から質へ」、「拡大から縮小(又は現状維持)へ」をコンセプトにして必要最低限の行政主導施策にとどめ、市民や民間企業による公共の場での活動を支援・調整するスタイルに少しずつでも移行すべき。まちづくり行政サービスへの投資は、必ず約9万3千人通りの賛否があることを踏まえて、慎重に行うべき。	1
	厳しい財政状況にあわせて、効果的に配分出来れば良い。	
	千歳市の行政には全体的に満足しており、まちづくりでもバランスのとれた住みやすい街という印象を持っています。	1
	自然に恵まれ、千歳空港などの交通アクセスも便利なこの千歳に住み続けたいと思います。自然を残しつつ都市開発ができれば大変、良いと思います。	1
高齢化に対応し、メディカル産業(事業)の創出に力を入れ、地域の安定に努めてほしい。また、知的財産権の取得や維持について、千歳市が自立できるように行政づくりをしてほしい。	1	

関連する 施策項目	意見内容	回答数
まちづくり全体	研修や観光で千歳に人を集める工夫や、航空体験館・名物などの開発し、美しい自然を壊さず調和のとれた大人の(エコ・人に優しい)まちを旨としてほしい。	1
	住宅、公共施設、商業施設、公園などのバランスのとれた整備。	1
	どの年齢層の人たちも安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。(子育て、医療、防犯など)	1
	他の市より教育(大学他)の部門で遅れているように思う。	1
	道路整備、環境対策、除雪等が特定の地域に偏っている。	1
	箱物を増やすのではなく、ハード面を充実させるよりも、ソフト面を充実させてほしい。	1
	農業を中心にした豊かさと健康的な市民生活が求められると良い。緑の多い自由ではつつつとしたまちづくりをめざしてほしい。	1
	引越してきて、スーパーや薬局、郵便局、ATMなどの場所が分からなかった。	1
	千歳市民が住みよいまちが、観光客も増えるまちである。	1
	今まで以上に住み良い町そして安全な暮らしを守る市政を希望します。	1
	大人も子供も高齢者も住みやすい町にしてほしい。	1
	楽しく住み良い環境を整備してほしい	1
	千歳市に住みたいと思われるような施策に取り組むべき。	3
	調和のとれたまちづくりによって、いきいき生活できる環境となることを希望しています。今も住み良い町ですが、向上できる点をコンセンサスを得て実行してほしい。	1
	一部の特定の市民だけではなく、市民の多くが共感できるようなまちづくりをしてほしい。他都市に暮らす方々が「住んでみたい」と思えるような特色を持ったまちづくりをしてほしい。	1
	千歳市は、転勤族の若い世代の人も多く、近くに親兄弟がいなく何かの時に頼れる人がいないという人は少なくない。そういう事も含めて高齢者障害者だけではなく、“老若男女”全てにとって住みやすいまちづくりを実現してほしい。	1
	日頃から自分の住んでいる地域を心から愛すべきです。	1
	子供達が安心して遊び学べる町であってほしい。食の安全がいわれている現在こそ、千歳ならではの食を充実してほしい。千歳は大きくのびる要素はあると思います。それぞれが自分の役割に自覚をもち、千歳を愛し子供達にもそれを伝える事が大事です。	1
	「千歳の人にはあきっぱい」という言葉をよく耳にします。転勤族が多いためか、まちに対する愛着がうすいと思う。	1
	市民の一人ひとりが「千歳に住むことができて良かった、千歳が大好き」と思えるまちづくりを、考え合える機会がさらに増えるとよいと思います。	1
	地方自治体の状況は厳しい中、千歳市も同様であり、この世の中だから”しかたがない”と若者達が思ってしまうようなまちにはなってほしくない。	1
	活気あるまちづくりをお願いします。	1
	高齢者にやさしく、児童・青少年に夢と希望がもてる、そんなまちになってほしい。	1
	もっと大きく夢のもてる、町づくり事業が必要	1
	政は100年、1000年を考えて	1
	50年～100年先を見据えて、希望のもてる発展的なまちづくりをして欲しい。他の地域からも千歳に行きたいと思うようなアピールできるものを考えて欲しい。	1
	人口の流出阻止。	1
	移入者を積極的に受け入れて、人口を増やすべき。	1
	まちの印象が薄い(残りづらい)	2
	千歳は基本的に何でも高い。(家賃・産婦人科の健診・物価・ゴミ袋など)	1
	千歳は暖かみを感じない、個人主義である。	1
	向陽台地区の病院や公共交通や買い物環境の充実を図ってほしい。	3
	郊外の住宅地区の学校施設や買い物環境の充実を図ってほしい。	1
	地域の不便を改善してほしい(病院、買い物、バスなど)	1
向陽台方面の工業団地への企業誘致や、生活環境の向上をお願いします。	1	
向陽台の向陽橋周辺の環境を整備し、桜の植林をし、千歳市の桜の名所として、集客やキャンプ利用者の増加を図る。	1	
支笏湖地区に温泉を利用した施設(老健、リハビリなど)と職場と住居を整備してほしい。支笏湖地区は、職場や住居の問題で若者が離れてしまっている。市住も、特別措置を設けて、独身者が利用しやすくすることや、老朽した建物を修繕し、利用者を増やし、空室を無くす努力をしてほしい。	1	

関連する 施策項目	意見内容	回答数
まちづくり全体	街がさみしくなっているのは、長都地区の開発を広げすぎているからある。	1
	周辺都市と比べて、ごみの有料化や、医療補助(特に乳幼児)も良くなく、産婦人科施設も減り、また、商業面でも大型店が少なく、これからの千歳が心配である。	1
	病院(総合)、大型スーパー等、近隣の市に比べ少なく感じ、不便さを感じている。千歳市内で全て足りるようなまちづくりをすすめてほしい。	1
	千歳は住み良いところです。	5
	千歳で一生すごしたいと考えています。	1
	千歳市から新たなキャラクター・活動を考える。	1
自衛隊	自衛官が住み良い環境にしてほしい。	1
	市民に対し自衛隊の存在意識と今までの歴史を知ってもらう必要がある。	1
	自衛隊の態勢維持を国に求めてほしい。部隊を誘致するのも良い手段と思う。	1
	自衛隊の人はまじめに勤務してほしい。途中自宅に帰っている。	1
	千歳市 = 自衛隊の街というイメージがあり、物価的にも高い気がする。	1
	自衛隊の街と思われている市だから、自衛隊の数を減らすか、迷彩服のまま店で買い物をしていないなどしないと、外からこの街に移り住みたいという人はいないと思う。	1
その他	千歳市は自衛隊依存型の都市であるが、「自衛隊がいるから安心」という意識を変えない限り、これ以上の発展などムリと思う。自分の事ばかり考える市民、要求だけは一人前にし、感謝をしない市民が多いかぎり、まちなど良くなりはない。	1
	自衛隊に依存しすぎず、自衛隊がいなくなっても千歳市として維持していけるまちづくりを強化していくべき。	1
	フリーペーパーが配られてなくて残念です。	1
	人口は15万人が理想の都市と学者は言っている。	1

2 アンケート調査票

これからの千歳のまちづくりに、ご意見をお寄せください

千歳市民まちづくりアンケート

日ごろより市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、このたびお送りさせていただきました「市民まちづくりアンケート」は、平成23年度を始期として、今後10年間のまちづくりの基本的な指針となる新たな総合計画「(仮称)千歳市第6期総合計画」の策定にあたって、市民のみなさまからのご意見やご提言をいただき、将来のまちづくりに反映させていくことを目的に実施するものです。

アンケートをお願いする皆さまは、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に3,000人の方を選ばせていただきました。ご回答は無記名方式で、内容はすべて統計的に処理をし、他の目的に利用することはありませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、今後のまちづくりのために必要な調査でありますので、アンケートにご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成20年9月

千歳市長 山口 幸太郎

< ご記入にあたっての留意事項 >

1 アンケートの対象者

千歳市に在住する18歳以上の市民3,000名を無作為に選ばせて頂きました。封筒の宛名の方が対象者ですが、その方が回答できない場合は、ほかのご家族の方などが回答してください。(その場合、回答した方の年齢、性別等に印をつけてください。)

2 回答方法

選択式の設問は、該当する番号に指定の数の印をつけて頂くか、番号を枠の中にお書きください。
記述式の設問は、あなたのお考えを簡単にまとめ、回答欄に記入してください。

3 締め切りと返送方法

調査票に回答をご記入後、同封しました「返信用封筒」に入れて、
9月26日(金)までに返送してください。(**切手は不要です。**)

4 お問い合わせ先

千歳市役所 企画部企画課 長期総合計画策定担当(まちづくりアンケート担当)

TEL (0123) 24 3 1 3 1 (内線446)

又は(0123) 24 0 4 3 9 (直通)

千歳市民まちづくりアンケート 調査票

はじめに、回答される方についておたずねします。次の ア) から カ) の各項目について、それぞれあてはまるものを 1つだけ 選んで、番号に 印をつけてください。

(ア) 性別	1. 男性	2. 女性	
(イ) 年齢	1. 18～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上
(ウ) 出生地	1. 千歳市で生まれ、ずっと千歳市に住んでいる 2. 千歳市で生まれ、その後市外に引っこしたが、再び千歳市に住んでいる 3. 千歳市外で生まれ、千歳市に引っこしてきた		
(エ) 同居・家族構成	1. ひとり暮らし・単身赴任	2. 夫婦のみ	3. 2世代
	4. 3世代以上	5. その他	
(オ) 職業 アルバイト・パート等の方も、仕事の業種で回答してください	1. 農林漁業	2. 製造業・建設業	
	3. 商業・サービス業・金融業など	4. 運輸業・通信業など	
	5. 公務・団体等勤務	6. 自衛隊	
	7. その他の職業	8. 学生	
	9. 無職（専業主婦を含む）		
(カ) 居住地	1. 東雲町、朝日町、本町、真々地、平和、2空団、真町 2. 若草、白樺、里美、柏陽、泉沢、文京、福住 3. 錦町、春日町、緑町、大和、桂木、蘭越、新星 4. 清水町、幸町、千代田町、栄町 5. 北栄、新富 6. 信濃、富士 7. 北斗、自由ヶ丘、桜木、北信濃（無番地、770、776～783、799、849～867、870～873、884、885、964）北部隊、上長都（1、3、382、1036、1039、1057、1058、1112、1115、1119、1121、1122、1126、1160） 8. 北陽、長都駅前、勇舞、北信濃（675～683）上長都（13、14、923、924、928～935、942、943、1018～1024、1029、1102、1103、1247、1250、1255）長都（81、165、1017） 9. 高台、富丘、北光、あずさ、北信濃（446～449、582～591、631～636） 10. 末広、花園、稲穂、清流、幸福 11. 青葉、青葉丘、日の出、日の出丘、住吉、東郊、豊里 12. 梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、祝梅、東部隊、流通 13. 都、長都（81、165、1017以外）、釜加、根志越、中央、駒里、泉郷、美々、柏台、柏台南 14. 幌加、協和、新川、東丘 15. 支笏湖温泉、幌美内、モラップ、水明郷、藤の沢、美笛、支寒内、奥潭		

【問1】千歳市での暮らしについて、各分野の現在の「満足度」と、今後の「重要度」をおたずねします。下の「満足度」と「重要度」の各選択肢（A～E）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

項目
「満足度」「重要度」それぞれに をつけて下さい。

満足度				
A 満足	B やや満足	C 普通	D やや不満	E 不満

重要度				
A 重要である	B やや重要である	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない

《記入例》

各種イベント

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

保健・医療・福祉について

1. 子育ての環境や支援
2. 健康づくりや病気の予防
3. 病院・診療所などの医療環境
4. 高齢者の自立支援
5. 障がい者（児）の生活支援

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

生活環境や安全・安心について

6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり
7. 市民ボランティア活動の育成・支援
8. 消費生活に関する情報提供や相談体制
9. 町内会活動などのコミュニティ活動
10. 交通安全への取り組み
11. 地域での防犯対策
12. 消防・救急体制
13. 自然災害などに対する防災体制

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

環境保全について

14. 自然環境の保全
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止
16. 地球環境の保全に対する取り組み
17. ごみの収集・リサイクル

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

教育・スポーツ・文化・国際交流などについて

18. 生涯学習の情報や機会の提供
19. 小・中学校の教育環境
20. 障がいのある児童などの教育環境
21. 芸術文化活動の促進
22. 文化財や史跡の伝承保存
23. スポーツ活動の推進
24. 青少年の健全育成
25. 国際交流・都市間交流

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

項 目

満足度				
A 満足	B やや満足	C 普通	D やや不満	E 不満

重要度				
A 重要である	B やや重要である	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない

都市環境や都市基盤の整備について

26. 公園や緑地の整備
27. 公営住宅環境の整備
28. 上下水道の整備
29. 道路や歩道の除排雪
30. 道路の整備
31. バスの利用のしやすさ
32. 市街地の整備やまちの景観の向上

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

産業の振興について

33. 日常の買い物環境
34. 中心市街地のにぎわいづくり
35. 農業の振興
36. 企業誘致や企業活動の支援
37. 光科学技術などの高度技術産業の振興
38. 観光都市としての魅力づくり
39. 働く場の確保

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

市民参加や市民協働について

40. 広報誌やホームページなどの情報提供
41. 市民と行政の協働によるまちづくり体制
42. 窓口などでの職員対応や迅速・的確な ↑ 窓口サービスの提供

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

また、上の全項目（42項目）の中で、今後、千歳市のまちづくりにおいて、特に重要だ
と思う項目を5つまで選んで、 の中に番号をお書きください。

この番号（1～42）をお書き下さい

【問2】総合的にみて、現在の千歳市の住みごころはいかがですか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

【問3】これからも、千歳市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

1. 今の場所に住み続けたい
2. 市内の別の場所に移りたい
3. 近くの市や町村に移りたい
4. 道内のどこかへ移りたい
5. 道外に移りたい



【問4】前問(問3)で、3～5に 印をつけられた方におたずねします。市外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

1. 自分にあう仕事(職場)がないから(自分の力を発揮できる仕事をしたいから)
2. 商売や事業経営に不利だから。生計を保つ収入が得られないから
3. 勤務地や通学地が遠いから
4. 交通が不便だから
5. 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)
6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから
7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから
8. 住宅環境が悪いから
9. 土地代・家賃が高いから
10. 医療や福祉面が不安だから
11. 進学や子育て環境など、子どもの教育上の問題から
12. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから(今後不安だから)
13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから
14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから
15. その他()

【問5】今後の千歳市の“まちづくり”を進めていく上で、どのような「言葉(キーワード)」を重視すべきだと思いますか。あてはまるものすべてに 印をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------|-----------|
| 1. 活力・賑わい | 2. 経済的な豊かさ | 3. 自然の豊かさ |
| 4. 心の豊かさ | 5. 快適さ(気持ちよさ) | 6. 便利さ |
| 7. 安心・安全(安らぎ) | 8. 美しさ | 9. うるおい |
| 10. 心のあたたかさ | 11. やさしさ・思いやり | 12. 楽しさ |
| 13. ゆとり | 14. ふれあい・交流 | 15. 健やか |
| 16. 愛着 | 17. 輝き | 18. 希望・夢 |
| 19. 調和 | 20. 連携・協働 | 21. 発展・躍進 |
| 22. 創意・挑戦(チャレンジ) | 23. 教育・文化 | 24. 生きがい |
| 25. その他() | | |

【問6】千歳市では、これまでまちづくりに関するさまざまな取り組みを進めてきました。あなたは、以下のようなまちづくりの各分野について、おおよそ10年前と比べてどのようにお考えですか。各選択肢(A～E)から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。(居住期間が10年未満の方も、住みはじめてからの実感で評価してください)

施策の分野	おおよそ10年前と比べて				
	A かなり 良くな った	B やや 良くな った	C 変わら ない	D やや 悪くな った	E かなり 悪くな った
1. 健康、福祉、子育て支援	A	B	C	D	E
2. ボランティア、コミュニティ	A	B	C	D	E
3. 自然環境の保全、環境衛生	A	B	C	D	E
4. 安全・安心(防災、防犯、住環境)	A	B	C	D	E
5. 教育、スポーツ、文化	A	B	C	D	E
6. 国際交流、都市間交流	A	B	C	D	E
7. 道路・公園などの都市整備	A	B	C	D	E
8. 産業振興(農業、商業、工業、観光)	A	B	C	D	E
9. 市民参加・市民協働	A	B	C	D	E
10. 自主・自立のまちづくりの取り組み	A	B	C	D	E

【問7】近年、社会的に少子高齢化が進み、日本全体の人口は減少期をむかえ、まちづくりを支える財源も依然として厳しい中、千歳市のまちづくりは、どのような方向に進むべきだと思いますか。「人口」と「都市整備（開発）」について、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

<人口について>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口がさらに増加するよう、取り組むべき 2. 現状程度の人口を維持していくべき 3. 人口の減少は時代の流れであり、人口増加や維持に対する取り組みは重視しない |
|--|

(参考)平成20年8月1日現在の千歳市の人口 92,792人(住民基本台帳人口)

<都市整備（開発）について>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. まちの整備を進める区域（市街化区域）を拡大しながら、新たな都市整備を進めるべき 2. まちの整備を進める区域（市街化区域）は拡大せず、全体的に整備を継続する 3. まちの整備を進める区域（市街化区域）は拡大せず、特定化して重点的で効率的な整備を進めるべき |
|--|

【問8】千歳市をより良いまちにするために、今後どのようなまちづくりをめざしていくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものを3つ選んで、優先度の高い順に番号を書いてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市機能が充実した、道央地域の拠点となる都市 2. 道路や施設整備などのハード事業よりも、保健・医療・福祉、人材育成、市民活動などソフト事業を重視した都市 3. 産業・経済・教育・福祉などの重点化よりも、総合的にバランスのとれた都市 4. 他地域との差別化や競争を意識し、千歳市として力を入れる分野については、重点的に進めていく都市 5. 新千歳空港があることをより一層生かした、国内外の交流が盛んな都市 6. 豊かな自然を守り、環境の保全を積極的に取り組む都市 |
|---|

1番目に優先すべき	2番目に優先すべき	3番目に優先すべき

【問9】行政運営（まちづくり）や市民参加に関する次の項目について、それぞれどのようにお考えですか。下の各選択肢（A～D）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

項 目	A そう思う	B やや思う	C あまり思わない	D そう思わない
1. 千歳市の行政活動（まちづくり）に関心がある	A	B	C	D
2. 千歳市の行政活動（まちづくり）には市民の意向が反映されている	A	B	C	D
3. 千歳市の行政活動（まちづくり）は、市民の意見を聞く機会が充実している	A	B	C	D
4. 千歳市の行政活動（まちづくり）は、情報公開が十分に行われている	A	B	C	D
5. 千歳市の行政活動（まちづくり）は、市民に対する情報提供が十分に行われている	A	B	C	D
6. 市長への手紙やパブリックコメント（意見募集）などの機会を利用し、千歳市の行政活動（まちづくり）に意見を述べたい	A	B	C	D
7. 審議会や市民会議など、千歳市の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい	A	B	C	D

【問10】千歳市では、市民と行政が連携を深め、役割を分担しながらともにまちづくりを進める「市民協働によるまちづくり」に取り組んでいます。このような「市民協働によるまちづくり」を進めるうえで、どのようなことが重要だとお考えですか。あてはまるものすべてに 印をつけてください。

1. まちづくりへの提案や提言の機会を増やす（アンケートや意見提案など）
2. まちづくりに関する計画をつくる際に、市民が参加できる機会をふやす（市民と行政がまちづくりについてともに考える機会を増やす）
3. まちづくりに関する情報（行政からの情報・市民が持つ情報）を共有する
4. 市民協働によるまちづくりの考え方を広くPRするため、市民が参加できるイベント・事業を実施する
5. 市民や各種団体などの主体的なまちづくり活動の支援を拡大する
6. 市民が打ち合わせや作業のできる活動拠点を整備・充実する
7. 日頃から市民と市職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める
8. その他（ ）

【問11】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。現在参加されているものも含めて、あてはまるものすべてに 印をつけてください。

1. 美しいまちをつくるための“花いっぱい活動や清掃活動”
2. 地域の自然を守り育てる“自然保護・愛護活動”
3. 生活のムダをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”
4. 高齢者や困っている人たちへの“福祉ボランティア活動”
5. 郷土の歴史や文化を学び、後世に伝える“歴史文化活動”
6. 子ども会やPTA、健全育成組織などを通じた“児童・青少年の育成活動”
7. スポーツ・保健事業への参加・協力など“健康なまちづくり活動”
8. 安全な暮らしを守る“交通安全・防災・防犯活動”
9. 祭りやイベント行事など“イベント活動”
10. ホームステイの受け入れや交流事業の支援など“国内外との交流活動”
 11. 旅行者にまちの案内やPRをするなど“観光ボランティア活動”
 12. 特産品の開発・PRや観光地づくりなど“まちの良さを高める活動”
13. まちづくりの企画・研究やリーダーなど“まちづくりの推進役”
14. その他()

【問12】地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた市の財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。市においても経費の抑制や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

1. サービスの受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである
2. サービスの種類と水準を見直して、サービスの重点化を図るべきである
3. サービスの種類が減るのは仕方ないが、サービスの水準は維持すべきである
4. サービス水準の低下は仕方ないが、サービスの種類は維持すべきである
5. サービスの種類が減り、水準も低下するのは仕方ないことである
6. その他()

【問13】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、以下にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信封筒に入れて、切手を貼らず、そのままポストに投函してください。

千歳市民まちづくりアンケート
調査報告書

発行	北海道千歳市 企画部企画課
発行日	平成 21 年 2 月